

第七十四回帝國議會 衆議院

支那事變特別稅法中改正法律案外二件委員會會議錄(速記)第十回

會議

昭和十四年三月九日(木曜日)午前十時三十分開議

四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 川崎 克君

理事小山倉之助君 理事宇賀 四郎君

理事最上 政三君 理事横川 重次君

理事森田 福市君 理事鶴 物市君

理事藤本 捨助君 理事河野 密君

中島彌團次君 一松 定吉君

松永 東君 池本甚四郎君

田村 秀吉君 愛野時一郎君

渡邊玉三郎君 田中 邦治君

津倉 龜作君 瀧澤 七郎君

田代 正治君 高橋熊次郎君

武田德三郎君 服部 岩吉君

森田 政義君 江羅直三郎君

坂田 道男君 大口 喜六君

松浦 伊平君 岸田 正記君

森 肇君 松永 義雄君

道家齊一郎君

出席國務大臣左ノ如シ

內務大臣 侯爵木戸 幸一君

大藏大臣 石渡莊太郎君

出席政府委員左ノ如シ

內務政務次官 漢那 憲和君

內務省地方局長 坂 千秋君

內務書記官 三好 重夫君

大藏政務次官 松村 光三君

大藏參與官 矢野庄太郎君

大藏省主稅局長 大矢半次郎君

大藏書記官 松隈 秀雄君

大藏書記官 田中 豐君

預金部資金局長 廣瀨 豐作君

商工省商務局長兼 新倉 利廣君

商工省統制局長

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

支那事變特別稅法中改正法律案(政府提出)

臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)

臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)

○川崎委員長 開會致シマス——高橋君

○高橋委員 昨日ノ質疑ニ引續イテ發言ヲ

御許シ願ヒタイト思ヒマス、昨日遊興飲食

稅ノコトデ御尋申上ゲテ居ツタノデスガ、

武田委員等カラモ質疑ガアツタヤウデアリ

マスルガ、宿屋ノ女中等ノ「チップ」ノ問題デアリマス、御當局ハ旅館ノ飲食ト云フモノハ非常ニ金額ノ少イモノデアルカラ、女中ノ「チップ」ト云フヤウナモノハ之レニ加算サレテモ免稅點ニ達セズ問題ニナルマイト云フヤウナ御意向ノヤウデアツタノデアリマス、又客カラ自發的ニ與ヘル「チップ」ハ問題ニナラナイ、唯宿屋カラ請求スルモノハ課稅ノ目標トナル、斯ウ云フヤウナ御意見デアリマシタ、能ク宿屋ノ人々ノ言フコトヲ聞イテ見マス、觀光局其ノ他當局ニ於テハ、成ベク客ヨリ貰フモノハ經營者ノ方カラ要求スルヤウニト云フ示達ガアツテ、多クノ宿屋ハソレニ基イテ漸次營業方針ヲ改善シテ居ル、ソレデ「サービス」料ト稱ヘテ、總支拂額ノ一割トカ五分トカ云フモノヲ、貰ツテ居ツテ、其ノ外ニ茶代トカ女中手當ト云フヤウナモノハ遠慮スルト云フヤウナ習慣ガ構成サレツツアル、斯フ云ウ政府、又地方官憲ノ指導方針ニ基イテ營業方針ヲ定メルモノハ、課稅ノ目的物トナリ、然ラザルモノハ課稅ヲ免レルト云フコトデハ、茲

ニ矛盾ガ起ルヤウデアリマスガ、此ノ邊ノコトハドウ御考ニナツテ居リマセウカ

○大矢政府委員 遊興飲食稅ノ課稅標準ニ

ハ、遊興飲食ヲスル者ノ消費金額ヲ取ルノ

ガ原則デゴザイマスガ、原則カラ言ヘバ今

御示シノ女中ニ對スル「チップ」茶代ト云フ

ヤウナモノモ、總テ包含セシムルノガ適當

カト存ジマス、併シナガラ之ヲ實際問題ト

致シマス、客ガ任意ニ提供スル、而モ直

接女中等ニ對シテ與ヘルモノマデモ調査ヲ

シテ、課稅ノ對象ニスルト云フノハ、實行

上頗ル困難ダラウト思ヒマシテ、是ハ課稅

標準ノ計算ノ中ニハ算入シナイ、併シ經營

者ノ方カラ客ニ對シテ請求スル形ヲ取ツテ

居ルモノハハツキリスルシ、客ハ否應ナシ

ニ出サナケレバナラヌモノデアリマスガ故

ニ、ソレ等ノ消費ハ區分スル必要ハナカラ

ウト斯ウ存ジマシテ、經營者ノ方カラ客ニ

對シテ請求スルモノハ計算ノ中ニ入レヨウ、

客ガ自發的ニ出スノハ實行上困難ナ點ガア

ルカラ、是ハ計算外ニ置カウ、斯ウ考ヘタ

次第デゴザイマス

付託議案

支那事變特別稅法中改正法律案(政府提出) 臨時利得稅法中改正法律案(政府提出) 臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)

○高橋委員 宿屋デモ宿泊料ト飲食料ト違

フ計算ヲ致シテ居ル最近「ホテル」式ノヤリ方——亞米利加流ト云ヒマスカ、歐羅巴流ト云ヒマスカ、此ノ方ノヤリ方ハ私ハ問題ガ少イト思フノデスガ、普通ノ日本流ノ從來ノ宿屋ダト云フト、食費ヲ込メテ支拂ヲスル、ソレノ一割ナラ一割ト云フモノガ女中ノ手當ダ「サービス」料ダト云フコトニナルト云フト、飲食ノ場合ニ「サービス」ヲシタ「サービス」料ト、又宿泊ニ付テ色々世話ヲシタト云フコトノ「サービス」料トアツテ、宿屋ノ方ハドチラカト云ヘバ、後者ノ方ニ重キヲ置クノデハナイカト思フノデス、サウスルト飲食ニ對シテ「サービス」料ト宿泊ニ對シテ「サービス」料ト斯ウ區別シナケレバナラスト云フヤウナ紛ハシイコトガ生ズルト思フノデスガ、其ノ邊ノ所ハドウ云フコトニナルノデスカ

○大矢政府委員 ソレハ宿泊料ニ「サービ

ス」料ヲ加ヘテ經營者ガ客ニ要求スルノデアリマスカラシテ、夕飯代トシテ宿泊料ノ三割ヲ見ルト云フコトニ致シマスレバ、自然其ノ「チップ」ニ付テモ三割ダケガ課稅標準ニ入ル、後ノ七割ハ宿泊ノ方面ノ「サービス」料ト見テ課稅標準ノ計算ノ中ニハ入レナイ、斯ウシタイト存ジテ居リマス

○高橋委員 營業者ノ組合等ニ於テ稅額ヲ

取立テテ納稅ノ代理行爲ヲ致ス者ニ對シテ交付金ヲ交付スルコトガアル、其ノ額ガ稅額ノ百分ノ一ノ提案内容デアルト云フコトデ色々質問應答ガ重ネラレタト云フコトデアリマスルガ、ソレハ從來ノ酒造業者ノ組合デアルトカ、或ハ織物業者ノ組合デアルトカ云フヤウナモノヲ比較ニ取ラレタト云フコトデアリマスルケレドモ、是ハヤハリ一般町村ノ取扱ト同ジヤウニ、業者個々ニ付テ細カク取立テネバナラスト云フヤウナ面倒ナコトガ起リ又金額モ相當ノ金額ニ上ルモノデアルカラシテ、相當ノ人間ヲ要スルト云フヤウナコトカラ、サウ云フ費用モ相當ニ掛ルト云フノデ、地方官廳ニ於テハ、所ニ依ツテ多少違ヒマセウガ、市町村ト同ジ様ニ百分ノ四程度ノ交付金ヲ下付シ、且ツ成績ニ依ツテ其ノ上ニ獎勵金ヲ下付シテ居ル、斯ウ云フヤウナ有様デアナル、ソレヲ百分ノ一ニ縮メルト云フコトニナルト、其ノ機能ヲ全カラシムルコトガ出來ナイト云フ憂ヒガアルノデハナイカト思フノデアリマシテ、是等ハ當局ニ於テ相當ノ御考慮ニナル必要ガアルト思ヒマスガ、其ノ邊ノコトデ、モウ一應、此ノ稅トシテノ取扱ニ付テ重要ナコトデアルト思ヒマスカ

ラ御意見ヲ伺ヒタイ

○大矢政府委員 是ハ今マデニ數回御答シ

テ置キマシタガ、織物組合ニ對シテ交付シテ居ル額モ大體之ニ近イモノニナツテ居リマス、酒造組合ニ對シマシテハ或ハ其ノ手數ト云フ點ニ於テ相當違フト云フコトモアリマセウ、兎ニ角稅額百圓當リニ二十錢程度ニナツテ居リマス、從來地方稅ト致シマシテ此ノ遊興稅ノ徵收ニ付テハ、徵收義務者ノ方ニ原則トシテ百分ノ四ノ交付金ヲ交付シテ居ツタノデアリマス、是ハ遊興稅ノミデナク昨年地方稅カラ國稅ニ移管致シマシタ演劇興行稅、觀覽稅ニ付キマシテモ同様ニナツテ居リマス、併シ此ノ前ニ申上ゲマシタ通り此ノ事變ニ戰費支辨ノ財源トシテ徵稅スルノデアルカラシテ、關係業者モ出來ルダケ犧牲ヲ拂ツテ努力シテ戴キタイト云フ趣旨ヲ以チマシテ、入場稅ニ付キマシテハ實ハ交付金ヲ交付シテ居ナイト云フヤウナ狀況デゴザイマス、從來遊興稅ニ付キマシテ地方稅ニ於テ相當徵收義務者ガ交付金ヲ貰ツテ居ツタノニ、今度稅額ノ百分ノ一ト云フノハ少キニ過ギルノデハナイカト云フ說モアリマス、御尤ト存ジマスガ、以上申上ゲタ點ニ鑑ミマシテ大體此ノ程度デ適當デハナカラウカト斯ウ存ジタ次第デア

リマス

○川崎委員長 一寸此ノ際申上ゲマスガ、

午前中理事會ヲ開キマシテ、殘餘ノ質問ニ付テノ質疑時間ヲドウ云フ風ニ整理シタラ、殘餘ノ質問者ニ御満足ヲ與ヘルコトガ出來ルカト云フコトニ付テ色々御協議ヲ致シタノデアリマス、只今ノ所デハ質問通告者ハ、今マデ終ラレタ方ノ倍數以上殘ツテ居ルヤウナ譯デアリマス、所ガ會期モ切迫致シ、重要議案モ出テ居リマスシ、是ハ貴衆兩院ヲ通ジテデアリマスガ、大臣ノ御出席ハ甚ダ困難ナ譯デアリマスノデ、ドウ云フ風ニシテ皆サンニ御満足ヲ與ヘルカニ付テ、理事ノ方モ色々御心配ニナツテ御協議ヲ致シタノデアリマスガ、結局大體ニ於テ時間ヲ制限スルヨリ仕様ガナイト云フノデ、先ヅ殘餘ノ質問ハ一時間ト云フコトニシテ貰ツテ、ソレデ議論ヲ抜キニシテ質問ノ要點ヲ御聽キナサルヤウニサレレバ、一時間デモ相當要領ヲ得ルト思ヒマス、一時間ト申シマシテモ、甚ダ失禮デアリマスガ、其ノ中ニ重複ノ質問ニ付テハ是ハ餘程御注意ヲ願ヒタイ、先程カラ高橋サンノ御質問ノ伺ツテ居リマス、重複ノ御質問ガ大分アルヤウデアリマス、其ノ點ハドウゾ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、新シイ重要ナル質問デアリマスレバ、之

ニ對シマシテハ委員長ニ於テ時間ハソレ以上御融通申上ゲルコトモ御取計ヒ致シタイト思ヒマス、ドウゾ其ノ御考デ御質問ヲ願ヒマス、尙ホ内務大臣ハ時間ノナイ所ヲ御都合願ツテ御出席ヲ願ツタノデアリマスカラ、内務大臣ヘノ質問ニ移リタイノデアリマスガ、高橋君ノ質問要求ノ中ニ内務大臣ニ對スルモノガアリマスカラ、高橋君ニ御願申上ゲマス、只今申上ゲマシタヤウナ時間デスカラ、又他ニ數名内務大臣ヘノ御要求モアリマスカラ、成タケ其ノ方ニモ御質問セラルルヤウニ、満足セラルルヤウニ致シタイト思ヒマス、其ノ御考デドウゾ御進メ願ヒタイト思ヒマス

○森委員 一寸議事進行ニ付テ——先般武田徳三郎君カラノ御質疑ガアリ、ソレニ關聯シテ私ヨリ御尋ヲ申上ゲテ委員長ニ於テ然ルベク御取計ヒ願フト云フコトニシテ置イタ問題ガアリマスカラ、内務大臣ヨリ直チニ御答ヲ願ヒタイ、御記憶ガアルダラウト思ヒマス、サウ云フ段取ニナツテ居ル答デアリマス

○木戸國務大臣 町村ノ役場ガ非常ニ仕事ガ殖エテ居ル、ソレ等ニ對スル對策ニ付テノ御尋ダツタト存ジマス、其ノ意味ニ於テ御答ヲ申上ゲマス、御話ノ通り町村ノ今日

ノ現状ハ非常ニ事變以來仕事ガ殖エテ居リマス、是等ニ付キマシテハ、何トカシテ打開シ大ケレバナラヌト云フコトデ、折角只今モ是等ニ對シマスル豫算上ノ考慮ヲヤツテ居リマスガ、此ノ點ハマダ追加豫算ノ決定ヲ見マセヌノデ、具體的ナ御話ハ申上ゲ兼ネマスガ、内務省トシテハ出來ルダケ是ガ實現ヲシテ、幾ラカデモ町村ノ仕事ニ付テ力ヲ與ヘタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○森委員 無論内務省トシテハ逐一地方ノ事情ハ御諒承ニナツテ居ルコトハ思ヒマスガ、併シコナラカラ御覽ニナル地方ノ實情ト、地方ニ常ニ居リマシテ見テ居リマス地方ノ實情トノ間ニ相當ノ隔リガアルト思ヒマス、委任事務ガ非常ニ地方ノ事務ヲ壓迫シテ居ルコトハ平常ノ話デ、此ノ事變以後ニ於テ此ノ壓迫ト云フモノハ非常ニ重壓トナツテ加ハツテ居ルノデアリマシテ、町村ノ方ヨリ色々ノ要求ヲ申上ゲテ居ルノモ決シテ便乘主義ヤ何カデアリマセヌ、本當ニ悲痛ノ叫ビヲ擧ゲテ居ルノデアリマスカラ、只今ノ豫算ノ御交渉ニ付テハ篤ト地方ノ事情ニ御留意ノ上ニ御善處ヲ願ヒタイト思ヒマス

○高橋委員 内務大臣ニ御尋ヲ申上ゲマス

ルガ、今回ノ税法改正ニ於テ移管サレル遊興稅ハ地方稅トシテハ比較的彈力ニ富ム稅種デアツタト私共ハ考ヘルノデアリマス、地方ニ於テ此ノ稅源ヲ失フト云フコトハ、地方財政トシテハ困ルコトガ多イト思フノデアリマス、其ノ對策トシテ地方財政補給金ヲ増額サレルト云フヤウナ形ニナツテ、サウシテ從來地方ニ於テ徵稅シタダケハ地方ニ返還スル、斯ウ云フコトニ大體ノ方針ヲ建テテ居ラレルト云フコトヲ數次ノ質問應答ニ依ツテ了解ヲ致シタノデアリマス、而シテ地方ニ於テハ市町村ニ於ケル事務ガ此ノ事變以來特ニ激増シタ、斯ウ云フコトノ爲ニ町村自體ノ負擔ノミデハ到底ヤリ切れヌカラ、之ニ對シテ相當ノ助成ヲナサルト云フ御計畫ガアル、ソレカラ一方ニ於テハ又新シク警防團ガ組織サレル、從來ノ防空上ニ關係ヲ持ツテ居ツタル防護團並ニ水災等ノ警防ニ當ツテ居リマシタル消防組ト云フモノヲ改組統合シテ、新シク警防團ト云フモノヲ組織致シ、此ノ四月一日カラ是ガ活動ヲ開始スルコトニ相成ツテ居ル、即チ從來ノ消防組ニ對シテ新ニ防空ト云フ仕事ガ加ヘラレ、且ツ今マデ自衛的ノ團體デアツタモノガ、今度ハ地方長官ノ命令又ハ許可ニ依ツテ設立サルルコトニ相成リ、

防空ノ仕事、水災ノ防備並ニ其ノ他一般警防ニ關シテ警察ノ補助機關トシテ防護義務ヲ負ハシムルノデアリマシテ、而シテ之ニ酬ユルニ何等報酬ハナイノデアリマス、從來ノ消防組ト同ジヤウニ無報酬デ之ヲ國家ノ御用ニ勇敢ニ立タシムルノデアリマス、而シテ是ハ一朝事有ツタ場合ニハ軍人ト同ジク防空戰陣ノ第一線ニ起ツノデアリマシテ、危險モ隨テ多イノデアリマス、平素ノ訓練モ十分ニシテ置カナカツタナラバ、事ノ有ツタ場合ニ役立タヌノデアリマス、而シテ地方市町村費ニ於テ一切仕賄ヲスルノデアリマスガ、御承知ノ地方ノ、殊ニ市町村ノ財政狀態デアリマス、國家ノ仕事ヲスル者ニ對シテ相當ニ國家ガ負擔ヲスルノガ當リ前ト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ内務御當局ニ於カレテモ、ソレノ費目ヲ計上サレテ、追加豫算等ニ御請求ニナツテ居ルト云フコトヲ仄ニ承ツテ居リマシタ、昨日大藏大臣ニ向ツテ是等ノコトヲ質疑致シマシタ所ガ、サウ云フ要求ガアリ、目下考慮中デアル、斯ウ云フヤウナ御話ガゴザイマス、之ニ付テ内務大臣ノ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 只今御話ノ警防團ノ組織

ニ付キマシテハ、大體高橋サンガ今御述ニナリマシタヤウナ趣旨デ、今後防空消火災ト云フヤウナコトニ付キマシテ一段ト強化ヲ致シマシテ整備シテ行クト云フコトニナツテ居ル次第デアリマス、其ノ費用ヲ國ノ方デ持ツト云フ問題ニ付キマシテモ、只今御話ノヤウナ大體經緯ヲ以チマシテ、目下財政當局ト話合フシテ居ル、私共ト致シマシテハ出來ルダケ、何分國費多端ノ時デアリマスルケレドモ、斯ウ云フ重要ナコトデアリマスルカラ、出來ルダケ實現ヲシタイト折衝致シテ居ル次第デアリマス、大藏省ニ於テモ相當ノ考慮ヲ以テ之ヲ研究シテ貰ツテ居ルヤウナ次第デアリマス

○高橋委員 國費多端ノ際デアリマシテ、各方面カラ多數ノ要求ガアルカラ、目下熟慮中デアアル趣ヲ大藏大臣ガ答辯サレテ居ルノデアリマスガ、内務大臣ニ於カレマシテハ、是等ノ費目ハ非常ニ重要ナモノデアリマシテ、而シテ目下人員ノ不足勝チノ中カラ最モ有能デ心身共ニ健全ナル分子ヲ團員トシテ網羅シテ居ル、地方ノ中堅分子タル人々デアリマスルカラ、之ヲ十分訓練スルト云フコトハ、國家トシテ非常ニ有意義ナコトダト思ヒマス、又時局柄重要ナル仕事ト考ヘテ居リマス、而シテ何等制裁ノ規程

ヲ有サナイ團體デアリマスカラ、之ヲ指導訓練致シマスルニ付テハ、其ノ任ニ當ツテ居ル人々ハ、官ト言ハズ民ト言ハズ、相當ナル苦心ガアルガラウト思ヒマス、而モ其ノ訓練其ノ他施設ニ對シテ事缺クコトガ多イト云フヤウナ事情ノ下ニ於キマシテハ自然倦怠ヲ來サシムルト云フコトハ當然ノコトト思ヒマスルカラ、「國ノ助成ガアルノダ」、「一部ハ國費デ負擔シテ貰フノダ」ト云フコトニナレバ、自ラ其ノ職責ト云フモノノ大切ナルコト、重大ナルコトヲ自覺スルニ、尙ホ一段ノ效果ガアルト思フノデアリマスルカラ、此ノ上トモ御配慮ニ與リタイト思フ次第デアリマス、尙ホ質疑モアルノデアリマスルガ、多數ノ聯關質問ガアルト云フコトデアリマスカラ、私ノ内務大臣ニ對スル質疑ハ此ノ程度ニ止メテ他ノ諸君ニ御譲リヲ致シマス

○江羅委員 私ハ色々質問申上ゲタイコトガアリマスガ、技葉末節ノコトハ大臣ニ御尋申シタイ點ダケヲ此ノ機會ニ質疑致シマス、今回ノ増稅案ヲ見マスルニ、唯金サヘ餘計取レバ宜イト云フノデ、ドウモ一定ノ方針トカ主義ト云フモノガ立ツテ居ラナイ、是カラモ取ルガ宜イ、アレカラモ取ルガ宜イト云フヤウニ、無暗ニ金ヲ取ルコトニ

ミ波頭セラレテ、總テノコトニ御注意ノ缺ケテ居ル點ガアリハシナイカ、ソレデ今次ノ増稅案ヲ見マシテモ、ドウモ方針ガチツトモ分ラナイ、ソレカラ茲ニ戴イテ居リマス法律案ノ新舊對照表ヲ見マシテモ、同ジコトデス、唯賦課率ヲ殖ヤシタダケデアアル、サウスルト文句ガ一寸變ツタリ、賦課率ガ殖エタリ減ツタリシタト云フダケデ、一向新シ味ガ現ハレテ居ナイ、唯新シ味ノ現ハレテ居ル點ハ地方ノ財源ヲ召上ゲタト云フコトデアリマス、是デハドウモ政府ノヤリ方トシテハ面白クナイヤウニモ思ヒマス、ソレデ斯ウ云フ風ニ御扱ヒニナリマス結果トシテ、地方ガ財源ニ苦シムコトハ申上ゲルマデモナイノデアリマス、其ノ結果トシテ地方ハ財源ガナイ、皆取上ゲテシマフ、サウシテソレニ課稅シテ、集ツタ金ヲ交付金トシテヤル、斯ウ云フコトニナル、サウナルト殆ド中央集權デアリマシテ、地方團體ノ獨立性ハ奪ハレテシマヒマシテ、中央依存ノ財政ニナツテ來マス、斯ウ云フ風ニナルコトハ宜イノデアアルカドウカ、私ニハドウモ分ラナイ、大臣ノ見ル所ハ一切ヲ中央デ處理シテ地方ニハ其ノ費用ヲ交付シテヤレバ宜イト云フ建前デ行クナラバ、ソレハ中央集權主義デア

ル、サウ云フヤリ方モアリマセウ、ケレド

モ今日ノ案ハドチラトモ付カナイ、交ゼコゼニナツテ居ル、斯ウ云フコトデハ私ハ國家ノ行政トシテ洵ニ詰ラナイモノデハアルマイカト思フ、此ノ交付金ヲヤルコトハ結構デアルケレドモ、地方ノ獨立性ヲ奪ツテシマヒマス、ソレカラ又地方ニ於キマシテハ、森君カラ色々御尋ガアツタヤウニ事務ガ非常ニ殖エテ居ル、其ノ事務モ地方團體自體ノ福祉増進ノ爲ニヤル固有事務以外ニ、市町村ニ對シテ國家若クハ府縣カラノ委任事務ガ多イノデアリマス、ソレカラ自然ニ參リマスルト、是ハ法律命令ニ依ルニアラズンバ、サウ云フ委任事務ハ殖エテ來ナイ筈デス、ソレニドウモ近頃サウ云フ法律命令ニ據ラザル委任事務ガ頗ル多イノデアリマス、六大都市アタリデモ非常ニ殖エテ居リマス、其ノ殖エタ率ヲ申シマス、先ツ推定率ニ致シマシテ、一般市費總額ノ六割四分、大阪アタリデハ六割三分、京都アタリデハ七割一分、横濱六割四分、神戸五割八分、名古屋七割六分ト云フ割合ヲ占メテ居ル、ダカラ團體自身ノ生存ノ爲ニ使フ市費ヨリモ、委任事務ヲ命ゼラレテ負擔スルモノガ、是ダケ多ク強要サレテ居ルノデアリマス、サウシテ苦シデ居ル所ヘ、更ニ其ノ財源ヲ奪ハレテシマツテハ市ガ成立タナ

クナル、斯ウ云フヤウナ膏藥張りノヤウナ増税ヲ行ハレルノハ一體ドウ云フ御考デア
ルカ、市トカ町村トカ云フモノノ税ヲ皆中
央へ取上ゲテシマツテ、サウシテ全部交付
金ヲ賭ツテヤラウト云フ御方針ノ下ニ斯ウ
云フコトヲ御ヤリニナルノデアアルカドウカ
ト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 江羅サンノ只今ノ御尋ハ、

中央ニ總テヲ集中シテ、地方ノ市町村等ノ
獨立性ヲ失ハセル方針デアアルカト云フ御尋
デアリマスガ、政府ト致シマシテハサウ云
フコトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、偶
今回ノヤウナ支那事變ニ對應致シマスル爲
ノ増税ノ爲ニ相當ノ擔稅力ノアリマス税ヲ
國稅ト致シマシタノハ、必ズシモ之ヲ以テ
中央ニ總テヲ集中シヨウト云フ方針デハナ
イノデアリマシテ、飽マデモ地方ノ自治ハ
尊重スル積リデ居ルノデアリマス、只今ノ
御話ノヤウニ、今日事變以來殊ニ地方團體
ニ對シマシテ國ノ委任事務ガ殖エテ參リマ
シタコトモ御話ノ通りデアリマス、是等ニ
付キマシテ市町村等ガ相當ノ負擔ニナリ、
又吏員等ノ關係カラモ甚ダ困難ナル狀況ニ
在ルコトモ十分承知シテ居ルノデアリマス、
是等ニ付キマシテハ鋭意其ノ對策ニ付テ考
究シテ居ルヤウナ次第デアリマス、或ル

時期ガ參リマスレバ是等ノ點ニ付テハ相當
ノ調整ヲ要スルト云フコトモ吾々モ考ヘテ
居リマス、決シテ中央ニ集中スルト云フヤ
ウナ考ハ持ツテ居ラス次第デアリマス、其
ノ點ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○江羅委員 只今大臣ノ御答辯デ、中央集

權デナイト云フ御答辯デアリマシタ、然ラ
バ伺ヒタイノハ、内務省ノ地方局ニ於キマ
シテ昭和四年ニ發表シタ意見ガアリマス、
其ノ御意見ニ依リマスルト、中央ト地方ト
ノ財源ハ分ケテ取扱フベキモノデアルト云
フ、是ハ主稅局ノ同年ノ發表モ其ノ通りニ
ナツテ居ルヤウデアリマス、ソコデ地租ハ
地方ノ財源ニスル、ソレヲ市町村ニヤル、
營業稅ハ府縣稅トスル、地租ノ課稅標準ハ
賃賃價格トシ、營業稅ハ課稅標準ヲ純益稅ト
スル、斯ウ云フ風ニシテ地方ト中央トノ稅種
目、課稅方法ハ明白ニ分ケナケレバナラ
ヌト云フ意見ガ發表サレテ居リマス、内
務省ノ發表サレテ居ルノモ殆ド其ノ通りデ
アリマシテ、所得稅附加稅並ニ地方財政
調整交付金等ニ依ル、サウシテ是等ノモノ
ニ依ツテ稅源ヲ分割シテ行キタイ、斯ウ云
フ意見デアリマス、ソシテ馬場大藏大臣ノ
意見モ其ノ通り、サウシテ其ノ條項ハ申上
ガズトモ分ツテ居リマセウガ、其ノ改革目

標ノ第三ニ中央地方ヲ通ジ、彈力性ノアル
稅制ヲ樹立スルト云フノガアル、斯ウ云フ
ヤウニシテ過去ノ大藏大臣内務大臣ノ御意
見ハ皆サウ云フ工合ニ中央地方ヲ通ジテ彈
力性ノアル稅制ヲ樹立スル、サウシテ此ノ
稅ハ地方デ取ラセル、此ノ稅ハ中央デ取ルト
云フヤウニ分ケナクチャナラヌト云フノガ
稅制改革ノ目標デアツタコトハ是ハ明瞭ナ
ル事實デアリマス、然ルニ今回ハモウ無方
針、無定見、唯金サヘ取レバ宜イ、唯課率ヲ
殖シテ御取リニナルト云フコトヨリ外ニナ
イ、サウシテ大藏大臣ノ御説明ヲ伺ヒマシ
テモ、唯非常時局デアアルカラ、ソレデマア
差當リヤル、斯ウ云フ御議論デアリマス、
非常時局デアアルカラ差當リ金ガナクテハナ
ラヌト云フノデ、御取リニナルト云フコト
ノヤウニナツテ居リマス、ソレデハマルデ
無方針デアアル、サウシテ又何十億ト云フ百億
ニ近い國帑ヲ費シテ居ル此ノ非常時ニ、僅カ
ナ稅源ヲ奪フト云フコトハ、俗ニ謂フ重箱
ノ隅ヲホジクツテ居ルヤウナ話デ、是デハ
非常時局ヲ御擔當ナサレル抱負定見ガ疑ハ
レルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、
今差當リ斯ウ云フ稅ヲ拵ヘタガ、十五年度
ニハ稅制ヲ改革シテサウシテ立派ナ稅制ヲ

樹立スル、ソレマデ一年ナラ一年間ノ謂ハバ

一時凌ギノ稅率デアアル、斯ウ云フコトニナ
ルノデアリマスカ、ドウモ其ノ邊ガ私共ニ
ハ分ラナイ、ソレデ稅制改革ヲシタイト云
フコトハ政府モサウ御考デアリマスシ、又
一般國民モソレヲ期待シテ居リマス、ソレ
デアアルノニ、ドウモ御説明デ得心ノ行カ
イノハ、今私ノ申上ゲルヤウニ、十分ノ改
革ヲシタイガ、今ハ間ニ合ハナイ、ソレダ
カラ一年間ハ是ハ丁度「ブラック」拵ヘノヤ
ウナモノデ、已ムヲ得ズ斯ウ云フコトニナ
ツタノダガ、一年間ハ辛抱シロ、來年ハ必
ズ稅制ヲ改革シテ、サウシテ立派ナ稅制ヲ
樹立スルノデアアル、斯ウ云フコトデアレバ、
私共ハ一年待テナイト申スノデハナイノデ
アリマス、ケレドモ斯ウ云フコトデモウ抑
ヘテ置クヤウナ口吻モ見エ、其ノ口吻ト
ハ先ヅ非常時デアアルカラ辛抱シロ、國民ハ
ドウシテモ協力シロ、ソレハ國民ノ協カ
云フコトハ勿論デアリマスケレドモ、其ノ
方法ガ惡ケレバヤハリドウシテモ協力シテ
行カネバナラヌト云フ筋合ノモノデハナイ
ト思フノデアリマス、ソレデ是ハ此ノ十四
年度ダケノコトデアリマスカ、永久ニ斯ウ
云フヤウナ膏藥張りミタヤウナ稅制ヲ存續
サセルト云フ御考デアアルノカ、ソレ等ヲ先
ヅ伺ヒタイノデアリマス

樹立スル、ソレマデ一年ナラ一年間ノ謂ハバ

○木戸國務大臣 中央地方ヲ通ジテノ稅制ノ改革整理ニ付キマシテハ、先般來ドナタカノ御尋デ大藏大臣モ御答シタト存ジマスガ、政府トシテハ來年度ニ於テハソレ等ニ付テ立案ヲスルト云フ方針ヲ以テ、只今臨ンデ居ル譯デアリマス、御話ノヤウニ今回ノ處置ニ付テハ色々ノ御批評モアラウト思ヒマスガ、支那事變ニ對處スルト云フ意味ニ於テ、臨時的ノ措置ヲ執ツタ次第ナノデアリマス、是等ニ付テモ相當ノ檢討ヲ加ヘテ、更ニ中央地方ヲ通ズル根本的ノ稅制整理ト云フコトハ必要デアルト考ヘテ居ルノデアリマス

○江羅委員 此ノ根本的ノ稅制整理ハ勿論必要ナコトドゴザイマスガ、之ヲ御定メニ相成ツテ取ルノニ、ドウモ當局ノ御説明デ吾々ノ不滿ニ考ヘル點ハ、此ノ制度ヲ作リマス、其ノ觀念ニ大變ナ相違ガアルヤウニ思フノデアリマス、ソレハ當局ノ方デハ非常時ダカラ是デ辛抱シロト言ツテ、物品稅ヲ取ツテ見タリ色々ノ稅ヲ取ルノハ不都合デアルト思ヒマスガ、是ハ統制主義デアルト言フ、併シ私共ノ考デハ統制ト云フモノハ一ツノ手段方法デアリマシテ、目的デハナイト思フノデアリマス、サウスルト統制ハドウ云フ目的デモ統制出來ル、資本主義デ

モ統制出來ルシ、全體主義デモ出來ル、計畫經濟主義デモ統制ハ行ハレル、統制ト云フモノハ其ノ主義ヲ強化スル爲メノ手段方法デアル、デアルカラ今統制經濟主義デアルト云フヤウナ意味デニ協力シロ、斯ウ云フコトヲ商工省アタリデモ能ク言ヒマスガ、其ノ根本ノ觀念ニ私共ハ吞込メナイ所ガアル、ソレハナゼカト云フト、資本主義經濟ニ依ツテ成立ツテ居ル多クノ汗牛充棟ノ法令ガアリマス、是ガ日本ノ法令ノ大部分デアル、サウスルト今度ハ全體主義デアラウガ、國家主義デアラウガ、私ハソレガ良イ惡イト云フノデアリマセヌガ、ドチラニデモ御變ヘニナル時ニハ、其ノ法制ヲ總テ全體主義統制經濟ナラ全體主義統制經濟ニヤハリ改正ヲシテ貫ハナイト、一方ニハ自由主義ノ制度ガアリ一方ニハ國家主義ノ制度ガアル、又統制ダト云フコトニナルト何ダカ分ラナクナル、ソレデ國民ニ協力ヲ強ユルト云フコトハ、ドウモ私ハ不都合デアアルマイカト思フ、

ダカラヤハリ政府ハ國家統制主義デモ計畫經濟主義デモ何デモ宜シイガ、サウ云フ主義デ御臨ミニナルナラ、其ノ主義ニ合致スルヤウニ、詰リ其ノ體系ヲ整ヘテ、サウシテ民衆ニ臨ンデ貫ヒタイト思フノデアリマ

スガ、今回ノ稅制ノ改革ハドウモ其ノ體系ガ一向アリマセヌ、自由主義ノ所モアリ、ソレカラ命令デ強制スル所モアリマス、ドウモ區々デアアル、サウスルト大體日本政府、内務省ノ執ル所ノ方針ハ何處ニ目標ヲ置イテ居ルノデアルカト云ヘバ、無方針デアルト答ヘルヨリ外ナイト思フノデアリマス、是等ノ點ニ付テ大臣ノ御見解ヲ御示願ヘレバ幸デアリマス

○木戸國務大臣 只今我國ノ事變對處ニ對シマシテ、各種ノ法令ガ出、或ハ統制ヲ行フコトニ付テノ御話デアリマシタ、政府ト致シマシテハ特ニ此ノ際何々主義ト云フヤウナ見地カラ總テノ制度ヲソレニ變ヘテ行クト云フヤウナコトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、今日我國ノ産業、經濟、總テハ此ノ事變ニ對應致シマシテ相當ニ耐ヘ得ル實情ニアルノデアリマス、唯今ノヤウナ負擔ノ必要其ノ他カラ致シマシテ、稅制ノ改正等ハ致シマスガ、併シナガラ統制ヲ少シ強化スルト云フコトガ、必シモソレニ依リマシテ或ル主義カラ或ル主義ニ變ツタト云フヤウナ趣旨ニ於テ政府ハ方針ヲ決メテ居ルノデアリナイノデアリマシテ、現在ノ機構ノ上ニ即シテ其ノ擔稅力ノアル所ニ向ツテ負擔ヲサセテ行クト云フヤウナ方針ニ依ルノデ

アリマス、隨ヒマシテ或ル部分ニ於テハ建前ヲ變ヘテ御考ヘニナリマス、時ニ徹底シナイ點、或ハ不十分ナ點ガアルノカモ知レマセヌガ、政府ト致シマシテハ、只今申上ゲマシタヤウナ趣旨ニ依リマシテ、對處致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○江羅委員 只今御答ヲ戴キマシタガ、其ノ御説明ニ依リマス、ドウ云フ主義ト云フヤウナコトドナク、政府ノ實際ニ付テスウシタ方ガ宜イト云フヤウナ點、一口ニ言ヘバ國民ノ幸福、國家ノ發展ニ必要ナ施設ヲ行フノデアル、別ニ主義ヲ定メテ行フノデアリナイト云フヤウナ御説明デアリマシタ、ソレハソレデモ結構デス、昨日モ一松委員カラ質問ガアリ、過日來モ先輩諸君カラ色々質問セラレマシタガ、戰時ノ重工業デ非常ニ利得ノアツタ人、非常ニ儲ツタ人、斯ウ云フヤウナ人カラ稅ヲ取ルコトヲ抜カシテ居ル、箆棒ニ儲ケテ居ル人カラ稅ヲ取ラナイ、サウシテ損ヲシテ居ル人カラデモ取ル、斯ウ云フコトデハ眞ニ實情ニ即シタモノデハナイト思ヒマス、ソレデ昨日ノ豫算委員會ニ於ケル總理大臣ノ御答辯ヲ一ツ引例シテ申上ゲマスナラバ、總理大臣ハ統制ヲ強行スルト云フコトデアアルナラバ、ソレト同時ニ中小商工業者ノ保護ノ途ヲモ考ヘ

ネバナラス、斯ウ仰シヤツテ居ル、所方現在何カ保護ノ途ヲ御考ニナツテ居リマスカト言フト、何一ツ考ヘテ居ナイ、是カラ後ニ考ヘルノデアツテ、今日マデハ考ヘテ居ラナイト云フコトデアリマス、サウ云フ風デハ國民ノ實情ニ即シタ政治デアルトモ思ヘヌ、又新稅案ヲ質的ニ考察シテ見マシテモ、唯形式的ニ畫一主義ヲ採ツテ居ラレマシテ、大都市、小都市町村皆平等デアリマス、斯ウ云フ平等ハ惡平等デアリマス、決シテ是ハ事實ニ即應シタトハ言ヘヌ、理論ノ上、机ノ上デ立テタ稅制ノ案デアリマス、然ラザレバ大都市ト小都市ト町村デハ非常ニ物ガ變ツテ然ルベキ筈デアリマス、ソレガ變ツテ居ラナイ、何處デモ同ジコトデアル、一寸一ツ例ヲ申シマスレバ、遊興稅等ノ交付金ハ、其ノ納稅團體ノ組合ヲ作ツテ、ソレニ百分ノ一カ何カ交付シテヤルト云フコトデアリマスガ、是ハ東京トカ京都トカ云フ所ハ遊興稅モ額ガ多イ、業者モ澤山アリマス、ソレダカラ百分ノ一デモソレハ組合ヲ作ツテ政府ニ協力シテ其ノ報酬ガ戴ケル譯デアリマスケレドモ、町村ニ行ツタラ一軒ヤ二軒アル所デ百分ノ一貫ツテソナシテ話ガ出來マスカ、出來ハシナイ、斯ウ云フモノハドウスル、斯ウ云

フヤウナコトヲ考ヘマスト、是ハ總テガ餘リニ畫一的ニナツテ居ルヤウニ思フノデアリマス、モウ少シ此ノ稅制ノ御取扱ヒノ上ニハ餘裕ノアル——其ノ間ニ色々當局ノ自由裁量ノ出來ルモノガナケレバドウスルコトモ出來ナイ、俗ニ言フ石デ手ヲ詰メタヤウナ畫一主義デハ、其ノ稅制ノ根本ニ無理ガ起ル、然ラザレバ執行シクイコトニナルコトハ明カデアラウト思ヒマス、ダカラ斯ウ云フ稅ハヤハリ地方々々ノ事情ニ依ツテ適當ニ自由裁量ヲ爲シ得ル餘裕ノアルヤウニシテ置カナケレバ私ハイカスト思フノデアリマス、是ハヤハリ大臣ガ山ノ奥デモ町ノ中デモ一定ニ取締ルト云フ御方針デスウ云フヤウニ御提案ニナツテ居ルノカ、ドウ云フ御考カ、ドウモ御説明ト私ハ違フヤウニ思ヒマス、ソレヲ明瞭ニシテ私共ノ蒙ヲ啓イテ戴ケバ結構デアリマス

○木戸國務大臣 只今私ガ御質問ニ御答申上ゲマシタヤウニ、政府ト致シマシテハ實情ニ即シテ稅ヲ負擔シ得ル方面カラ取ル、而シテ畫一的ノコトハ考ヘテ居リマセヌ、併ナガラ或ルモノヲ取ルト云フヤウナコトニナルト、自ラソコニ標準ガ出來テ參リマスノデ、隨ヒマシテ其ノ標準ヲ餘リ細カク書イテ行クト云フコトモ亦却テ紛淆ヲ來ス、

適切デナイト云フコトモ起ルノデアリマスカラ、ソレ等ニ付テハ形ノ上カラ見マスト畫一的ノ部分モアルト思ヒマス、併シ根本ノ精神ハ總テ畫一的ニ中央ニ纏メト云フ考デナク、出來ルダケ實情ニ即シタ方針ヲ以テヤル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○川崎委員長 江羅君ニ一寸御諮リ致シマスガ、アナタノ御質問ハ三十分ニナツテ居リマスガ、關聯質問デ御許シタノデアリマス、一時間ノ半分ヲ御取リニナツテ居リマスノデ、後ニ御質問ニナル時ニ、理事會デ打合せヲシタノハ一時間ト云フ範圍デアリマスカラ困ルト思ヒマス

○横川委員 關聯質問ハ今後ノ時間制限ニ關係スルト云フコトハ決メラレテ居リマセヌ

○川崎委員長 併シ三十分モ掛ルト——一寸速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○川崎委員長 デハ始めテ——江羅君

○江羅委員 我先輩諸君ノ質問シテ居ラレルノヲ拜聴シテ居リマシタガ、ドウモ當局ノ答辯ガ私共ニハ洵ニ不親切ダト思フノデアリマス、例ヘバ中島彌團次君ノ質問ノ中ニ、建築稅ト云フモノガアル、所方地方デ

ハ不動産取得稅ト云フモノガアルカラ、是ハ二重ニナルノデハナイカト云フコトノ質問ニ對シテ答ヘラレマシタノハ、ソレハ一方ハ國稅デアアル、地方デ取ルノハ地方稅デカラ二重デハナイト、斯ウ答辯セラレタ、是ハ私ハ一寸野人禮ニ嫻ハズデ、言葉遣ヒガイケヌカモ知レマセスケレドモ、俗ニ言フ三百カモグリノ話デアアル、質問者ノ意思ハ、地方稅デアラウガ國稅デアラウガ、サウ云フコトヲ論ジテ居ルモノデハナイ、納稅スル者ハ二重ニ取ラレルト云フノガ中島君ノ意思デアアル、サウスルト、イヤソレハ地方稅ダカラ二重デハアリマセヌ、斯ウ云フコトハ、詰リ私ハ三百的答辯デアルト思フ、私共素人デ分リマセヌガ、技術ニバカリ没頭シテ居ル人ガ不親切ニサウ云フ答方ヲシテ、サウシテ其ノ場サへ過ギレバ宜イト云フヤウナコトデハ私ハイカスト思フ、ヤハリ此ノ委員會ノ質問ハ民衆ノ聲デアアルシ、之ニ御答ニナルコトハ、此ノ委員會ヲ通ジテ國民ニ諒解セシムルコトニナルノデアリマスカラ、モット親切ナ答辯ガ眞ニ必要デアルト思フノデアリマス、ソレガドウモ不親切デアアル

○大矢政府委員 今ノ江羅サンノ御言葉ニ對シテ、私カラ一言申上ゲテ置キタイト存

ジマス、先般中島サンカラ御尋ノアツタ際ニ私カラ御答シテ置キマシタ趣旨ハ、決シテ左様ナ趣旨デ申シテ居ツタノデハゴザイマセス、其ノ點ハ今此處ニ中島サンガ御見エニナツテ居ラレマスガ、中島サンハ十分御諒解ノコトト存ジマス、私ハ國稅ト地方稅、之ヲ二ツ重ネテモ構ハナイト云フコトノ趣旨デ決シテ申上ゲナカツタノデアリマス、不動産取得稅ハ家屋ヲ建築シタ場合デモ、又古イ家屋ヲ買ツタ場合デモ、或ハ他カラ讓渡ヲ受ケタ場合ニデモ、其ノ原因ノ如何ニ拘ラズ、其ノ者ニ擔稅力アリトシテ不動産取得稅ヲ課シテ居ルモノデアアル、ソレカラ此ノタビ國稅デ建築稅ヲ起シマスノハ、此ノ事變下ニ於テ木材其ノ他ノ建築資材節約ノ資ニモ供シタイ、サウシテ一萬圓以上ノ住宅、其ノ他料理店ヲ建築スル人ハ相當負擔力ノアル人デアアルカラ、此ノ消費抑制ノ趣旨ヲモ含メテ課稅ヲスルノデアアル、所デ國稅ニ於テ建築稅ヲ起シテ、ソレト重複スル部分ノ地方ノ不動産ノ取得稅ヲ免除スルト云フコトニナリマス、不動産ノ取得稅ハ、新築以外ノ他ノ原因ニ依ツテ取得スル場合ニモ總テ課稅スル、不動産取得自體ニ擔稅力アリトシテ權衡ヲ取ツテ課稅シテ居ルニ拘ラズ、國稅デ建築稅ヲ起シタソレト

重複スル部分ニ對シテ、地方ノ不動産取得稅ヲ免除スルト云フ風ニナツテハ、此ノタビノ建築稅創設ノ趣旨ヲ没却スルモノデアアル、建築稅ヲ創設スルノハ、寧ろ地方ノ不動産取得稅ヲ其ノ儘ニシテ置イテ、其ノ上ニ國稅ノ建築稅ヲ賦課シテ、建築スル者ニ負擔サセル趣旨デアアル、ソレガ目的デアアル、斯ウ申上ゲタノデアリマス、デアリマスカラ、國稅ト地方稅トガ重複ニナツテモ構ハナイト、決シテ左様ナ趣旨デ申上ゲタノデアリマセス

○江羅委員 餘計ナコトカモ知レマセスガ、一寸一言シマス、私ガ拜聽シテ居リマシタ時ニ伺ツタ中島彌團次君ノ質問ノ趣旨ハ、建築稅ハ不動産取得稅トシテ取ラレ、又建築稅デ取ラレルカラ二重ニナルノデハナイカト云フ點ニアツタト私ハ思ツテ居ル、ソレニ對シテアナタハ、片方ハ地方稅デアアルト仰シヤツタコトハ事實デアアル、ソコデサウ云フ場合ニハ二重ニナルノダト言フノナラ分リマスケレドモ、片方ハ地方稅ダト云フヤウナコトヲ言ツテ……

○川崎委員長 江羅君、他ノ問題ニ觸レラレテハ困リマス、議事進行上ニ差支ヲ生ジマスノデ……

○江羅委員 ソレデハ私ハ内務大臣ニ伺ヒ

マスガ、此ノ中ノ遊興稅等ハハ地方稅デ取ツタ、大正八年ニ初メテ日本デ金澤市デ設ケタ、ソレカラ六大都市ガ之ニ倣フト云フコトニナツテ來マシタ、サウシテ取ル時ニナツタラ、地方局カラ文句ガ出タ、斯ウ云フ稅ハ稅ノ體制ヲ成サナイ、稅トシテ取ルベキモノデハナイ、ダカラ止メロ、斯ウ云フコトデアツタノデス、ソレヲドウカ取ラシテ貫ヒタイト陳情シタ、然ラバ一年限リ許シテヤラウト云フコトニナツタ、デスカラ是ハ良イ稅源ダトモ言ハレナイ、良イ稅源デアアルナイニ拘ラズ、取ルコトハ宜クナイト云フ内務省ノ御意見デ差止メタ、斯ウ云フ性質デ成立ツテ居ルモノデアリマス、サウシテ數年間扱ヒマシテ、ソレガ彈力性ガアリ、樂ニ徵稅ガ出來ルト、即チムツカシイ間ハ地方デ苦勞サシテ、出來上ツテモウイケルト思フト、ソレノ熱シタ時分ニコツチニ取上ゲルノダト云フ譯ニナル、ソレデハ内務省ノ方針ガ何處ニアルカ譯ガ分ラナイ、斯ウ云フ例ハ幾ツモアルガ、時間ノ關係上申上ゲマセヌ、オ役所ト云フモノハ大臣ガ迭ル度ニ其ノ大臣ノ事務所ミタイニナツテ、大臣ノ方針ガ違ツタラスツカリ違ツテシマツテ、其ノ間ニ政府トシテノ主張ガ明瞭デナイノデアリマシテ、時々ニ變ヘラレテシマフコトニナル、ソレガ爲ニ非常ニ公共團體等ノ迷惑少カラヌモノガアル、ソレニ付テ大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス

○木戸國務大臣 只今御話ノ遊興稅ガ其ノ創設當時ニ於キマシテ、徵稅上ノ技術ノ點カラ見マシテ、相當困難デアラウト云フヤウナ豫想カラ、内務省ニ於テ注意ヲシテ來タト云フ只今ノ御話、其ノ事ハ事實デアリマス、併シ今日ニ於キマシテハ幸ニ此ノ問題ハ非常ナ成績ヲ擧ゲテ居ルヤウナ狀況ニナツテ居リマス、今回之ヲ國稅ニ致シマスコトハ、先般來大藏大臣等ヨリモ御答辯シテ居ル次第デアリマスガ、事變對處ト致シマシテ奢侈的ナ斯ウ云フモノニ付キマシテハ、相當ニ國トシテ課稅ヲシテ行ク方ガ適當デアルト考ヘタノデニ應ジタ次第デアリマス、只今御話ノヤウニ何カ政府ガ迭ル度ニ其ノ方針ガ大臣ノ方針ニ依ツテ非常ニ無方針ニ動イテ居ルト云フヤウナ意味ノ御質問デゴザイマシタガ、決シテ左様ナコトハナイノデアリマス、相當ノ研究ノ基礎ノ上ニ總テハ動カシテ行ク積リデ居リマス

○川崎委員長 一寸江羅君、アナタノ關聯質問ハ範圍ヲ越エテ居ルヤウデスシ、四十分以上モ經ツテ居リマスカラ止メテ戴キマシテ、高橋サンニ御相談ヲ致シマスガ、

○川崎委員長 一寸江羅君、アナタノ關聯質問ハ範圍ヲ越エテ居ルヤウデスシ、四十分以上モ經ツテ居リマスカラ止メテ戴キマシテ、高橋サンニ御相談ヲ致シマスガ、

大藏大臣へノアナタノ御質問ハ御濟ミデスカ

○高橋委員 濟ミマセヌ、重要ナ質問ガアリマス

○川崎委員長 ソレデハ午後大藏大臣ノヲ許シマス——今日ノ理事會デハ甚ダ申上ゲニクイコトデスガ、質問應答共ニ入レテ一人一時間以内ト云フコトニナツテ居リマスカラ、其ノ御考デ御進行下サルヤウニ御願申上ゲテ置キマス

○服部委員 議事進行ニ付テ……質問ノ方法ニ付テデアリマスガ、本日ハ理事會デ後ノ質問者ノ時間ヲ大體一時間程度ニ制限サレルト云フノデアリマスガ、吾々ハ初メカラ段々質問ガ日ヲ重ネルト後ノ方ノ質問者ガ極メテ窮屈ナ、時間ヲ制限サレハシナイカト云フコトヲ心配シテ居ツタノデス、ト云フノハ、ドウモ最初ノ發言者ハ相當無制限ト申シマスガ、發言ヲ御許シニナツテ居ツタ、斯様ナコトデハ其ノ後ニ於ケル所ノ質問者ノ時間ガ非常ニ窮屈ニナツテ來ルト云フコトヲ非常ニ心配シテ居ツタ、果セルカナ今日ノ理事會デ一時間ト云フコトニ大體制限ヲスルト云フコトニナツタノデアリマス、是モ已ムヲ得ナイデセウ、併シ更ニ又此ノ一時間ガ三十分ニ制限サレハシナイカ

ト云フコトヲ心配致スノデアリマス、委員長ハ成ベク重複スルモノニ付テハ御注意ヲナサツテ、サウシテ質問ヲ御整理ナサツタ方ガ宜イト思フ、サウデナイト後ニ殘ツテ居ル分ハ非常ニ困ルヤウナ立場ニナルト思ヒマス、デアリマスカラ、其ノ點ヲ十分考慮シテ貫ヒタイ、同時ニ又制限サレルノハ非常ニ結構デアリマスガ、質問ノ半バニ於テ蜻蛉ノ尾ヲ切ツタヤウニ制限サレテシマフト、全ク質問者ノ趣意ト云フモノハ徹底シナクナツテ、無價値ナ質問ニナツテシマフ、此ノコトモ一ツ委員長ニ於テ特ニ考慮シテ戴キタイト思ヒマス

○川崎委員長 承知致シマシタ、此ノ委員會ヲ最初ニ開イタ時モ其ノ問題ガアリマシテ、實ハ大臣ノ出席ハ色々ナ問題ガ起ツテ出來ナイヤウナコトニナルノデヤナイカ、ソコデ成ベク政府委員デ濟セテ戴イテ、サウシテ大臣ノ來ラレタ時ニハ成タケ關聯質問ヲ許スト云フヤウナ御註文モアツテ、其ノ爲ニ時間モ制限セズニ進ンデ參ツタノデアリマス、時間ヲ制限セズニ進ンデ參ツタト云フコトハ、モウ今日アルコトハ分ル譯デアリマシテ、後ニ殘ル方ニハ洵ニ御氣ノ毒デアリマスガ、只今服部君ノ御發議ノヤウニ、委員長ハ重複スル質問ニ對シテハ失禮デ

スケレドモ御注意申上ゲルト云フコトハ二回モ宣告シテ居ルノデアリマスガ、併シ倍テ愈トナルト隨分重複シタ質問ガアリマス、所ガ其ノ重複シタ質問モ注意ヲスルト演説ノ腰ヲ折ルト云フコトニナルノデ、餘程遠慮シテ居ルノデスガ、已ムヲ得ナイ時ハ申上ゲルヤウニシテ居ルノデアリマス、只今ノ御注意モアリマスカラ、是カラ御遠慮ナク申上ゲルカモ知レマセヌ、次ニ肝腎ナ質問ノ腰ヲ折ラレルコトハ困ルト云フコトハ御尤デアリマシテ、アナタノオ出デニナラヌ時ニ宣告致シマシタ中ニモ、今マデ御質疑ニナラヌモノデ、是ハ大切ダト思フモノハ一時間ヲ超エマシテモ御許シ申上ゲタイト云フコトヲ申シタノデアリマス、ソコデ御願申上ゲルコトハ質問者ニ於テモ成タケ質問ノ要點ヲ言ツテ戴キタイトコト、政府委員ノ方ニモ成ベク簡單明瞭ニ御答ヲ願ヒタイトコトト、兩方デヤツテ行クヨリ仕方ガアルマイト思ヒマスカラ、其ノ事ヲ御承知願ヒマス

○藤本委員 内務大臣ガ非常ニ御急ギノヤウデアリマスカラ、此ノ際獨自ノ質問ダケヲ許シテ戴キタイト思ヒマス、内務大臣ニ質問致シマス、戰時殊ニ長期戰下ニ於キマシテハ、戰費ハ主トシテ公債ニ依存スベシ

ト言ヒマシテモ、其ノ補完ト致シマシテ増税ニ俟タケレバイカスト思フノデアリマス、其ノ結果或ハ物價ノ騰貴、隨テ國民ノ生活ヲ壓迫致スコトニナリマス、更ニ戰時ニ於キマシテハ、殊ニ國家ハ壓倒的絕對的消費者ニナルノデアリマシテ、殊ニ其ノ物資ヲ最モ急速ニ最モ巨額ナ程度ニ於テ獲得致サナケレバナラヌ關係上、其ノ生産ヲ多クハ大企業者、大經營者ニ委託スルコトニナリマス、又今ノ我國ノ情勢ト致シマシテ、生産力ハ主トシテ都會ニ偏在致シテ居リマス關係上、國家ノ利益ハ多ク都會ニ落チル、斯ウ云フヤウナ關係カラ致シマシテ、茲ニ戰時體制下ニ於キマシテ不可避的ナ跛行的富ノ偏在ヲ來スノデアリマス、斯クシテ階級ノ對立、更ニ思想ノ惡化ト云フコトハ必至的ニナリマス、而モ増稅即チ消費稅或ハ物品稅等ノ課稅或ハ増稅ニ依リマシテ、益、此ノ對立ヲ激化スル、或ハ思想ノ惡化モ招來致スト云フコトニナルノデアリマス、戰時體制下ニ於キマシテ總親和、總努力ヲ特ニ必要ナル場合ニ於キマシテハ、階級ノ對立、即チ都會ト地方トノ對立、或ハ儲ケタ者ト儲ケヌ者トノ對立、或ハ治メル者ト治メラレル者トノ對立、或ハ持テル者ト持タナイ者トノ對立、或ハ犠牲ヲ受ケタ者ト受ケナ

イ者トノ對立、斯ウ云ツク對立ハ洵ニ禁物ト思フノデアリマシテ、隨テ長期戦下ニ於キマシテハ、特ニ斯ノ如キ對立、或ハ思想ノ動搖惡化ト云フコトヲ防止スル色々ナ政策、例ヘバ戰時經濟政策、或ハ戰時社會政策ヲ必要トスルノデアリマス、戰時經濟政策ハ御所管デアリマセヌガ、戰時社會政策ト致シマシテ、階級ノ對立、或ハ思想ノ動搖或ハ惡化ヲ防止スル爲ニ、今マデ色々御努力ヲ願ツテ居リマシテ、私ハ之ヲ多ト致シマスガ、尙ホ今後モ益々強化シテ戴キ、更ニ新タナ御方策ヲ長期戦下ニナレバナル程實行シテ戴キタイノデアリマス、ソコデ此ノ際内相ノ御抱負ヲ承リタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 只今御話ノ點ハ洵ニ御尤デアリマス、御話ヲ承ルマデモナク、政府トシテハ熱心ニ其ノ點ニ付テ考ヲ廻ラシテ居リマスシ、又只今ノ御話ノヤウナ跋行的ナ景氣ニ付キマシテハ可ナリ心配モ致シテ居ルノデアリマス、場合ニ依リマシテハ之ニ對シテハ總動員法ノ發動ト云フヤウナコトモ考ヘテ居リマス、又サウ云フコトヲ致シマセヌデモ、精神總動員ノ方面カラ致シマシテ、出來ルダケ貯蓄ヲ獎勵スル、或ハ又此ノ非常時下ニ於キマスル心構ニ付テ相當ノ精神運動ヲ致シマス云フヤウナコト

ニ付テハ、出來ルダケ速ニ徹底シテヤラウト云フ風ニ考ヘマシテ、只今精神總動員ノ中央聯盟等ニ對スル改組等モヤツテ居ルヤウナ次第デアリマス、御心配ノ點ハ洵ニ御尤デアリマシテ、政府モ同様ナ心配ヲ致シマシテ、只今折角其ノ方面ニ努力シテ居ル次第デアリマス

○藤本委員 御答辯ヲ戴キマシタガ、階級ノ對立ヲ緩和致シ、或ハ思想ノ動搖惡化ヲ防止致シマスコトニ付キマシテ、最モ關係ノアルノハ私ハ中等階級ダト思ヒマス、中等階級ガ健全デアルカドウカト云フコトハ、一國ノ盛衰興亡ニ重大ナ關係ヲ持チマスガ、私ハ古クハ羅馬ノ滅亡、或ハ近クハ露西亞ノ革命、或ハ千九百十八年ノ獨逸ノ革命ヲ想起致シマシテ、益々中等階級ノ擁護或ハ健全化ト云フコトガ、長期戦下ニ於テ大切デアラウト思フノデアリマス、我國ノ中等階級ノ現狀、或ハ社會情勢ト云フモノヲ洞察致シマスレバ、洵ニ憂慮ニ價スルモノガアルト思フノデアリマス、彼等ハ國民トシマシテハ滅私奉公、或ハ階級トシマシテハ其ノ重大使命ニ鑑ミマシテ隱忍シ、大イニ自肅自戒致シマシテ、此ノ國家ノ聖戰目的達成ニ協力致シテ居リマスケレドモ、其ノ生活狀態ハ、彼等ノ俸給トカ或ハ賃銀トカ或

ハ收入ノ増加ニ先行致シテ物價ガ騰貴致シテ居リマスノデ、他ノ階級ト較ベマスレバ、生活上ノ重壓ヲ非常ニ受ケテ居ルノデアリマス、併シ今申シマシタヤウニ階級トシテノ或ハ社會的ノ體面トシテノ立場ガアリマスカラ、生活ノ困窮ヲ愴ヘナイ、或ハ生活ノ不平モ言ハナイ、唯默々トシテ滅私奉公ヲ致シテ居リマスガ、併シ是ガ長期ニナリマスレバ又今後消費稅トカ或ハ物品稅トカ、或ハ「セールスタックス」等ノ課稅ガ今後重要ナ稅源トシテ考ヘラレマスレバ、其ノ重壓ヲ受ケルノハ、又最モ之ヲ感ズルノハ、中等階級デアルト思フノデアリマス、隨テ此ノ中等階級ヲ社會政策的ニ大イニ擁護シ、サウシテ彼等ノ有ツテ居リマス所ノ使命ニ對シテ邁進セシメルト云フコトハ、長期戦下ニ於テ特ニ必要ダト思フノデアリマス、具體的ニナリマシタガ、中等階級ニ對スル内相ノ御抱負御經綸ヲ承リタイノデアリマス

○木戸國務大臣 只今ノ御話ハ御尤デアリマシテ、私共モ中産階級ト云フモノガ健全ダナクテハ國ノ興隆ト云フモノニ非常ニ惡イ影響ガアルト云フコトニ付テ常ニ心配シテ居ル者デアリマス、只今御話ノ中産階級ニ對スル社會政策ト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、厚生省ニ於テ相當ノ研究ヲ致シテ

居リマス、一面ニ於キマシテ又物價對策ト云フヤウナコトニ付テモ非常ニ力ヲ入レテ物價ノ騰貴、惡性「インフレ」等ノ起ラスヤウニ努メテ居ル譯デアリマスルガ、同時ニ又社會政策的ナ見地カラ致シマシテ、住宅ノ問題デアルトカ或ハ社會事業的ノ方面ノ助成デアルトカ、サウ云フ方面ニモ相當ノ力ヲ使ツテ厚生省アタリハ只今研究シテ居ルヤウナ次第デアリマス、政府ト致シマシテハ、ソレ等ニ付テ出來ルダケノ力ヲ盡シ萬全ヲ期シテ居ル次第デアリマス

○藤本委員 內務大臣ニ對スル私ノ質問ハ是デ打切リマス

○川崎委員長 內務大臣ヘノ關聯ノ御要求ハモウゴザイマセヌカ

○渡邊委員 私モ此ノ際少シ承リタイト思ヒマス、只今ノ御質問ニ直接關聯シテデアリマスガ、私ハ具體的ニ申述ベテ見タイト思ヒマス、國家ノ中層階級、是ガ種々ナル方面ニ最モ關係ガ多イコトハ申スマデモアリマセヌ、私ハ過日內務大臣ニ御尋シマシタガ、內務大臣ノ經濟警察ノ御心持、之ヲ尙ホ御尋ラシテ置キタイト思フノデス、即チ經濟警察ノ仕事ハ、法文ノ通りデハ取締ガ出來ナイ、例ヘバ一月十日ノ相場ニ組織物ノ相場ヲ決メルノダ、斯ウ云フヤウナ物價抑制策トシテ商

ハ收入ノ増加ニ先行致シテ物價ガ騰貴致シテ居リマスノデ、他ノ階級ト較ベマスレバ、生活上ノ重壓ヲ非常ニ受ケテ居ルノデアリマス、併シ今申シマシタヤウニ階級トシテノ或ハ社會的ノ體面トシテノ立場ガアリマスカラ、生活ノ困窮ヲ愴ヘナイ、或ハ生活ノ不平モ言ハナイ、唯默々トシテ滅私奉公ヲ致シテ居リマスガ、併シ是ガ長期ニナリマスレバ又今後消費稅トカ或ハ物品稅トカ、或ハ「セールスタックス」等ノ課稅ガ今後重要ナ稅源トシテ考ヘラレマスレバ、其ノ重壓ヲ受ケルノハ、又最モ之ヲ感ズルノハ、中等階級デアルト思フノデアリマス、隨テ此ノ中等階級ヲ社會政策的ニ大イニ擁護シ、サウシテ彼等ノ有ツテ居リマス所ノ使命ニ對シテ邁進セシメルト云フコトハ、長期戦下ニ於テ特ニ必要ダト思フノデアリマス、具體的ニナリマシタガ、中等階級ニ對スル内相ノ御抱負御經綸ヲ承リタイノデアリマス

○木戸國務大臣 只今ノ御話ハ御尤デアリマシテ、私共モ中産階級ト云フモノガ健全ダナクテハ國ノ興隆ト云フモノニ非常ニ惡イ影響ガアルト云フコトニ付テ常ニ心配シテ居ル者デアリマス、只今御話ノ中産階級ニ對スル社會政策ト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、厚生省ニ於テ相當ノ研究ヲ致シテ

工省ガ告示ヲ出サレタ、其ノ説明ヲ聽キマスル
ト、商工大臣ノ御意見モ、又商務局長ノ御
意見モ、一月十日ノ相場ト云フノハ、ソレ
ハ生絲ガ千圓以上ノ相場デ引合ツテ居ルト
思ツテ居ル、斯ウ云フ御解釋デアアルノデア
リマス、所ガ事實ニ於テ一月十日ノ生絲相
場ハ八百二十圓デアアル、ソコデ其ノ通りヲ
直譯致シマスルト、經濟警察ノ人ガ所謂八
百二十圓ノ日ヲ基礎トスレバ、ソレハ原價
採算ヲ取ツテ、商品ノ價格ト云フモノガソ
レニ準據シナケレバナラス、斯ウ云フヤウ
ニナルノデハナイカ、若シナルト致シマス、
解釋通りニ御取締ニナル時ニハ大變ナ問題
ガ起ルノデアリマス、尤モ此ノ問題ハ私ハ
サウ云フ産地ニハ實ハ關係ヲ持ツテ居リマ
セヌケレドモ、新聞紙上ヲ通ジテ見マシテ
モ、或ル産地ハ數日間休業ヲシタ、尙ホ今
後ニ於テモ相當御警告ニナツテ居ルト聞イ
テ居リマスガ、斯ウ云フヤウナ所謂法文ノ
儘デ分ラナイ、サウ云フモノヲ而モ經濟警
察ガ取締ルト云フコトハ、如何ナル御方針
ニ依ツテ御取締ニナルノデアアルカ、此ノ點
ヲ一應承ツテ置キタイト思フノデアリマス

トニナリマス、御尋ノ趣旨ハ要スルニ法
文ガ出來上リマシタ内容ニ立入ツテ經濟警
察ガ何か批判ヲスル餘地ガアルカノ如ク承
ツタノデアリマスガ、經濟警察ト致シマシ
テハ、先般モ御話致シマシタヤウニ、商工
省、農林省其ノ他サウ云フ方面ノ法規ヲ決
メマスル方面トハ内務省ト致シテモ緊密ナ
ル連絡ヲ取ツテ、法規ノ出來マスマデニモ
連絡ハアルノデアリマスルガ、一タビ出來
マシタ法規ニ付テハ、其ノ法文ヲ適用スル
ト云フコトガ使命デアリマス、其ノ間例ヘ
バ只今御話ノヤウニ一月十日ノ相場ガドウ
デアアル、斯ウデアアルト云フヤウナコトガア
ルカラ、ソコデ何等カ手心ヲスルトカ何ト
カ云フヤウナコトノ裁量ノ餘地ガ一面ニ於
テアル場合ハ結構デアアルカモ知レマセヌガ、
何分ニモ經濟警察ヲ扱ツテ居リマス者ハ、
御承知ノヤウニ左様ナ豫備知識ヲ十分ニ持
ツテ居ル者デアリマセヌ、隨ヒマシテ是等
ノ出來マスマデノ準備ニ付テハ十分ノ連絡
ヲ取リマスガ、出來マシタ法規ニ付キマシ
テハ、大體ニ於テ其ノ法規ヲ適用スルコト
ニナルト、斯ウ考ヘテ居リマス、尙ホ併シ
ナガラ唯無闇ニ強制的ニ之ヲ檢舉主義デヤ
ルノデナイコトハ、是ハ屢、申上ゲル通りデ
アリマシテ、殊ニ今後ハ地元警察々々デ官

民ノ協議會等ヲ成ベク開キマシテ、其ノ法
規ノ趣旨ヲ當業者ニ能ク理解サセマスト共
ニ、又之ヲ適用致シマス警察官ニ付キマシ
テモ、屢、會議ヲ開キ或ハ講習等ヲ開キマシ
テ、其ノ法文ノ趣旨ヲ能ク理解サセ、ソコ
ニ必要ナル相剋摩擦ノナイヤウニ致スコ
トニ致シテ居リマス

○渡邊委員 モウ一應簡單ニ承リタイガ、
法文ノ通り御取締ニナルノデセウカ

○木戸國務大臣 法文ヲ實行致シマスニ付
テハ、法文ニ依ツテ取締ツテ行ク積リデゴ
ザイマス

○渡邊委員 然ラバ御尋致シマスガ、商工
大臣ノ御方針トハ違フデスカ、例ヘバ此ノ
頃中此ノ委員會デ商工大臣ガ御答ニナツタ
御答辯等カラ行キマス、一月十日ノ相場デ
決メテモ、生絲ハ一月十日ハ八百何十圓
デアアルケレドモ、今ノ相場ハ千圓以上デ
アル、千圓以上ノ相場ニ從ツテ換算シテ、
ソコニ無理ガナイト思ツテ居ルト云フヤウ
ナ意味ノ御答辯ガアツタ、所ガ此ノ法文ヲ
見マスルト、私ハ物品販賣價格取締規則ニ
準據スルノデアリマス、其ノ法文通りカラ
言ヒマスレバ「商工大臣ノ指定スル物品ヲ販
賣スル者ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ
其ノ指定ノ際商工大臣ノ指定スル年月日ニ

於ケル販賣價格ヲ、商工大臣又ハ地方長官
ガ販賣價格ヲ指定シタルトキハ其ノ販賣價
格ヲ超ユル對價ヲ以テ當該物品ヲ販賣スル
コトヲ得ズ」所謂其ノ指定シタ價格ヲ超エテ
賣ツテハ相成ラス、斯ウ云フコトニ第一條
ニ於テナツテ居ル、之ニ依ツテ指定サレテ
居ル、サウスルト御取締ニナル内務大臣ト
發令シタ商工大臣トノ御意思ノ相違ガアル
ノデアリマス、斯ウ云フコトガ一ツ、若シ
又内務大臣ノ御言葉ノ通りデアルトスルナ
ラバ、當時ハ生絲ガ八百二十圓デアアル、サ
ウスルト生絲ハ一月十日ニ八百二十圓ナラ
バ、其ノ時ノ價格ニ正當ナル「マージン」ヲ
加ヘタルモノガ適正ナ値段デアアル、ソレ以
上ニ賣ル者ハフン縛ルノダ——フン縛ルカ
ドウカハ別問題デアリマス、兎ニ角ソレハ
イカヌノデアアル、違反者デアアル、斯ウ云フ
ヤウニ若シサレルナラバ、是ハ日本中ノ絹
織物業者、ソレニ關係ノ商業者全部犯罪人
トナルト私ハ思フノデス、モウ一應此ノ點
ヲ明ニ御答辯ヲ願ヒマス

○木戸國務大臣 私ハ只今御尋ノ點ハ、經
濟警察ト云フモノガドウ云フ方針デヤツテ
居ルカト云フコトニ付テノ御答辯ヲ申上ゲ
タノデアリマス、此ノ生絲ノ値段ニ付テド
ウ云フ命令ヲ經濟警察ガ受ケテ居ルカト云

フコトニ付テハ、私具體的ナ材料ヲ持ツテ
居リマセヌ、隨ヒマシテ只今御讀ミニナリ
マシタヤウナ點カラ言ヒマス、商工大臣
トノ間ニ答辯ノ食違ヒガアルヤウニ見エマ
スノデスガ、唯要スルニ經濟警察ハ只今御
述ベニナリマシタヤウナ商工大臣ガ御述ベ
ニナリマシタ點ヲ常ニ頭ニ入レテ之ヲ執行
スルト云フコトニナリマス、ソレハ却テ
非常ニ混淆ヲ來ス、隨ヒマシテ出先ノ第一
線ニ働イテ居リマス經濟警察ノ執行者ニ付
テハ、飽マデモ總テノ方針ヲ纏メマシテソ
レヲ指令シテ居ル、サウ云フ方針ヲ申上ゲ
タノデアリマス、只今ノ點ニ付テハ篤ト調
ベマシタ上デ御答シタイト思ヒマス

○渡邊委員 ソコデ私ハ大體ノ方針ニ付テ
非常ニ困ツタ問題ガアルト思フノデス、ア
ナタノ内務大臣トシテ經濟警察ニ對スル御
答ハサウ云フ風デアアルベキ筈ダト思フ、サ
ウスルト今度ハ事實ハ非常ナ破産者ヲ出シ
犠牲者ヲ出シ、ソコニ又我國ノ重要ナル輸
出産業デアアル生絲ノ輸出ニモ支障ヲ來シテ
來ル、ノミナラズ農村ノ今後蠶ヲ飼フ芽生
ヘテ居ル此ノ心持ガ茲ニ先ヲ摘マレル、サ
ウスレバ農村問題ニ對シテモ重大ナ問題ニ
ナル、デスカラ私ノ言ヒマスコトハ、法文
ノ通り御解釋ニナルノダト云フコトハ一應

御尤デス、併シナガラ此ノ物價抑制策ニ付
テ、私ハ開戦前ノ物價ニ抑制スルコトヲ何
トカ御考ヘ願ヒタイト云フコトニ付テハ、是
ハ私ハ同感デス、併シナガラソコニ、三月ニ
ナツテカラ一月十日ノ値ヲ超エテ賣ツテハ
イカヌ、斯ウ言ヘバ必ズ犠牲者ガ出來ル、
而モソレガ今千圓ノ絲ガ一月十日ニハ八百
圓相場デアツテ、二百圓以上ノ差ガアルニ
於テハ當然犠牲者ガ出來ルト言ハナケレバ
ナラナイ、斯ウ云フコトニ付テドシテ御取
締リニナルカ、是ハ私、アナタノ御言葉カ
ラ行キマスレバ、經濟警察ノコトハ防犯ニ
カヲ入レタイ、斯ウ云フコトノ御言葉ノヤ
ウニ承ツテ居リマシタガ、防犯ニカヲ入
レヨウニモ入レルコトガ出來ナイヂヤナイ
カ、デアリマスカラ經濟警察ノ御取締ニ付
テハ今一應御意見ヲ承ツテ置キタイト思フ
ノデス

○木戸國務大臣 只今ノ御話ヲ承リマス、
ソレハ法令ガ出來マス其ノ法令ノ妥當ナル
ヤ否ヤト云フコトグラウト思フノデアリマ
ス、經濟警察ト云フモノハ其ノ法令ノ執行ノ
第一線ニ當ツテ居ル譯ナノデアリマス、隨ヒ
マシテ假ニ其ノ法令ニ社會ガ色々ノ批判ガ
アリマシテモ、政府ガ其ノ方針ヲ持シテ居
ル間ハソレヲ實行スル外ナイト云フコトガ

私ノ申上ゲタ趣旨デアリマス、其ノ第一線
ニ居リマスル所謂巡查デアリマス、カ警察
官ガ、各、批判的ナ立場デ之ヲ動かスト云
フコトニナリマシテハ、ソレハ到底規律ヲ
保ツコトハ出來ヌノデアリマス、又ソレダ
ケノ能力ハ恐ラク持ツテ居ル者ハ殆ドナイ
ダラウト思フノデアリマス、ソレデ今御話
ノ點ハ、恐ラク只今ノヤウナ生絲ノ値段ヲ
決メマス方法ガ非常ニイケナイノデハナイ
カ、隨ヒマシテソレヲ強行シテハ非常ナ破
産者ガ出來、輸出ニ支障ヲ來スコトニナル
カラ——サウ云フ話ダツタト思ヒマスガ、
然ラバサウ云フ危險ガアルト政府ガ認定致
シマスレバ、是ハ法規ヲ變ヘロト云フコト
ニナルト思ヒマス、今日はデ適正デアルト
云フ以上ハ經濟警察トシテハ其ノ法規ヲ傳
ヘラレマスレバ、ソレヲ實行スル、而シテ
ソレガ實行ニ當リマシテハ、先程御話致シ
マシタヤウニ、直チニ檢舉主義デ行クノデ
ナクテ、出來ルダケ官民協力シテヤル氣持
ヲ現ハシテ行キタイ、斯ウ云フコトヲ申上
ゲタノデアリマス

○渡邊委員 ソコデ前ノ御質問者ト同ジヤ
ウナコトニナルノデス、如何ニ官民協力シ
テヤルト仰シヤツタ所ガ、無理ノアルモノ
ガドウシテ協力ガ出來マスカ、前ニ質問サ

レタ委員ハ中等層ダト申サレマシタガ、私
ハ中小工業者ハ中等層ダト思フ、斯ウ云フ
者ニ對シテ抜打的ニヤツテ、ソシテ法文ノ
儘ニ解釋スルノダト云フコトハ——此ノ中
ニハ指定サレタ物品ガ六十三項目アルト思
ヒマスガ、皆或ル品種ヲ以テ決メテ居ラレ
ル、一體政府トシテサウ云フヤウナコトヲ
シテ宜イノカ惡イノカ、是ハ本當ニ社會問
題デアルト私ハ思フ、昨日モ商工省ノ御意
見ヲ聽キマシタガ、幸ヒニ後ロニ新倉商務
局長ガ見エマスカラ、私ノ言フコトガ違ツ
テ居ラスト思ヒマスガ、商工省ノ此ノ發令
シタ方針ハ、一月十日ノ實需ニ依ツタ値上
リガ千圓位ニナツテ居ルト思ツテ居ル、デ
アルカラ所謂絹物ト生絲ノ相場トハ原料ト
製品ノ値段ガ離レテ居ツタ、サウ云フ風ニ
商工省ハ眺メテ居ツタ、ダカラ言葉ヲ換ヘ
テ逆算スルナラバ、生絲ハ八百二十圓デハ
一月ノ相場デハナイ、相當高イモノデア
ルコトノ見透シガ付イタ、デアルカラ茲ニ一
月十日トシタノデアルト云フコトヲ昨日新
倉商務局長ハ民政黨ノ政務調査會ニ於テ御
説明ニナツテ居ル、幸ヒ此處ニ御見エニナ
ツテ居リマスカラ、私ノ言フコトガ違ツテ
居ルナラバ御正シヲ願ヒタイ、内務大臣ノ
警察取締ニ付テノ御説ハ御尤デアリマスガ、

ガドウシテ協力ガ出來マスカ、前ニ質問サ

政府トシテ國家トシテ、而モ物價政策ト致シマシテ恐ラク「マージン」ト云フモノガナケレバイカヌデセウ、國民ノ生命線デアアル、生キテ行ケルダケノモノハナケレバイケナイ筈デアリマス、法ガ出來タカラ抑ヘルノダト云フコトハ政府トシテ能ク御考ニナラナケレバイカヌト思ヒマス、デアリマスカラ今ノ御方針ガ果シテ變ラヌトスレバ、アタノ言ハレマス商工省ト相談シテヤルノダト云フ先ノ御言葉ニ安心スルコトガ出來ナクナツテ來ル、一應アタカラノ御答辯ト、幸ヒ委員長ノ御許シヲ得ルナラバ新倉商務局長カラ私ノ言ツタコトニ間違ヒガアルカドウカト云フ點ヲ御答辯願ヒタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 度々申上ゲタノデアリマシテ、今日色々出テ居リマス法規ガ中産階級ヲ減ボスヤ否ヤト云フヤウナ問題ハ是ハ別デアリマスガ、生絲ノ問題ニ付キマシテモ、是ガ妥當デナイト云フコトノ基礎ガハツキリ致シマシテ、政府ニ於テ方針ヲ變ヘルナラバ、是ハ別デコザイマス、併シナガラ今日商工省ナリ農林省ナリ總テノ専門ノ方面ニ於テ之ヲ決定致シマシテ、法令ヲ出シマスレバ、其ノ法律ニ依リマシテ經濟警察ハ動クノデアリマス、其ノ場合ニ世間

ノ批評ガ斯ウダ、或ハ少シ行過ギテ居ルカ云フヤウナ考慮ヲ此ノ經濟警察自體ハ容レル餘地ハナイノデアリマス、ソコヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、ソレカラ政府トシテハサウ云フ點ニ付テハ屢、問題ガアリマシタ、先日來新聞等ニモ出テ居リマスノデ、是ハ十分商工當局ナリ、農林當局ニ於テ研究サレテ居ルコトト存ジマス、私共ハ所管外デアリマスシ、今日はガ妥當ナリヤ否ヤト云フコトニ付テハ差控ヘタイト思ヒマスト云フ先ノ御言葉ニ安心スルコトガ出來ナクナツテ來ル、一應アタカラノ御答辯ト、幸ヒ委員長ノ御許シヲ得ルナラバ新倉商務局長カラ私ノ言ツタコトニ間違ヒガアルカドウカト云フ點ヲ御答辯願ヒタイト思ヒマス

○新倉政府委員 簡單ニ御答致シマス、渡邊サンノ仰シヤイマシタヤウニ、二月十日ノ絹織物ノ價格ト其ノ原料デアリマスル生絲ノ價格ト云フモノハ相當開キガゴザイマス、隨ヒマシテ絹織物ノ價格ヲ一月十日ニ抑ヘマシタコトニ依ツテ或ル程度ノ犠牲ハアルト思ヒマス、併シナガラソレハ中小工業者ヲ破滅ニ導クト云フコトハナイモノダト信ジテ居リマスシ、現ニ業者ニ於キマシテモ、此ノ決定ニ協力スルト云フ意思表示モ致シテ居リマス、唯一月十日ノ價格ヲ速ニ公定價格ニシテ欲シイト云フ御希望ハゴザイマス、是ハ洵ニ御尤ナ御希望デアリマスノデ、御承知ノヤウニ既ニ昨日是ガ専門委員ヲ任命致シマシテ、明日カラ専門委員ニ於キマシテ公定價格ノ作成ニ掛リマシテ、

不日此ノ公定價格ガ出來ルノデアリマス、サウシマス此ノ問題ノ判定モ極メテ速ニ得ラレルト思ヒマス、目下其ノ方針デ進ンデ居リマス

○渡邊委員 私ココノ解釋ヲモウ少シ大臣ニ伺ツテ置キタイ、新倉局長サンハ逆算スルト生絲ノ相場ハ千圓ニナルノダ、ソコデ内務大臣ハ一月十日ハ一月十日ダ、其ノ時ノ相場ト云フモノハ例ヘバ——言葉ハナイケレドモ、言外ニ横濱ノ相場モアル、仕樣ガナイト云フノナラバ、意見ト云フカ話ノ相違ガアルノデアリマス

○川崎委員長 一寸委員長ハ兩方ヲ聽イテ居リマシテ、渡邊サンノ御質問ニ對シテ内務大臣ハサウ云フ風ニハ取ツテ居ラレヌヤウニ私ハ思フノデアリマス、昨日此ノ委員會デ發表シマシタ覺書ハ、渡邊サンハ其ノ時オ居デニナラナカツタノデスケレドモ、昭和十四年一月十日ノ物品指定ニ依ル價格取締ハ絕對ニ尊重スルコト、是ハ實情ミ買占ヲ爲シ物價ノ奔騰シテ行クノヲ抑ヘル、「ストック」サセル其ノ力ダケヲ停止スル、奔騰ヲ停止スルト云フコトニ對シテ一月十日ノ物價取締ノ方針ヲ明示シタノデアルト商工大臣ハ言ツテ居ルノデアリマス、只今御質問ニナツテ居リマス價格ノ問題ハ、新倉局長モ今言ハレタヤウニ、物價委員ガ出來テ、至急専門委員會ヲ設置シ、實情ヲ考慮シテ公定價格ヲ定ム、公定價格ガ決マツタナラバ、ソコデ公定價格ヲ守ルカ守ラヌカト云フコトニ對スル取締方針ハ、經濟警察ガソレカラヤル、其ノ公定價格ガ決マツテ、ソレニ依ツテ守ラシテ行ク方ノ取締ハ經濟警察デヤルノダト云フコトヲ、今内務大臣ガ答辯セラレタト思フノデス、マダ公定價格ハ決マツテ居ナイノデス

○渡邊委員 委員長、ソレハ違ヒマスヨ

○川崎委員長 サウ云フ風ニ私ハ答辯ヲ諒解シタノデス

○渡邊委員 私ハ昨日政務調査會デ新倉局長サンニ承ツタノデス、デアリマスカラ逆算スレバ千圓ノ相場ニナルト申サレル、サウスルト商工省ノ意見ト内務大臣ノ御意見ガ違フ、アナタノ御意見モ御尤ト思フガ、ソレガ御尤デハ困ル、御尤デナクテヤツテ戴カナナケバナラヌ、アナタハ法文通り行ケバ八百二十圓ダト仰シヤツテ居ル、新倉サンハ生絲ハ千圓ダト、斯ウ言フノデアリマス、ソコデ將來斯ウ云フ問題ガ出來マシタナラバ、アナタノ方ハ假令ドウアツテモ、物品販賣取締規則ノ第一條ノ規定ニ依リ、商工省令ノ告示二百八號ニ依ツテ、其ノ通

リ扱フノダト言フ、ソコニアナタノ御言葉ト商工省ノ御言葉トニ相違ガアル、今委員長カラ御言葉ガアリマシタケレドモ、告示ハ物品販賣取締規則デアルノデアルカラ、告示ヲシタ以上、適正價格ノ出來ルマデハ是デ取縮ルノガ當然デ、ソレガ此ノ法ノ趣旨ダト言ハレル、ソコデ困ル、此ノ點ヲ承リタイト思ヒマス

○木戸國務大臣 只今ノ點ニ付キマシテハ、要スルニ商工省ガ發令致シタモノヲ經濟警察ガ實行スル、是ハ先程カラ申上ゲタ通りデアル、其ノ内容ニ付テ偶、商務局長ガ政務調査會ニ於テ述ベラレタコトト、告示トノ基礎ガ違ツテ居ルデハナイカト云フ御話デアリマスガ、其ノ點ニ付テハ商務局長カラ御答辯致シマス

○新倉政府委員 私ノ伺ヒマシタ所デハ、渡邊サンハ原料タル生絲ノ値段ヲ一月十日ニ抑ヘテ居ルト云フ前提デ御話ヲナサツテ居ルヤウニ了承致シマシタ、其ノ點ハ全然ナイノデゴザイマス、一月十日ニ決メマシタノハ製品ノ價格ダケデゴザイマス、隨ヒマシテ其ノ當時生絲ガ幾ラデアツタカト云フコトハ、製品ノ取締ニハ何等關係ノナイコトデゴザイマス、唯恐ラク渡邊サンノ問ウテ居ラレルノハ、一月十日ノ絹製品ノ

値段ハ、其ノ原料デアアル生絲ノ値段トドウ云フ關係ニアツタカト云フコトダラウト思ヒマスガ、此ノ關係ニ付テハ見方ガ二ツゴザイマス、一ツハ渡邊サンノ仰シヤルヤウニ、一月十日ノ生絲ノ相場デアアル八百何十圓ト、一月十日ノ絹織物ノ價格ト云フモノハ、全ク權衡ヲ得タ價格デアアル、隨テ逆ニ言ヘバ、一月十日ノ絹織物ノ價格ヲ抑ヘレバ、生絲ハ八百何十圓ニナルト云フ前提ガ一ツデゴザイマス、モウ一ツノ考ヘ方トシテハ、原料ノ生絲ト製品ノ價格ト云フモノハ、普通ノ場合ニハ大體權衡ガ取レテ居ルガ、アノ當時ノヤウニ織物ニ對スル思惑ガアル場合ニハ、生絲ノ値段ト製品ノ値段トハ非常ニ開キガ出テ來マス、隨テ其ノ當時ノ製品ノ値段ヲ抑ヘタカラ、直チニ其ノ原料デアアル生絲ガ八百何十圓ニナルト云フコトハナイダラウト思ヒマス、斯ウ云フヤウニ申上ゲテ居ツタノデアリマス、其ノ點ガ多少混同ガアツタノデハナイカト思ヒマス、隨ヒマシテ取締ノ關係カラ言ヒマスレバ、生絲ガ幾ラデアツタカト云フコトニ付テハ、直接餘リ關係ガナイノデアリマス、一月十日ノ絹製品ノ値段ハ相當思惑デ上ツテ居タカラ、ソレノ原料ヲ計算シテ見テ、一月十日ノ生絲ノ八百何十圓ト云フモノヨリモ、モ

ツト高イ所ニアツテモ差支ナイダラウト思フノデアリマス

○渡邊委員 ドウモ困ツタデスネ

○川崎委員長 一寸御待チ下サイ、私一寸發言シマス、昨日アナタハオ居デニナラナカツタデスケレドモ、此ノ問題ハ兩黨ノ幹事長ニ委セテ、兩黨ノ幹事長カラ商工大臣ニ話ヲサレタ、サウ云フコトデ高橋君ガ發言ヲ止メラレテ、承諾セラレテアツタノデアリマス、サウシテ委員會ノ意見トシテ、私ニ對シ商工大臣ニ交渉セヨト云フコトデアツタ、ソレデ私ガ交渉シテ御報告ラシテ、此ノ委員會デハ此ノ問題ハ一旦濟ンデ居ル、アナタノ御質問ニナリマシタ要點ハ、經濟警察ニ關スル點ヲ御問ヒニナツテ居ツテ、此ノ問題ソレ自體デハナイト思ツテ居ツタ、所ガ此ノ問題ニ又觸レテ來ラレルト、ソレハ昨日ノ御約束ト違ヒマシ、此ノ價格問題ニ付テ商工省ト論議ヲ重ネラレテハ、迎モ議事ノ進行ハ出來ナイト思ヒマス、只今ノ經濟警察ニ付テノアナタノ御質問ニ對シテハ、内務大臣ハ先程カラ十分答ヘラレテ居リマスカラ、其ノ點ハ必要ナイト思ヒマス、渡邊サンノ御質問ニ對シテハ、内務大臣カラ御答辯ガアツタモノト私ハ承知致シマスカラ、アナタノ内務大臣ヘノ御質疑

ハ、其ノ點ダケナラバ終ツテ居ルト私ハ思ヒマス

○渡邊委員 經濟警察ニ付テ、ドウ云フ程度ニ内務大臣ガ……

〔ソレハ明瞭ダ〕ト呼フ者アリ

○川崎委員長 他ノ委員ノ方ハモウ明瞭ダト仰シヤルノデスカラ、アナタガ速記録ヲ御覽ニナレバ御分リニナルト思ヒマスカラ——服部君御質問ヲ願ヘマスカ、五分位デ……

○服部委員 五分デハ一寸ムジカシイデス

○川崎委員長 午後ハ内務大臣ハ一寸都合ガ悪いサウデスガ、大藏大臣ニハ無理ニ御都合ヲ願フコトニ致シマスガ……

○服部委員 ソレデハ後ノ機會ニ致シマセウ

○川崎委員長 ソレデハ後ノ機會ニ願ヒマス、ソレデハ是デ休憩ヲ致シマシテ、午後一時半カラ開會致シマス

午後零時三十分休憩

午後一時四十分開議

○川崎委員長 ソレデハ開會致シマス

○高橋委員 昨日ヨリノ大藏大臣ニ對スル質疑ヲ繼續サシテ戴キタイト思ヒマス、遊興飲食稅ノコトニ付テ一事項ダケヲ此ノ場

合ニ伺ヒタイト思ヒマス、遊興税ハ兎モ角
地方税トシテモ徵稅上ハ色々困難ナコトガ
アツテ、ソレデ當業者ニ委セテ納付セシム
ルヤウナ制度ヲ採ツテ居ツタラウト思フノ
デスガ、當業者ノ意嚮ナドヲ徵シテ見マシ
テモ、今回設ケラレタ寛大ナル規定ノ一ツ
トシテ、領收不能ノ場合ハ税金ヲ免除シテ
ヤル、斯ウ云フ規定ガアルノデアリマスガ、
是等ノ規定ハ、實際ニ當ツテ眞ニ領收不能
デアルカドウカト云フコトハ、中々ソレヲ
決定スルニ困難ダ、少シタチノ惡イ者ハ虛
偽ヲ申立テテ徵收ニ應ジナイト云フヤウナ
例モ生ジ易イノデアアル、斯ウ云フ場合ニ、
一々客ノ姓名、住所ヲ記シテ置キ之ヲ發表
スルト云フコトハ、業態ニ依ツテハ困難ダ、
又サウ云フコトハ法律命令ニモ規定シテ置
カナイ業態ニ於テハ、殆ド不可能ニモ近イ
ノデアルト云フヤウナコトカラ、色々困難
ナ事情等ヲ聽カサレテ居ルノデアリマス、
サウスルト地方税ニ於テ左様ナ規定ヲ設ケ
ズシテ、而シテ二割ナラニ割、三割ナラニ
割ト云フ、事情ニ應ジテ豫メ稅額カラ差引
イテ、其ノ殘額ヲ徵收スルト云フヤウナ取
扱ヲシタト云フコトハ、是等ノ事情ニ基ク
ノデハナイカ、ソレデ此ノ點ニ付テハ多少
觀點ハ異ナリマスケレドモ、既ニ他ノ同僚

カラ質問ヲ致シタコトデアリマスケレドモ、
私ハ斯ウ云フ緩和規定ヲ寧ロ削除シテ、二
割ナラニ割ト云フモノヲ天引シテ、サウシ
テ圓滿ニ納稅セシムルト云フ制度ヲ御採リ
ニナルノガ、徵稅上ノ手數モ省ケ、民間ト
ノ摩擦モ避ケラレ、邪ナ者ヲ民間同士デ組
合等ニ於テ匡正スルト云フヤウナ實ガ舉レ
バ、國民ノ思想ノ上カラ、納稅觀念ヲ全ウ
セシメル上カラ、非常ニ面白イ方法デハナ
イカト云フコトモ考ヘテ居リマス、官廳ニ
致セ、民間ニ致セ、此ノ人材拂底ノ時代ニ
斯ウ云フ方法ヲ採ルト云フコトモ、時宜ニ
適シタ方法デハナイカ、斯ウ云フコトヲ考
ヘテ居リマス、之ニ付テ一應大臣ノ御意見
ヲ拜聽シタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 高橋サンノ御意見ハ、實
際領收シタ料金ヲ徵收スル能ハザルニ至ツ
タカドウカト云フコトハ、其ノ實績ノ調査
ガ困難デハアルマイカ、寧ロ總額ノ八掛程
度ニシテ置イタ方ガ、實際問題トシテハ簡
便デハアルマイカ、斯ウ云フ御尋デアリマ
スガ、此ノ點ハ本案ヲ立案致スニ當リマシ
テ最モ考慮ヲ要シタ點デゴザイマシテ、結
局現金領收主義デ行クカ、ソレトモ現金ヲ
領收シナクトモ、領收スル權利ノ確定シタ
モノニ依ツテ徵收シテ行クカト云フコトノ

問題デアルト思フノデアリマスガ、各種各
様ナ業態ガアリマシテ、極メテ複雑デアリ
マスコトモ仰セノ通りデアリマスガ、缺損
ニ終ルカ終ラナイカト云フ問題、之ニ付キマ
シテハ、勿論稅務署ニ於キマシテ所得稅、營
業收益稅ノ算定ニ當リマシテモ、調ベテ居
ル點モアルノデアリマシテ、此ノ料理屋ハ
大體ニ於テ貸シ倒レノ相當アル家デアルカ、
又ハサウデナイヤウナ業態デアルカト云フ
コトハ、大體ニ於テ分ツテ居ルコトデアリ
マスノデ、本案實行上ニハ、御説ノ通り
多少ノ困難ハ伴フカト思フノデアリマスガ、
却テ是デ行キマシタ方ガ、營業者ノ爲ニモ
利益デアラウ、斯ウ考ヘマシテ、斯ウ云フ
ヤウナ立案ヲ致シタ次第デゴザイマス

○高橋委員 只今ノハ御見込ノ相違デアリ
マシテ、私共ハサウ考ヘナイノデアリマス
ケレドモ、是ハ曩ニモ他ノ同僚カラ繰返サ
レテ居ル問題デアリマスカラ此ノ程度デ止
メマス

同僚ヨリモ此ノ點ニ觸レラレタヤウデアリ
マシタガ、兎モ角前例ガアルカト云フヤ
ウナ御答辯デアツタヤウデアリマスガ、前
例ガアルカラ少シ位無理ガアツテモ差支ガ
ナイト云フヤウニ聞エルノデアリマス、併
ナガラ邇及シテ税金ヲ取ル、殊ニ現金ヲ以
テ一年前ニ賣買シテシマツテ、之ニ課
稅サレルト云フヤウナコトヲ全然豫想セズ
シテ、ソレノ處分シテシマツタ、其ノ後
ニ税金、而モ二割五分マデハ納稅シナケレ
バナラスト云フ苛酷性ガアル重稅ヲ課セラ
レルト云フコトハ、何トシテモ無理ナ税金
デアルト云フヤウナ感じガ強イノデアリマ
ス、兎モ角租稅ト致シテ邇及スルト云フコ
トハ外ノ税金ニモアリマス、併シナガラ其
ノ對象トスル收入ガ繰返シテ行ハレル、繰
返シテ收入ガアルノダト云フヤウナ場合、
眞ニ擔稅力ガアル、擔稅力ノアルト云フコ
トノ確實ナ場合トカ云フヤウナコトデナイ
ト、課稅スベキモノデヤナイ、斯ウ云フヤ
ウニ私ハ考ヘルノデアリマス、法律ヲ作ル
場合ニ、前例ダケヲ頼リニ致シテ、其ノ性
質ノ善惡ハ別問題ト致シマシテ進ムコトニ
ナレバ、理窟モ何モナクナツテシマフノデ
アリマスケレドモ、私共ハ此ノ鑛山ノ如キ
モノデ、殊ニ自己ノ鑛業權ヲ賣却シナケレ

鑛業權ノ讓渡利得ニ對スル利得稅ノ問題
デアリマスガ、此ノ稅ニ付テハ色々疑義
ガアリマスシ、斯ウモシタナラバ宜イデハ
ナイカト云フヤウナコトモ考ヘラレマスガ、
要スルニ此ノ税金ハ十三年度ニ邇及サレル
ト云フコトニ無理ガアルデハナイカ、他ノ

同僚ヨリモ此ノ點ニ觸レラレタヤウデアリ
マシタガ、兎モ角前例ガアルカト云フヤ
ウナ御答辯デアツタヤウデアリマスガ、前
例ガアルカラ少シ位無理ガアツテモ差支ガ
ナイト云フヤウニ聞エルノデアリマス、併
ナガラ邇及シテ税金ヲ取ル、殊ニ現金ヲ以
テ一年前ニ賣買シテシマツテ、之ニ課
稅サレルト云フヤウナコトヲ全然豫想セズ
シテ、ソレノ處分シテシマツタ、其ノ後
ニ税金、而モ二割五分マデハ納稅シナケレ
バナラスト云フ苛酷性ガアル重稅ヲ課セラ
レルト云フコトハ、何トシテモ無理ナ税金
デアルト云フヤウナ感じガ強イノデアリマ
ス、兎モ角租稅ト致シテ邇及スルト云フコ
トハ外ノ税金ニモアリマス、併シナガラ其
ノ對象トスル收入ガ繰返シテ行ハレル、繰
返シテ收入ガアルノダト云フヤウナ場合、
眞ニ擔稅力ガアル、擔稅力ノアルト云フコ
トノ確實ナ場合トカ云フヤウナコトデナイ
ト、課稅スベキモノデヤナイ、斯ウ云フヤ
ウニ私ハ考ヘルノデアリマス、法律ヲ作ル
場合ニ、前例ダケヲ頼リニ致シテ、其ノ性
質ノ善惡ハ別問題ト致シマシテ進ムコトニ
ナレバ、理窟モ何モナクナツテシマフノデ
アリマスケレドモ、私共ハ此ノ鑛山ノ如キ
モノデ、殊ニ自己ノ鑛業權ヲ賣却シナケレ

同僚ヨリモ此ノ點ニ觸レラレタヤウデアリ
マシタガ、兎モ角前例ガアルカト云フヤ
ウナ御答辯デアツタヤウデアリマスガ、前
例ガアルカラ少シ位無理ガアツテモ差支ガ
ナイト云フヤウニ聞エルノデアリマス、併
ナガラ邇及シテ税金ヲ取ル、殊ニ現金ヲ以
テ一年前ニ賣買シテシマツテ、之ニ課
稅サレルト云フヤウナコトヲ全然豫想セズ
シテ、ソレノ處分シテシマツタ、其ノ後
ニ税金、而モ二割五分マデハ納稅シナケレ
バナラスト云フ苛酷性ガアル重稅ヲ課セラ
レルト云フコトハ、何トシテモ無理ナ税金
デアルト云フヤウナ感じガ強イノデアリマ
ス、兎モ角租稅ト致シテ邇及スルト云フコ
トハ外ノ税金ニモアリマス、併シナガラ其
ノ對象トスル收入ガ繰返シテ行ハレル、繰
返シテ收入ガアルノダト云フヤウナ場合、
眞ニ擔稅力ガアル、擔稅力ノアルト云フコ
トノ確實ナ場合トカ云フヤウナコトデナイ
ト、課稅スベキモノデヤナイ、斯ウ云フヤ
ウニ私ハ考ヘルノデアリマス、法律ヲ作ル
場合ニ、前例ダケヲ頼リニ致シテ、其ノ性
質ノ善惡ハ別問題ト致シマシテ進ムコトニ
ナレバ、理窟モ何モナクナツテシマフノデ
アリマスケレドモ、私共ハ此ノ鑛山ノ如キ
モノデ、殊ニ自己ノ鑛業權ヲ賣却シナケレ

バナラスト云フヤウナ立場ニ在ル者ハ、多クハ中小以下ノ弱小鑛業家ニ多イノデアリマス、併シ此ノ弱小鑛業家ト云ヒマシテモ、是ハ最モ大切ナノデ、今日ノ鑛山ノ大部分ハ弱小鑛業家ノ手ニ於テ發見サレ育テ上デラレタノデアリマス、大鑛業家ノ手ニ渡ル時分ニハ、既ニ小鑛業家ノ間デ、ソレト何人カノ手ヲ經マシテ、サウシテ漸ク誰ガ見テモ大丈夫ダト云フ折紙ガ附イタ所デ、初メテ大資本家ノ手ニ渡ルノデアリマスカラ、鑛業ノ發達ノ上カラ見マシテモ、弱小鑛業家ト云フモノハ、國家トシテ大切ニ之ヲ維持シ、又擁護ヲシナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、國家モ亦時局柄特ニ是等ノ人々ヲ篤ク取扱フ方法モ講ゼラレテ居ルヤウニ私共ハ見受ケルノデアリマス、然ルニ今回ノ稅法ノ改正ニ依リマシテ、新シク船舶ト共ニ設ケタル鑛業權ノ賣買利得ニ關スル課稅ト云フモノハ、ドウシテモ今マデ此ノ鑛業愛護ノ觀念ヲ裏切ルモノデヤナイカト考ヘルノデアリマス、利得ガアル、儲カルノダト御認メニナル、船舶ト鑛業ト云フモノハ始終比較シテ此ノ種ノ法令ニ規定ガアル爲ニ並バラレタモノデアルト思フノデアリマスガ、船舶ニハ船舶トシテノ議論モアリマス、併シナガラ鑛業權ノ賣買ト

船舶ノ賣買ト比較シテ見レバ、比較ニナラヌノデアリマス、其ノ形ガアリソレガ動クベキ性質ノ物ト違ツテ、形ハアリマシテモ、土ノ中ノ仕事ヲ致ス鑛業權自體ハ非常ニ危険ノ多イモノデアリマス、一部ノ人ハサウ云フ投機ノコトハ云々ト云ヒマスケレドモ、鑛山ソレ自身ガ投機ノ最高ノモノデアル、投機ト言ハズシテ山師ト云ツテ居ル、此ノ山師ト云フモノハ最モ危険ナノデアアル、斯ウ云フ危険ヲ冒シテヤツテ居ルノデアルカラ、既ニ不安定ナモノナノデアリマス、サウ云フヤウナ人々ガ現金ヲ一時手ニ入レマシテモ、多クノモノハ借財ガ山程アル、其ノ借財ノ整理ニ苦シデ、惜シイケレドモ手離サナケレバナラスト云フ場合ガ非常ニ多イ、ソレデナケレバ又別ノ山ヲ經營スル爲ニ、其ノ方ガ趣味ガアルトカ見込ガ多イトカ云フノデ、甲ノ鑛山ヲ買却スルノデアリマス、其ノ賣得ヲ以テ借金ヲ差引イテ、其ノ殘高ヲ以テ乙ノ鑛山ノ經營ニ當ル、斯ウ云フノガ多イノデアリマス、會社ヲ設立シテ、サウシテ鑛山ノ經營ヲ繼續スルト云フノハ、是ハ亦別ノ考ヘ方デアリマス、現金デ取引スルト云フモノハ斯ウ云フ類ノモノガ多イダラウト思フノデアリマス、極ク僅カノモノハ大會社ニ賣ツ

テ、直グ鑛山界カラ逃レテ、若干ノ現金ヲ懷ヘ入レテ餘生ヲ樂シムト云フモノガ偶ニハ何万人ニ一人ハアルダラウト思フノデアリマス、サウ云フモノヲ捉ヘテ比々皆然リト云フヤウナコトデ行クノハ非常ニ危険ダラウト私共ハ考ヘマス、ソレデ私共ハ斯ウ云フモノヲ無理ニ徵稅スルト云フコトナラバ、次ニ自分ガ比較的見込ガアルト思ツテ、先ノ甲ノ鑛山ノ賣得金ノ一部ヲ以テ乙ノ鑛山ヲ買收シテ經營ヲシテ居ルト云フヤウナモノハ、直チニ其ノ山ヲ又再ビ賣却スルナリ、或ハサウ云フコトハ急ニハ出來得ナイコトデアリマスルカラ、期日ヲ切ツタ納期ノ迫ツタモノニ對應シマスルニハ、致シ方ナク頭ヲ下ゲテ、競賣處分ニ遭ハナケレバナラス、サウスルト二束三文ニ叩カレル、斯ウ云フコトニナリ、直チニ破産ヲスルヤウナコトニナル、鑛山ヲ通ジテノ國家ノ大功勞者ヲ破産ニ瀕セシムルト云フヤウナコトハ、私ハ避クベキ惡政デハナイカト考ヘルノデアリマス、サウ云フヤウナコトヲ深く考ヘザセラレルノデスガ、此ノ種ノ課稅ニハ繰返シ行ハルル收入ノ場合、或ハ擔稅力ガ確實ニアルト云フ見込ノ付イタ場合ノ他ハ、遡及ヲスベキモノデヤナイト云フコトハ原則トシテ認メナケレバナラナイノデ

ヤナイカ、新ウ思ヒマス、之ニ對シテ大藏大臣ノ御所見、屢前例アリトシタ其ノ前例、又其ノ中ニハ大正七八年ノ戰時利得稅ノ場合ニ、船舶、鑛山ニ利得稅ヲ課シタト云フ例ガアルト云フコトヲ承ツタヤウニ記憶シテ居ルノデスガ、若シサウ云フモノガアリトシタナラバ、其ノ課率等ヲ御示シニ與リタイト思フノデアリマス、課率ノ問題ハ他ノ政府委員カラ御説明ヲ願ツテ宜シイノデアリマス

○石渡國務大臣 鑛業權ノ利得稅ニ付キマシテ遡及スル、詰リ當時ハ課稅ヲ受ケナイト思ツテ居ツタモノガ、今日ニナツテ前年ニ賣ツタモノニ對シテ課稅ヲ受ケルト云フコトハ如何ナモノデアラウカ、斯ウ云フ御説デゴザイマス、是ハ第三種所得稅ノヤウナ毎年繰返シテ生ズベキ性質ノモノト、此ノ利得ガアツタリナカッタリスルヤウナ行爲ニ課稅スルモノトハ別ナモノデハナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマスルガ、是ハ先ヅ大體ニ於テ高橋サンノ御考ノ通りデアルト思フノデアリマシテ、左様ナコトデ從來來テ居ルト思フノデアリマス、ガ此ノ鑛業權、船舶ノ賣買ニ對シテ特ニ課稅ヲ致シタト云フ事例ハ、是ハ此ノ前ノ戰時利得稅ヲ大正七年ヨリ行ヒマシタ際ニ於テ、船舶、鑛業權

ノ利得ト云フモノニ利得税ヲ課シタ、是ハ其ノ前年ノ實績ニ依ツテ課シタノデアリマシテ、私共其ノ當時稅務署ニ居ツタノデアリマスガ、船ヲ賣買シテ數十萬圓ノ儲ケヲシタト云フ人ガ來マシテ、自分ガ賣買シタ當時ニ於テハ課税ヲ受ケナイト云フコトヲ承知シテ居ツタノニ、今日課税ヲ受ケルノハ甚ダ以テ其ノ意ヲ得ヌト云フコトヲ申述ベラレタ覺エガアリマス、又其ノ規定カラ言ツテモサウ云フコトニナツテ居ツタト思フノデゴザイマス、是ハ普段ノ場合ニ於テハサウ云フヤウナモノヲ賣買致シマシテモソシナニ儲ケノアルコトハナイ、此ノ戰時事變ニ際シテ特別ニソレ等ノ環境カラシテ、サウ云フモノヲ賣ツタト云フコトニ依ツテ儲ケガ生ズル、所得税ノ賦課モ受ケナイ、斯ウ云フコトハ穩當ヲ缺クト云フコトヲ以テ、特別ノ儲ケデアアルカラ、其ノ儲ケノ一部ハ一箇年週ツテ之ヲ課税シテモ差支アルマイト云フコトデ、議會ニ提案サレ御協賛ヲ得タコトデアアルト私共考ヘテ居ツタノデゴザイマス、今回船舶、鑛業權ノ賣買利得ニ付キマシテモ、或ハ本法施行後ニ於ケル賣買カラ課税スルノガ適當デアアルマイカ、前年ニ週ルト云フコトガ適當デアアルカドウカト云フコトニ付キマシテハ相當考究致シタノ

デゴザイマスルガ、此ノ前大正七八年ノ當時ニ御協賛ヲ得マシタ考ヘ方ノ方ガ此ノ際トシテハ適當デアアルマイカト考ヘタモノデゴザイマスルカラ、本案ノ如ク提案致シタノデゴザイマシテ、高橋サンノ仰セノアル所、私モ一ツノ根據モアリ理由モアルト思フノデアリマスルガ、兎ニ角戰時ニ於キマスル臨時ニ生ジタ所ノ利得デアアル、斯ウ云フ考カラシマシテ、斯ノ如キ立法モ審議致サルベキ性質ノモノデアアルマイカト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、戰時利得税ノ場合ニ於キマシテノ税率ニ付キマシテハ政府委員カラ申上ゲルコトニ致シマス

○大矢政府委員 戰時利得税ノ場合ノ鑛業權ノ賣買利得ニ對スル税率ハ百分ノ十五デゴザイマス、其ノ當時ハ一般ノ戰時利得ニ對シテモヤハリ百分ノ十五ノ税率ヲ以テ課税致シテ居ツタノデ、賣却利得其ノ他ノ利得トノ間ニ於キマシテ税率ノ差異ガナカツタノデゴザイマス

○高橋委員 特ニ今回ノ御提案ニ付テハ其ノ道ノ人々ニモ斯ウ云フ提案ガアルノダガト云フヤウナコトヲ言ヒマシテモ、ソシナ馬鹿ラシイコトガアルモノカ、過去ニ週ツテ課税ヲサレルト云フ風ナ、鑛山ノ事情ヲ少シデモ知ツテ居ル者ナラバソシナ馬鹿ラ

シイコトガアルベキ筈ガナイ、專鑛山ニ關スル限りハ鑛山局ニモ相談サルル譯デアラウカラ、ソシナモノニ同意ヲサレル譯ハナイナドト云ツテ居ル位ニ、世間ハ之ヲ意外ニ思ツテ居ルノデアリマス、ソレハヤハリ私共ニ於テ考ヘマシテモ、十二年ニ臨時利得税ガ立案サレタ場合ニ、金銀ノ重要鑛物ガ今マデ鑛産稅ガ掛ツテ居ナカツタモノヲ特別鑛産稅ヲ設ケテ新ニ賦課サレタ、ソレヲ十三年度ニナツテ臨時措置法デ除外サレタ、ソレカラ一般ノ鑛産稅ニ對シマシテモ、十三年度カラ掘出シタモノハ稅ヲ免除スルト云フ規定ガアツタヤウニ私共考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ場合ニ此ノ時局ニ副ウテ殊ニ大切ナル重要鑛物ト云フモノハ國家トシテ總力ヲ擧ゲテ國民ト協力シテ増産ニ努メテ居ル、ソレデアアルカラ今課税ニナツテ居ナイモノヲ新シク課税サレルナドト云フヤウナコトハ夢ニモ考ヘナイノガ常識デアラウト考ヘテ居ルノデアリマシテ、斯ウ云フ非常時ノ場合ニ最モ大切ナル殊ニ探鑛ニ付テノ最モ有用ナル所ノ人才ヲ網羅シテ居ル中ノ鑛業者ヲ將棋倒シニ倒シテシマフト云フヤウナコトヲ此ノ場合ニ御執リニナルト云フコトハ——唯此ノ御忙シイ中ニ船ト云フモノヲ對象トサレテ考ヘラレ

ル、ソレナラ鑛山モ同ジガラウト考ヘラレル、又鑛山局ニハ外ニマダ大キナ獎勵事業等ノ計畫ガアリ、又鑛業會社ナドヲ創立サレルト云フ御計畫ガアツテ、大藏省ノ同意ヲ得ルト云フコトニ付テ中々困難ナヤウナ事情モアツタ、ソレデ斯ウ云フモノハ大藏省ノ言ヒナリニナツテ、サウ云フ方面ノ仕事ヲ擱マウ、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘラレタノヂヤナイカ、デ商工現當局ハマダ御馴レニナラナイモノデアアルカラ、ソシナコトニ同意サレタノヂヤナイカト思フノデスガ、是ハ非常ナ由々シキ鑛山界ノ問題ダト私共ハ考ヘルノデアリマス、鑛山ヲ現金デ賣渡ス場合ハ前段申述ベタ通りデアリマスガ、之ヲ出資スル、即チ或ハ出資ヲシテ會社ヲ創立スル、或ハ既設會社ニ其ノ鑛山ヲ持込シテ之ヲ増資ノ材料ニスルト云フヤウナ場合ガ多クアルト思フノデアリマスルガ、其ノ場合ノ株式ト云フモノハ時價ニ依ツテ換算スル、時價ノナイ場合ハ適當ニ處理スルト云フ前日來ノ御答辯ノヤウニ承ツテ居ツタノデアリマシテ、此ノ事項ニ對シ質問應答ヲ同僚ガ重ネタノデアリマスルガ、要スルニ不得要領ノ中ニ終ツテ居ルト思フノデアリマス、一體政府ニ於カレマシテハ此ノ株式ノ時價、市場性ノナイモノモ

含マルルノデアリマスカ、株式ノ時價ト云フモノハ一體ドウ云フ御定メニナルノデアリマセウカ、此ノ時價トハ何ゾヤ、時價ノ定義ト云フモノハ御定メニナツテアルカドウカ、ソレヲ承リタイ

○大矢政府委員 市場性ノナイ株式ノ評價ト云フノハ相當困難ナノデアリマスルガ、是ハ收益狀況、資産狀況等ヨリ鑑ミマシテ適當ニ評定スルノデアリマス、同種ノモノトノ比較等モ勿論考慮セラレルノデアリマス、現在相續稅ノ賦課ノ場合ニ於キマシテモ、屢、同様ノ問題ニ出會スノデアリマスカ、前申上ゲマシタヤウナ點ヲ考慮致シマシテ、適切ニ評價致ス次第デアリマス

○高橋委員 評價ニ付テハ市場性ノナイモノニハ依然トシテ困難デ、外ノ場合ノ、船舶デアルトカ、一般不動産デアルトカ云フヤウニ表面カラ見テ評價ノ出來ルモノナラバ、他ト比較研究ナサルト云フコトモ出來ルダラウト思ヒマスケレドモ、鑛山ノ如キハ専門ノ技術者、學者ニ於テモ、其ノ人ニ依ツテ非常ニ見方違フ、將來ノ見透シナノデアル、ソレデアリマスカラ是ハ容易ナコトデハナイト思フノデアリマス、ソレヲ稅務署ノ役人ガ勝手ニ之ヲ評價スルト云フコトデハ、到底當業者ト折合ガ付クマイト

思フノデス、出資鑛山ノ價值ガ評價サレナケレバ、其ノ會社ノ株券ノ價值ト云フモノガ評價サレナイト思フノデアリマス、ソレデ若シ之ヲ相剋摩擦ヲ少クスルト云フナラバ、評價ニ付キ何カノ規定ヲ設ケラレナケレバナナイト思フノデアリマスルガ、是ハ相續稅等ノ場合ニ於テモ同ジダト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、何カ市場性ノナイ株式ノ評價ニ付テ内規デモオアリニナルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 市場性ノナイ株式ノ評價ニ對シマシテハ別ニ詳細ナ内規ト云フモノハゴザイマセス、先程申上ゲマシタ通り其ノ會社ノ資産ノ價格或ハ毎年ノ收益ノ狀況カラ考ヘテ見テ、時價ヲ見、或ハ同種ノ會社ノ大體似タヤウナ資産狀況、收益狀況ニアル會社ノ株式ガドウ云フ風ナ時價デアアルカト云フヤウナ點ヲ參酌致シマシテ、適切ヲ期シテ居ル次第デアリマス

○高橋委員 一方ダケデ御定メニナツテ、當業者ガ不滿ナ場合ニハ、其ノ場合ノ救済ハドウ云フコトニナリマセウカ

○大矢政府委員 是ハ所得稅ノ場合ト同ジヤウニ審査ノ請求ヲ致スコトガ出來ルノデアリマス

○高橋委員 サウスルト二十日以内ニ審査ノ請求ヲスル、ソレデ不服ナラバ訴願スルト云フヤウナ行政法上ノ手續ヲ執ルト云フヤウナコトニナルガ、要スルニ悉ク是ハサウ云フコトニナルノデハナイカト思フノデアリマシテ、稅務當局ト此ノ爲ニ相剋摩擦ヲ起サセルト云フコトニナツテ、稅務官廳ノ方デモ非常ナ煩ヒニナル、況ンヤ晝夜兼行デ働イテ貰ハナケレバナラス大切ナ鑛業家ヲソナコトデ足止メヲシテ置クコトハ、國家トシテ非常ニ不利益ナコトト思フノデアリマス、此ノ儘遂行サレルトシテモ、ソレナラバ幾分カ納稅上ニ於テ緩和スルコトノ出來ルヤウニ、何カ相續稅ノ場合ノヤウナ七年トカ十年トカ分納ノ制度デモ御定メニナルト云フヤウナ御考ノ御持合ハナイデセウカ

○石渡國務大臣 只今マデ調べテ居リマス所デハ件數ガ比較的少ナイノデアリマシテ、全國ニ互リマシテ百四五十件ノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ是ガ決定ニ當リマシテハ十分ナル調査ヲ遂ゲマシテ混雜ヲ避ケタイト思フテ居ルノデゴザイマス、此ノ前ニ大正七、八、九年當時行ヒマシタ鑛業權ノ問題ニ付キマシテモ、是ハ大體ニ於

キマシテハ圓滿ニ行ツテ居ルノデゴザイマスルガ、約十件デアリマスカ、十五件デアリマスカ其ノ位ノモノニ付キマシテハ隨分混雜致シマシテ、長イ間ノ訴訟問題ヲ見タコトガゴザイマス、是ハサウ云フヤウナ、考ヘ方ニ依リマシテハ極メテ困難ナ問題ニ達著致スコトノアリマスカトハ高橋サンノ御察シノ通りデアルト存ズルノデゴザイマスガ、併シ其ノ件數ハ私ノ見込デハサウ餘計ナ件數ガサウ云フ混雜シタ問題ニ係ツテ來ルト云フコトハアルマイ、大體ニ於テ件數ノ少イコトデアアルシ、稅務署ニ於キマシテモ十分調査ノ上致シマスカラ混雜ハ起ルマイト思ヒマスカ、併シ少數ノモノニ付キマシテハ、是ハ相當難シイ問題ガ後ニ於テ起ルヤウナコトガアルデアラウカト思ツテ居リマス、是ハ大正七八年ノ經驗ニ徴シテモサウ云フコトガゴザイマス、ソレカラ年賦延納ノ問題デゴザイマスガ、是ハ法規上ノ年賦延納ハ此ノ前ノ時モ設ケテゴザイマセヌ、又今回モ是ダケニ付キマシテ年賦延納ヲ認メルコトハ如何カト思ツテ、實ハ年賦延納ノ制度ハ認メテ居ラナイノデアリマスカ、併シナガラ實際ニ於キマシテハ此ノ前ノ戰時利得稅ノ際ニ於キマシテモ相當納稅ヲ待ツタモノガゴザイマス、納稅ヲ待ツテ

キマシテハ圓滿ニ行ツテ居ルノデゴザイマスルガ、約十件デアリマスカ、十五件デアリマスカ其ノ位ノモノニ付キマシテハ隨分混雜致シマシテ、長イ間ノ訴訟問題ヲ見タコトガゴザイマス、是ハサウ云フヤウナ、考ヘ方ニ依リマシテハ極メテ困難ナ問題ニ達著致スコトノアリマスカトハ高橋サンノ御察シノ通りデアルト存ズルノデゴザイマスガ、併シ其ノ件數ハ私ノ見込デハサウ餘計ナ件數ガサウ云フ混雜シタ問題ニ係ツテ來ルト云フコトハアルマイ、大體ニ於テ件數ノ少イコトデアアルシ、稅務署ニ於キマシテモ十分調査ノ上致シマスカラ混雜ハ起ルマイト思ヒマスカ、併シ少數ノモノニ付キマシテハ、是ハ相當難シイ問題ガ後ニ於テ起ルヤウナコトガアルデアラウカト思ツテ居リマス、是ハ大正七八年ノ經驗ニ徴シテモサウ云フコトガゴザイマス、ソレカラ年賦延納ノ問題デゴザイマスガ、是ハ法規上ノ年賦延納ハ此ノ前ノ時モ設ケテゴザイマセヌ、又今回モ是ダケニ付キマシテ年賦延納ヲ認メルコトハ如何カト思ツテ、實ハ年賦延納ノ制度ハ認メテ居ラナイノデアリマスカ、併シナガラ實際ニ於キマシテハ此ノ前ノ戰時利得稅ノ際ニ於キマシテモ相當納稅ヲ待ツタモノガゴザイマス、納稅ヲ待ツテ

一部分ツツ數年間ニ互ツテ納メタ例モアルノデアリマス、是ハ獨リ我國バカリデゴザイマセズ、外國ノ戰時利得稅ニ於キマシテモ相當多額ナモノニ付キマシテハ、數年間ニ割ツテ納メサセテ居ルヤウナ實情ニアルヤウデゴザイマス、此ノ點ハ實際ニ當リマシテハ決シテ苛酷ナコトニ至ラヌヤウニ十分注意ハ致シタイ、斯ウ存ジテ居ル次第デゴザイマス

○高橋委員 政府ニ於テハ此ノ稅ヲ設ケラレル場合ニドレ程ノ件數デ、其ノ賣得金ガドノ位マデアツテ、稅ハドノ位御取リニナラレルト云フ御見込ナノデスカ、個人ト會社ト分ケテ御示ヲ願ハレバ結構デス、只今分レバ只今伺ヒマスシ、又後程書イタモノデ御示ヲ願ツテモ宜イト思ヒマス

○大矢政府委員 昭和十三年一月カラ十月マデノ期間、讓渡益五千圓以上ノモノヲ調査シマシタ、其ノ件數ハ九十七件、利益金額ハ六百七十八万三千二百三十四圓トナツテ居リマス、法人ニ付テハ特別ノ調査ヲ致シテ居リマセヌ

○高橋委員 會社ト申上ゲタノハ私ノ言ヒ違ヒデ、詰リ會社ニ出資シタ形ノモノト、現金デ買得シタモノトノ比較ヲ御願シタカッタノデスガ、ソレハ分ツテ居リマスカ

○大矢政府委員 大部分ハ現金賣却デアリマシテ、出資ニ依ルモノハ四件カト記憶致シテ居リマス

○高橋委員 ソレハ實情トハ非常ナ違ヒ方デアアル、サウ云フ見當デ稅ヲ御定メニナルコトハ、非常ナ混亂ヲ生ズルコトト思ヒマスガ、時間ノ制限ガアリマスシ、私見ニ互リマスノデ、サウ云フコトハ申シマセヌ、ソレカラ又株式ニナリマシタモノニ付テノ評價ハ何ニシテモ非常ニ面倒ダト思ヒマス此ノ度ノ稅法ハ臨時ノモノデアアルカラ、臨時ノ取扱ヲシテモ差支ナイ思トヒマスガ、株式ヲ物納ニシテ、ソレヲ競賣シテ見ルノモ一ツノ方法ダラウト思ヒマス、サウ云フコトヲ御考ニナツタコトハゴザイマセヌカ

○大矢政府委員 先程申上ゲタ件數ハ、讓渡益五千圓以上ノ見込ノモノヲ稅務署ヲシテ調査セシメタ、其ノ結果ガ斯ウナツテ居ルノデアリマスカラ、五千圓ニ滿タナイ件數ハマダアルカト存ジマス、又利得二千圓ニ達シナイ場合ニハ課稅ハ致シマセヌカラ、ソレモ一ツ御承知置キ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ物納ノ點デアリマスガ、既ニ賣ツテ、現金ヲ得テ居ルモノニ對シテハ、相續稅ノ場合ト違ヒマスカラ、別ニ物納ト云フコトヲ考慮スル必要ハナイデハ

ナカラウカト存ジテ居リマス

○高橋委員 會社ニ出資シタ形ニナツテ居ルト云フモノガ、四件位シカナイト見ラレルカラ、サウ云フ問題ハ御考ニナツタコトハナイカモ知レマセヌガ、私ハ八割位ハサウ云フモノデハナイカト思フノデアアリマス、ソレハ五千圓、一万圓ト云フヤウナモノデハナイト思フ、十萬圓、二十萬圓、百萬圓ト云フ價格ノモノニ多イ、實際ハサウ云フコトニナツテ居ルノデス、サウ云フ方面ノコトデアリマスカラ、其ノ株ハ相當ノ値打ヲシテ居ルモノモアレバ、又客觀的ニ見テ無價値デアルト評價サレルモノモアルノデス、故ニ其ノ株式ノ價格ノ見積リニ付テハ非常ナ困難ガアルノデ、サウ云フモノハ寧ロ物納制度ニシテ、サウ云フモノヲ預ルト云フコトニシタラドウカ、サウシテ競賣ニ掛ケテ見レバ此ノ眞價ガ分ル、斯ウ云フ方法モ考ヘラレルノデアリマスガ、サウ云フコトハ御考ニナツタコトハナイカ、斯ウ云フコトヲ御尋シタノデアリマス

○石渡國務大臣 船舶、鑛業ノ賣買ニ關スル件ハ、調査致シマシタ所、比較的件數モ少イ、サウシテ大部分ハ現金デ賣買サレテ居ルノデアリマシテ、會社ノ株ヲ買フモノハ極メテ少數ト云フ調査ニ相成ツテ居ルノ

デゴザイマス、此ノ調査ハ或ハ間違ヒデハナイカ、斯ウ云フ御疑モアルカト思フノデアリマスガ、是ハ全國ノ稅務署ニ命ジマシテ、昨年中ニ行ハレタ賣買ヲ調べタ譯デゴザイマスノデ、私ハ決シテ間違ヒハナイト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレデ高橋サンノ御心配ノ、會社ノ株ニ對スル評價ノ問題、ソレニ引續イテ其ノ株式ニ依ツテ稅ヲ納メルコトヲ考ヘテ見タラドウデアアラウカ、斯ウ云フ御話デゴザイマス、此ノ現物デ納メダラドウデアアラウカト云フコトモ、要スルニ稅務署ニ於テ株ノ評價ガ出來ルデアラウカドウカト云フコトノ御疑カラ出發致シテ居ルコトト思フノデゴザイマスガ、此ノ臨時所得稅ニ付キマシテハ、其ノ他ノ個人ノ臨時利得稅ノ場合ト同様ニ、所得調査委員會ニ付議致スコトニ相成ツテ居ルノデゴザイマシテ、其ノ點ハ各地ノ所得調査委員トモ十分ニ御相談致シマシテ、其ノ表示致シテ居リマス株券ガ、幾何ノ時價デアアルカト云フコトニ付テ御相談致シテ、此ノ事務ヲ行ツテ行クノデアレバ、サウ數モ餘計ナコトハゴザイマセヌシ、私ハ御心配ノヤウナ度程ニ至ラズニ、此ノコトガ圓滑ニ解決シテ行ケルノデアアルマイカ、斯ウ思ツテ居ル次第デアリマス

○高橋委員 ドウモ件數が少イト云フ御見込デアリマスガ、株式ニ出資ラシタ形賣買ヲ終了シタト云フコトハ、將來隨分御調べニナレバ多イト考ヘテ居ル、之ニ非常ナ煩ヒガアルドラウト思ヒマス、評價ニ不滿ノ場合ニ於テハ、ソレノ救済方法トシテ審査請求ヲスレバ宜イト云ハレマスケレドモ、税金ハ先ニ納メテシマハナケレバナラス、期日マデニ納メヌナケレバ強制執行サレルドラウト思フノデスガ、サウ云フ場合ニハ延納スルト云フ規定デモ御設ケニナリマスカ、ソレデナケレバ泣寝入ニナルドラウト思ヒマスガ、如何デスカ

○石渡國務大臣 實際問題トシテ、課税ノ基礎ニ疑ガアル場合ガ起キマシテ、其ノコトヲ實行スルト當事者ニ非常ナ苦痛ヲ與ヘルト云フ場合ニ於テハ、行政上ノ實際問題トシテ、多少之ヲ猶豫致スコトゴザイマス

○高橋委員 猶豫スル場合モアルト仰シヤルガ、ソレハ本當ニ特例ダト思フ、多クノ場合、今日ノヤリロカラ見レバ、ドシノ押ヘテ行クト云フコトドラウト思フ、殊ニ鑛山關係ハ、近時非常ニ峻烈ニナツタト民間ノ者ハ言ウテ居ル、例ヘバ鑛區稅ノ如キハ一箇年ヲ前納スルコトハ御承知ノ通り

デアル、是ハ十二月三十一日限リデ、翌年一箇年分ヲ前取りサレルト云フ方法ニナツテ居ル、十二月三十一日期限ノモノヲ十一月位ニ令書ヲ發送シテ、ソレガ十二月三十一日ノ期日ニ納マラナイト、一月ノ御用明ケトカ、或ハ遅クテモ十日位ニハ直グ催告狀ヲ出ス、サウシテ催告ノ日カラ一週間乃至二週間ノ期日ニ納付致サナイト、直グ今度ハ差押ヘラスルト直グ其ノ當日位ニ公賣處分ノ通告ヲスル、ヒドイノハサウ云フ型ニ欲メタヤウナ工合ニヤツテ來ルノデス、少シ事情ガ分ツテ、是ハ國家ノ獎勵事業デアルシ、鑛山家ト云フモノハ多少困ル時期モアルドラウカラト云フノデ多少寛大ニ取扱ハレテ居ル稅務署モアルヤウデアリマス、併シナガラ多クノ稅務署ハ只今申上ゲタヤウニ型ニ欲メタヤウニ法規通り少シモ會釋ナク執行シテ行ク、少シ遠イ所デハ郵便ガ屈イタノガ期日ダト云フヤウナコトガアツタリ、旅行シテ居ル時分ナドニハ期日ガ夙ニ過ギテ其ノ間ニ競賣ヲサレテシマツテ馳付ケテモ間ニ合ハナカツタト云フヤウナ例ガ随分アルガ、本省ノ方デハサウ云フ事情ハオ分リニナラナイノデハナイカ、唯國稅ノ徵收ニハ非常時デアルカラト云フノデ、令書ニハ皆日ノ丸ノ國旗ノ「スタンプ」ヲ捺シテ

總テ皆愛國心ニ訴ヘロト云フヤウナコトヲ言ハレルト、期日通りニ納メナイ者ハドシノ處分シテシマフ、是ハ本省ノ方ノ御意思デモナイモノト思フガ、サウ云フ頭デ取扱フカラ飛ンデモナイコトニナルノドラウト思ヒマス、是ハ鑛區稅ノコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、鑛產稅デモ同ジヤウナ取扱ヲシテ居ル稅務署ガ澤山アツテ中小ノ鑛業家ハ非常ニ困ツテ居ルト云フコトヲ承ツテ居ル、之ヲ寛大ニヤルト云フヤウナコトハ地方デハ特例中ノ特例デアアルヤウニ思フ、大鑛業家ニ對シテハ別デスケレドモ、中小鑛業家ニ對シテハ非常ニ冷酷嚴格ナル取扱ヲナシ、之ガ爲ニ非常ニ苦ンデ居ルト云フヤウナコトハ比々皆然リト考ヘマス、斯ウ云フ工合ニ最モ探鑛熱ノ旺盛ナル中小以下弱小トモ言ハレル鑛山家ヲ、此ノ稅法ニ依ツテ苦メルコトニナリ、多數ノ者ヲ破産ニ導クコトニナルノデアリマス、斯様ナ危險ナ稅法デアリマスカラ更ニ御一考ヲ煩シテ置キタイト思ヒマス、關聯ノ質問モアリ其ノ他多數質問モオアリノヤウデアリマスカラ、私ノ質問ハ一旦是デ中止致シマス

○森田(福)委員 私ハ二點ダケ極ク簡單ニ御聽キシタイノデアリマス、今高橋サンノ御聽キニナツタ鑛業權ヲ會社ニ直シタノハ、全國デ四件ダケト云フ御答ガアツタノデアリマスガ、ソレハ調査ガ間違ツテ居ルノデモアリマスマイ、斯ウ云フ點ハ御調ニナツテ居リマスカ、私等ノ知ツテ居ル範圍デハ、殆ド八割モ九割モ鑛業權ハ現金ノ賣買デナクテ營利法人ノ名義ニ直ツテ居ル筈デアリマスガ、其ノ形式ガ今當局ノ答辯ハ、定款ニ書込ンデ現物出資ニ依ルモノガ四件デアルト云フ意味デハアリマセスカ、ソレナラバ四件デアリマセウガ、會社ヲ創立スルニ實際シテハ定款ニ書込ミ、株式ノ申込書ニ現物ニ對スル鑛業權ニ何万何千株ヲ與フルト書クコトハ、御承知ノ通りニ頗ル煩瑣デアリマスカラ、一應會社ヲ作ツテ、サウシテ大抵發起人ガ鑛業權ノ持主デアリマス、其ノ發起人カラ現金デ其ノ會社ガ買ウタヤウナ單ナル形式デ以テ賣買ニナツテ居ルガ、實質ハ各々株式ニ振替ヘテ居ル、是ハ明カナコトデアリマスノデ、今ノ四件ト仰シヤツタノハ、ソレハ定款ニ書込ンダモノデセウ、サウデナクテ、二百万圓ナラ二百万圓ノ資本金ノ會社ガ一應出來テ、創立ノ事務モ完了シテ、一方發起人ガ持ツテ居ル鑛業權ヲ其ノ時ニ評價シテ振替ヘルノデハアリマセスカ、創立シタ翌日デモ當日デモ宜シイガ、要スルニアナタノ今仰シヤツタ四件

ト云フノハ、定款ニ書込シテモノダケヲ仰シヤツクノデ、片一方形式上ノ會社ノ創立ヲシテ、形式ノ賣買ヲヤツタ者ニ對シテノ調方届イテ居リマセヌゾ、私ハサウ思ヒマシガ、其ノ點ハ私ノ言フノガ間違ヒデ、アナタノ仰シヤルノハヤハリソレヲ加ヘタ四件デアリマスカ

○大矢政府委員 是ハ先程カラ度々申上ゲマス通り、讓渡益五千圓以上ノ見込ノモノヲ調査シテ次第ゴザイマス、隨テ之ニ達シナイモノハ相當件數アルカト存ジマス、ソレカラ形式上モ現物出資ニナツテ居ルモノダケヲ取調べタカ、斯ウ云フ御尋ゴザイマス、實ハ現物出資ノ場合ガ大分問題ニセラレルヤウデゴザイマスルノデ、各稅務署カラ一應報告ヲ取ツタモノニ付テ更ニ現物出資關係ノモノハドウ云フノガアルカト云フコトヲ、詳細ニ報告ヲ取ツタノデアリマス、サウシテ見マシタラ、先程申上ゲマシタ通り四件アツタ、斯ウ云フ譯デゴザイマシテ、此ノ四件ハ御示ノ通り現物出資、形式モ名實モサウ云フ形ヲ執ツタモノカト存ジマス

○森田(福)委員 ソレハ四件ハ形式モ實際モサウ云フコトヲ執ツタノデアリマセウ、ソレハ即チ定款ニ書込シテ此ノ鑛業權ニ對シ

テ株式何ボヲ與フト書イタノガ四件ト云フノデアリマセヌカ、サウデナクシテ現金ヲ二百萬圓拂込シテ會社ヲ創立シテ、或ハ三百萬圓拂込シテ會社ヲ創立シテ、サウシテ其ノ山ヲ今度評價ヲシテ振替ヘル、一枚ノ傳票ヲ振替ヘテ、現金カ若クハ預金カラ振替ヘテ行ツテ株式ニ替ヘテ居ルモノガ大分アルダラウト思フ、四件ヤ五件デアリマセヌ、勿論五千圓以下ノモノデモアリマセヌ、北九州ナドニ付テ言フナラバ、北九州ナドニハサウ云フモノハザラニアリマス、四件ヤ五件ナラ此ノ委員會デサウ彼此レ議論スル必要モナイガ、アナタノ方ノ調査ハ行届イテ居リマセヌ、稅務署ノ方ノ調査ハ定款カ或ハ株式ノ申込書ニ明記シタモノダケヲ調べテ採ツタノデアリマセウガ、サウデナクシテ、同族的ニ會社ヲ作ツテ會社ノ設立ガ濟ンデ鑛業權ト振替ヘタモノニ對シテハ、調査ガ届イテ居ラヌノデアリマセヌカ、調査ガ届イテ居ルノデスカ、ソレヲ加ヘタモノナノデスカ

○大矢政府委員 是ハ前ニ申上ゲマシタ通り、現物出資ヲ爲シタ者ハドレ程アルカト云フコトヲ一件毎ニ調査セシメタノデアリマスガ、結局御話ノ通り形式モ現物出資ノ

形ニナツテ居ルダケカト存ジマス、實質ハ現物出資デモ形式上ハ株ノ現金拂込ガアツテ、ソレヲ會社デ買ツタノダト云フ風ニナツテ居ルモノノ調査ガ或ハ入ツテ居ナイカモ知レマセヌ

○森田(福)委員 サウ云フモノハドウ扱ヒマスカ

○大矢政府委員 株式ノ拂込ハ現金ヲ以テヤラナケレバナラヌト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、現金ノ拂込ヲヤツテ直グ又鑛業權ヲ賣ルト云フ場合モアリマセウ、或ハ又現金ノ拂込ナシニ形ダケハ現金ノ拂込ガアツタヤウニシテ鑛業權ヲ出資スルト云フ場合モアルカトモ存ジマス、形式ヲ踏ンデ居ナイモノニ付テ其ノ實質ヲ十分見究メテ課稅スルト云フノハ課稅上相當ノ困難ガアルカト存ジマス

○高橋委員 今ノ問題ハ成程會社ヲ作ル時分ニハ現金デ拂込マシタラヌト云フ規定デスカラ、現金ヲ拂込シテ定款ニ現物出資ト書イテナイケレドモ、鑛業家ガ其ノ所有ノ鑛業權ヲ賣渡ス時ニ現金デ受取ラナイデ株式デ受取ツタ、斯ウ云フモノガアルダラウ、サウ云フ工合ニ考ヘラレマス、現金ヲ受領シナイデ會社ノ株券ヲ貰ツタ、現金ナラ十万圓、株券ナラ五十萬圓トカ百萬圓ト

云フノデ、株券デ五十萬圓ナリ百萬圓ナリヲ貰ツタ、斯ウ云フ場合ガ非常ニ多イ、斯ウ云フコトダト思フノデス

○大矢政府委員 今ノ御話ハ會社ガ自己株ヲ渡スト云フ意味デスカ

○高橋委員 茲ニ甲ト云フ鑛山主ガアツテ、會社ニ鑛區ヲ渡シテ其ノ對價トシテ現金ノ代リニ株式ヲ貰フノデス、詰リ甲ト云フ鑛山主ガ會社ノ株主ニナルノデス

○大矢政府委員 分リマシタ、其ノ對價トシテ貰フ株式ノ時價ヲ見テ、讓渡利得アリヤ否ヤヲ判斷致シマス

○森田(福)委員 今ノハ能ク分リマシタガ、後ノ答ガ分ラヌノデアリマス、私ガ問ウテ居ルノハ、茲ニ一千万圓ナラ一千万圓ノ會社ヲ造ツテソレハ色々アリマセウ、アナタノ仰シヤツタヤウニ現金ニ限ツテハ居リマセヌ、小切手デアアラウト何デアラウト差支ナイ、銀行預金モ宜シイ、唯新商法ニハ銀行預金ニ限ツテ銀行ノ證明ガ必要ト書イテアル、ソコデ二百萬圓ナラ二百萬圓、五百萬圓ナラ五百萬圓ノ會社ヲ造ツテ、二十圓トカ五十圓拂込ノ株式ヲ其ノ人間ニ持ツテ振替ヘルノデス、即チ鑛業權ヲ貰フ爲ニ其ノ人ニ株券ヲ渡シテ居ルノデス、アナタノ方ノ調査ハ恐ラク形式ノ分ダケデ、サウ

云フコトガ澤山行ハレテ居ル實際ニ付テハ恐ラク調査出來テ居ナイデセウ、是ハ中々面倒ダカラ私ハ調査出來テ居ナイト思ヒマスガ、是ガ今度事變稅ガ課カツテ來ルカラ大キナ問題デアル、吾々ノ言ツテ居ルノハソコデス、今鑛業權ヲ讓渡シタ場合ニ、例ヘバ三百万圓ノ株券ヲ渡シテ相殺勘定ヲヤツタ形式ノモノニ對シテ、現金デ三百万圓デ賣ツタモノト同様ニ見テ課稅ナサラウト云フコトニナルト、ソレハ大變ナコトニナル、假ニ三百万圓ナラ、七十五万圓ノ稅ガ

可能ノコトデアリマス、ソレデ今四件ト云フコトデスガ、四件ナラ洵ニ結構デス、併シ四件ヤ四十件デハアリマセヌ、大部分今言フヤウニ定款ニ現物出資ト云フコトハ明記サレテ居ナイ筈デス、實質ハ恐ラク鑛業權ヲ賣ツタ人モ、其ノ大部分ノ株主モ、恐ラク同族のニナツテ居ルカラ同一人デセウ、此ノ點ヲ御考慮ニナル必要ガアリマス、其ノ點ハアナタノ方デ考ヘテ居ラレルコトハ分ツタ、併シ實情ニ副ウテ居ラスコトヲ申上ゲテ置キマス

第二點ハ、此ノ法律ガ此ノ儘行ハレル場合ニ、鑛業權若クハ船舶ノ賣買ヲ爲シタ際ニ取得シタ金額ニ對シテ、色々ナ經費若クハ賣買ニ要シタ費用ヲ引クトナツテ居リマスガ、賣ツタ人間ガ仲介料ヲ拂ウタ場合ニ、即チ仲介業ヲ營マザル者ニ仲介料ト云フカ、謝禮ト云フヤウナモノヲ拂ツタ場合ニ、ソレニ所得稅ハ勿論課カリマセヌガ、臨時利得稅モ課カラヌト思ヒマスガ、左様デアリマスカ、是ハ念ノ爲ニ伺ツテ置キマス

取扱ハレテ然ルベキデハナイカト存ジマスソレカラ仲介料ノ問題デゴザイマスガ仲介料ハ鑛業權ヲ賣却シタモノニ對シマシテハ收入ノ中ニハ見マセヌ、ソレカラ仲介者ノ讓渡利得ノ問題ハ起ツテ參リマセヌ

○森田(福)委員 能ク分リマセヌガ、私ガ今言ツテ居ルノハ船舶及ビ鑛業權トモ賣買ガアルガ、其ノ賣ツタ人ガ經費ノ中ニ算入シテ出ス中ニ仲介料ト云フカ、仲介謝禮ト云フカ、仲介業ヲヤツテ居ラス者ニ拂フモノガアル、ソレハ勿論賣ツタモノノ價格ノ中カラ禮ヲシ、貰ウタ方モ營業デナイカラ別ニ臨時利得稅ハ課カラヌト思フガ、果シテサウカト云フ質問デアリマス

其ノ人ニ課カルコトニナル、然ルニ其ノ株券ノ本當ノ時價ヲ調べテ見レバ——ソレハ三百万圓、五百万圓ノモノモアリマセウ、旨ク金ナリ銀ナリ、銅ナリ、石炭ナリヲ掘リ當テテ埋藏量ノアツタモノハソレデ宜カラウガ、サウデナイモノハ困ルノデス、ソコデ是ハ時間バカリ急ガズ、十分ニ究メテ行カスト、今主稅局長ノ御答辯ノヤウナ方法デ課稅ヲシテ行ツタラ、ソレコソ破産スル者ガ簇出シマス、株券デ鑛區ト振替ヘタモノヲ、株券ノ評價ヲシナイデ、現金デ賣ツタモノト見做シテ、其ノ利得ニ對スル四分ノ一ヲ課稅シテ行クト云フコトハ大キナ問題デアリマスカラ、委員各位モ、又政府當局ニ於テモ篤ト御考ニナラヌト、是ハ不

○大矢政府委員 今ノ御尋ニ同族のニナツテ居ルト云フ御言葉ガアリマシテ、ソレデ私餘程納得シテ來マシタ、同族會社ノ場合ニハ要スルニ會社ヲ拵ヘヤウガ、個人デ持

ツテ居ヤウガ、右ノ「ポケット」ニアルモノヲ左ノ「ポケット」ニ移スニ過ギナイ、隨テ評價モサウ深く考慮ヲ拂ハズニヤル、ソレカラ形式ト實質ガ違ツテモ一應現金ノ拂込ガアツタカノヤウニシテ會社ヲ拵ヘル、サウシテ事實上ハ現物出資ヲスル、斯ウ云フ場合ハ多イト思ヒマス、是ハ單リ鑛業權ノ場合ノミナラズ、他ノ不動産其ノ他ノ有價證券デモ同様デアリマス、サウ云フモノヲ出資スル場合ハ度々アリマシテ、斯ウ云フ場合ニハ一般ノ他ノ會社トノ負擔ノ均衡ト云フコトモ考慮シナケレバナリマセヌ、稅務署ニ於キマシテハ其ノ出資ノ價格ヲ適當ニ評價致シマシテ拂込ヲ否認スル、斯ウ云フ問題ガ時々アルノデゴザイマス、斯ウ云フ場合ニ該當スルモノナレバ此ノ鑛業權ノ出資モ實際ニ一萬圓ノ價格シカナイモノヲ百万圓ニ協定シテ如何ニモ現金ヲ拂込シダカノヤウニシテ實際ハ現物出資ヲシテ居ルト云フ場合ニハ評價ハ一萬圓ニスル、拂込ハ百万圓デハナイ、一萬圓デアルト云フ風ニシテ一般ノ所得稅、營業收益稅、法人資本稅ノ課稅モシテ行ク、斯ウ云フ場合ガ起ツテ來ルデアラウト思フノデアリマス、若シモ此ノ鑛業權ノ實質上ノ現物出資ト云フノガ御説ノ通り相當其ノ例ガアル場合ニハ、斯ノ如ク

○藤本委員 物品稅或ハ消費稅ト云フ様ナ課稅ガ結局轉嫁サレルト云フコトハ申上ゲルマデモアリマセヌ、併シ又直接稅デアリマシテモ、例ヘバ臨時利得稅ト云ツタモノデモ、課稅ノ結果ソレダケ價格ガ騰貴シ得ル場合ガアルノデアリマシテ、其ノ場合ニ

ヤハリ間接税の性質ヲ帯ビテ轉嫁ガ行ハ
レルノデアリマス、其ノヤウニ課税ガ行ハ
レテ轉嫁ガ行ハレ、或ハ課税ノ心理的影響
ニ依リマシテ或ハ連税ヲヤル、或ハ物價ガ上
ルヤウナコトガアリマスレバ、増税トカ或
ハ新税ノ創設ト云フコトハ其ノ事前ニ於テ、

又事後ニ於テ非常ニ考ヘナケレバナラスト
思フノデアリマス、且又脱税者或ハ連税者
ガアル場合ニ於キマシテ、眞面目ニ納税ヲ
ヤル者ハ自分ノ分ノ納税ト同時ニ連税者、
或ハ轉嫁シタ者、サウ云フ人ノ分マデモ背
負込ムコトニナルト思フ、納税ガ一種ノ重
大ナル義務デアリマスカラ、各人ガ擔税能
力ニ相應シタ税ヲ公平ニ拂フノデアリマシ
タナラバ、假リニ非常ナ重税デアリマシテ
モ、斯ウ云フ時局ニアツテハ重税ト思ハヌ
ト思フ、併シ一面ニ於キマシテハ脱税者、
或ハ轉嫁スル者ガアリ、サウシテ自分ダケ
ハ眞面目ニ拂フト云フコトニナルト納税義
務ノ神聖ガ疑ハレルト思フノデアリマス、
故ニ或ハ新税、増税ヲ致スニ當リマシテ、
其ノ事前ニ於テ連税或ハ轉嫁ヲ防グ措置ガ
必要ダラウト思ヒマス、又事後ニ於テ之ヲ
匡正スル所ノ施設ガ必要ダラウト考フルノ
デアリマス、斯ノ如キ觀點カラ茲ニ二三點
事務當局ニ御同致シタイト思ヒマス、先ツ

第一ニ、今マデ承リマス所ニ依ルト、直接
税ノ連税ニ付テ懲罰規定ガアリマスケレド
モ、之ヲ適用シタコトノ例ガナイト云フコ
トデアリマスガ、其ノヤウナコトガアルノ
デアリマスカ

○大矢政府委員 直接税ニ於キマシテハ處
罰ヲシタ例ハ殆ドナイカト存ジマス

○藤本委員 納税ハ道義的義務デアリマス
カラ、成ベク處罰セズ他ノ方法ヲ以テスル
ト云フ其ノ御方針モ分リマスガ、間接税ト
ノ均衝カラ直接税ノ連税ヲ防グト云フ意味
ニ於テ、今後直接税ニ於ケル罰則ノ適用ヲ
嚴格ニサレタラドウデアリマスカト云フコ
トヲ御尋致シマス

○大矢政府委員 理論的ニ考ヘマスルト、
直接税ノ連税、間接税ノ連税、其ノモノニ
敢テ輕重ハナイカトモ存ゼラレマス、唯直
接税方面ニ於キマシテハ、例ヘバ所得ノ計
算、營業收益ノ計算ト云フヤウナモノガ非
常ニ複雑ニナツテ居リマシテ、多クノ場合
計算方法ガ的確ニ行ツテ居ナイ、或ハ法律
ヲ十分呑込ンデ居ナイト云フ爲ニ申告ヲ誤
リ、計算ヲ誤ルト云フ場合ガ多イノデアリ
マシテ、斯ウ云フ場合ト、初メカラ連税ヲ
目的トシテ詐欺的ニヤツテ居ル者トノ分界
ガ中々明瞭デナイノデゴザイマス、サウシ

テ稅務署ノ計算ニ當リマシテモ中々的確ヲ
期シ難イ場合ガ多イ、其ノ爲ニ所得税ニ於
キマシテハ所得調査委員會ニ付議シテ決定
スルト云フヤウナ手續モ執ツテ居ル狀況デ
アリマシテ、稅務執行ノ實際ノ方面カラ見
ルト、ドウシテモ直接税ト間接税トニ於テ
ハ自ラ差別ガナケレバナラスカト存ジマス、
併シ稅ノ負擔モ漸次重クナツテ來ルニ從ヒ
マシテ、詐欺的ニ出テ連税ヲ圖ル者ガアル
ト致シマス、是ハ直接税ノ方面ニ於キマ
シテモ、看過スル譯ニハ行カナイト存ジマ
ス、極メテ惡性ノ者ニ對シマシテハ、時ニ
ハ此ノ制裁規定ヲ活用スルト云フ必要ガア
ルカト存ジマス

○藤本委員 法ノ不知ニ付テノ御示シガア
リ、尙又不正トカ詐欺ト云ツタコトニ付テ
ノ御態度モ御示シニナリマシタガ、ドウカ
其ノ點御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレ
カラ第二ト致シマシテ、日本ノ法規ハ懲罰
規定ヲ設クルニ當ツテ兎角最高限ヲ示シテ
アリマス、例ヘバ今度ノ稅法ニ依リマシテ
モ、第五十五條、第五十六條、五十七條ノ
如ク、連税シタモノ三倍或ハ五倍ヲ取ルト
云フヤウナ最高限ヲ示シテ居ルノデス、是
ハ私ハ宜シクナイ規定ダト思ヒマス、何ト
ナレバ最高限ヲ示シテアリマスカラ、其ノ

最高限ヲ知ツテ或ハ罰金或ハ科料ヲ覺悟シ
テ連税モヤレバ違反モヤルト云フヤウナコ
トガアリ得ルト思ヒマス、故ニ是ハ例ヘバ
獨逸ノ規定ノヤウニ最少限ヲ示ス、サウシ
テ反社會性ヲ帯ビタモノニ對シテハ、情狀
ノ如何ニ依リマシテハ如何様ニデモ罰スル、
或ハ如何様ニデモ罰金モ取リ科料モ取ルト
云フヤウナ規定ヲ作ル方ガ、寧ロ連税ヲ防
ギ、或ハ不正或ハ詐欺ト云フヤウナ行爲ヲ
未然ニ防止スル上ニ有效ダト思ヒマスガ、

其ノ點ニ對シマシテ御答ヲ願ヒマス

○大矢政府委員 稅法上ノ罰則ハ要スルニ
課稅權ノ侵害ニ對スル制裁デゴザイマス、
隨ヒマシテ直接税方面ニ於テハ大體今ノ御
話ノ通り三倍程度、間接税方面ニ於キマシ
テハ五倍程度ニシテ居リマシテ、最高限度
ガアルト言ヘバ、形ノ上デハアルヤウデゴ
ザイマスケレドモ、連税ヲ圖ツタ金額ガ多ク
レバ多イ程一定ノ倍數ヲ殖エテ行ク、連税ノ
金額ガ非常ナ巨額ニナレバ罰金モ非常ニ巨額
ニナルト云フ意味ニ於テ、或ハ又最高限ガ
ナイトモ考ヘラレルカト存ジマス、御質問
ノ要點ハ要スルニ惡性ノ程度ニ依ツテ區分
シタラドウカト云フ御趣意カトモ存ジマス、
一應御尤ト存ジマスレドモ、ヤハリ此
ノ課稅權ノ侵害ト云フ點カラ見マスレバ、

逋脱ノ事實ガアツタ場合ニ、ソレニ比例シテ課税スルト云フ程度デ宜カラウカト存ジマスケレドモ、尙ホ考究致シタイト存ジマス

○藤本委員 其ノ反社會的惡性、ソレモ甚ダ問題デアリマスガ、是ハ納稅義務ノ神聖ト云フコトカラ、何人モ逋脱セズ、何人モ脱稅セズト云フヤウナコトガ望マシイト思フノデアリマス、サウ云ツタコトカラシテ、

最高限ヲ示スヨリモ、最少限ヲ示シテ情狀ノ如何ニ依ツテハ如何様ニモ罰金或ハ科料ニ處シ得ルト云フコトニナラナケレバ、今申シマシタヤウニ罰金覺悟、或ハ科料覺悟デ逋脱ヲヤルノデス、現ニサウ云フ例ガアルノデス、故ニ此ノ規定ヲ改メラレマシテ、

最少限ヲ示ス、サウシテ其ノ規定ノ運用上如何様ニデモヤルト云フコトガ寧ロ威壓ヲヨリ加へ、從テ逋脱ヲ防ギ、或ハ其ノ他ノ不正行爲ヲ防ギ得ルモノト思ヒマス、モウ一應御尋致シマス

○大矢政府委員 是ハヤハリ一般刑罰規定ニ於キマシテモソレノ程度ガアリマス、殊ニ財産罰ニ於キマシテハ一般刑罰法規ト多少違ツタ考モ持タナケレバナラスト存ジマス、併シ御質問ノ御趣旨ニモ相當理由ガアルト存ジマスガ、尙ホ將來ノ問題トシテ

考究致シタイト存ジマス
○藤本委員 其ノ點宜シク御願シマス、第三トシマシテ罰則ノ一ツニ體刑ノ問題ガ此ノ間カラ論ゼラレマシタガ、私モ之ニ對シテ愚見ヲ持ツテ居リマスケレドモ、是ハ先般述ベラレマシタカラ止メマス、第四トシマシテ銀行法ニ依リマス、銀行業務トシテ預金ノ預入レ、或ハ貸付、或ハ手形ノ割引、或ハ爲替取引ト云フヤウナコトヲ書イテアリマスガ、大藏省ハ此ノ銀行ニ對スル監督權ノ行使トシマシテ、或ハ監査書ヲ出サス、或ハ業務報告書ヲ出サスト云フコト

ガ出來ルノデアリマス、併シ是ハ銀行ノ業務ニ付テサウ云フコトヲナサルノデアツテ、納稅トカ課稅トカ云フコトニ付テハ、是亦過去ノ紳士協定トカ云フノガオアリニナツテ、課稅上ノ監督權ハ之ヲ御揮ヒニナラヌト云フコトガアルヤウニ聞イテ居リマスガ、此ノ點ハ如何デアリマスカ
○大矢政府委員 現在ハ左様ノコトハゴザイマセス
○藤本委員 ソレデ諒解致シマシタガ、併シ私ノ過去ニ聞イタ所ニ依ルト、紳士協定カ何カアリマシテ、業務上ノ監督ハスルガ、納稅上ノ監督ハ控ヘル、ソコデ脱稅ノヤウナコトニナルノグト思ツテ御尋シタノデア

リマス、ソレガナイト致シマスレバ私ノ質問ハ解消致シマス
次ニ公證人法ノ規定ニモ少シ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、公證人法ニモヤハリ逋脱ノ爲シ易イ規定ガアルノデアリマシテ、眞ニ逋脱ヲ防グト云フ意味カラ申シマスレバ、公證人法ノ改正モ今後必要デアルカノヤウニ存ジマスガ、此ノ點ニ付キ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○大矢政府委員 御話ノ通り公證人ノ事務ニ關シマシテ課稅上深ク立入ツテ調査スルコトハイケンイコトニナツテ居リマシテ、課稅權ノ行使ノミカラ見ルト、多少遺憾ノ點ガゴザイマス、併シ一面ニ於テ公證人ノ職務ノ性質ト致シマシテ、相當秘密ヲ保持シナケレバナラスト云フコトモアリマシテ、

此ノ間ノ調和ヲ如何ニシテ圖ルカト云フノガ相當考究ヲ要スル問題デアリマシテ、從來ニ於キマシテモ司法省ト相當交渉ヲ重ネタコトガゴザイマスガ、將來モ尙ホ篤ト考究シ、交渉ヲ致シタイト存ジテ居リマス
○藤本委員 私ノ質問ニ對シマシテ、其ノ必要ヲ御認メ下サツテ、今後御調査下サルト云フコトノ御答辯ニ對シテ敬意ヲ表シマス、尙ホ時正ニ非常時デアリマシテ、思想上カラ言ヒマシテモ逋脱ト云フヤウナコトハ以

テノ外デアラウト思ヒマス、ソレヲ未然ニ防止致シマス爲ニ、是非早く其ノ御調査、御立案ヲ願ヒタイト思ヒマス
更ニ最後ニ如何ニ罰則ヲ微ニ入り細ヲ穿ツテ決メマシテモ、是ハ納稅上ノ道義心ニ俟ツ外ナイト思フノデアリマス、今度ノ遊興稅ナドニ付キマシテモ、所謂四圓九十九錢ノ梯子ヲヤレバ是ハ合法的脱稅ニナリマス、斯ウ云ツタ「エキセントリック」な遊ビヲシテ、四圓九十九錢ヲ同ジ料理屋デヤラス、梯子ヲヤル限リ課稅サレヌノデアリマス、或ハ又應接間ノ「セット」ヲ買ヒマシテモ、今日行ツテ卓子ヲ買ウテ來ル、明日行ツテ椅子ヲ買ツテ來ルナラバ、是ハ合法的ノ脱稅ヲ爲シ得ルノデアリマシテ、斯ウ云フ事例ハザラニアリマス、斯ウ云フコトヲ防グニハ結局納稅ニ對スル義務、或ハ道義心ノ發露ニ俟ツ外ナイノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ立法的ニ中々容易ナコトデアリマセヌケレドモ、豫メ相當ノ御考慮ガアツテ然ルベキダト思フノデアリマスガ、

斯ウ云フ點ニ付キマシテノ御考ガゴザイマシタラ御聽キシタイト思ヒマス
○大矢政府委員 洵ニ御尤ナ御尋デゴザイマス、結局租稅法規ニ如何ニ詳細ナ罰則ヲ規定シ、又稅務ノ執行ニ當リマシテ之ヲ活

タコトガゴザイマスガ、將來モ尙ホ篤ト考究シ、交渉ヲ致シタイト存ジテ居リマス
○藤本委員 私ノ質問ニ對シマシテ、其ノ必要ヲ御認メ下サツテ、今後御調査下サルト云フコトノ御答辯ニ對シテ敬意ヲ表シマス、尙ホ時正ニ非常時デアリマシテ、思想上カラ言ヒマシテモ逋脱ト云フヤウナコトハ以

テノ外デアラウト思ヒマス、ソレヲ未然ニ防止致シマス爲ニ、是非早く其ノ御調査、御立案ヲ願ヒタイト思ヒマス
更ニ最後ニ如何ニ罰則ヲ微ニ入り細ヲ穿ツテ決メマシテモ、是ハ納稅上ノ道義心ニ俟ツ外ナイト思フノデアリマス、今度ノ遊興稅ナドニ付キマシテモ、所謂四圓九十九錢ノ梯子ヲヤレバ是ハ合法的脱稅ニナリマス、斯ウ云ツタ「エキセントリック」な遊ビヲシテ、四圓九十九錢ヲ同ジ料理屋デヤラス、梯子ヲヤル限リ課稅サレヌノデアリマス、或ハ又應接間ノ「セット」ヲ買ヒマシテモ、今日行ツテ卓子ヲ買ウテ來ル、明日行ツテ椅子ヲ買ツテ來ルナラバ、是ハ合法的ノ脱稅ヲ爲シ得ルノデアリマシテ、斯ウ云フ事例ハザラニアリマス、斯ウ云フコトヲ防グニハ結局納稅ニ對スル義務、或ハ道義心ノ發露ニ俟ツ外ナイノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ立法的ニ中々容易ナコトデアリマセヌケレドモ、豫メ相當ノ御考慮ガアツテ然ルベキダト思フノデアリマスガ、

用致シマシテモ、結局一般納税者ニ於キマシテ納税ニ協力スルト云フ所ノ氣持ガナケレバ、到底稅務ノ圓滿ハ庶幾シ得ラレナイト思ヒマス、之ニ付キマシテハ第一ニ稅務當局ト致シマシテハ、法規ノ立法ニ當リマシテモ或ハ課稅ノ實際ニ當リマシテモ、負擔ノ均衡ト云フ點ニ重キヲ置キマシテ

(横川委員長代理退席、委員長著席)

稅務行政ニ對シテ、國民ガ信賴ヲ置クヤウニ自ラ努力シナケレバナラスト存ジマス、一方ニ於テ結局稅收シタモノハ國家ノ歲出トシテ使用サレマスカラ、此ノ歲出ニ於キマシテモ、國民ノ負擔ニ於テ國家ガ徵收シタモノデアルカラ、毫厘ノ小サイモノト雖モ、苟モ濫費ト云フコトハ避ケテ、最モ有效ニ使用スルヤウニ心掛ケナケレバナラスト存ジマス、最近事變下ニナリマシテ納稅成績ガ非常ニ好クナツタト云フコトハ、要スルニ刻下ノ非常時ニ當リマシテ、殊ニ最近數次ノ増稅ハ主トシテ戰費支辨ノ増稅デアアル、國民ハ何事モ差シ措イテ、此ノ戰費ノ負擔ニ應ジナケレバナラスト云フ心構ガ全國民ニ滿チマシテ、進ンデ喜ンデ納稅スルト云フ風ニナツテ居ル、其ノ事ガ非常ナ原因ニナツテ居ルト思ヒマス、隨ヒマシテ將來稅務執行ノ上ニ於キマシテモ又

國家ノ歲出方面ニ於キマシテモ、十分ニ留意致シマシテ、國民ガ納稅ニ對シマシテ納得シテ納稅スル或ハ理想トシテハ喜ンデ納稅スルト云フ域ニ達シナケレバナラスト、其ノ理想ノ下ニ私共ハ徵稅ノ衝ニ當リタイト有ジテ居リマス

○藤本委員 御答辯ヲ戴キマシテ、實ハ私

ノ御尋致シタイト思フ點ノ御答辯ヲ先ニシテ戴キマシテ非常ニ感激致シマスガ、御示シニナリマシタ如ク國民ガ納稅スルト云フコトハ、斯様ナ時局ニ於テハ問題デハナイ、擔稅能力ニ對シテ公正ニ課稅サレルナラバ問題デハナイ、故ニ茲ニ課稅ハ絕對ニ或ハ極力公正デナケレバナラスト云フコト同時ニ、課稅シテ徵收致シマシタ稅ヲ如何ニ有效ニ國家目的ノ爲ニ使フカト云フコトガ更ニ重要デアリマシテ、寧ロ國民ハ其ノ方ニ關心事ガ多イト思ヒマス、其ノ點ニ付キマシテモ今御方策ヲ御示シ下サイマシテ、非常ニ私ハ感謝致シマス、尙ホ此ノ點ハ教育ノ效果ニモ俟ツベキ所ガ多イト思ヒマスカラ、文部當局アタリト御協力願ヒマシテ、通稅ヲ防イデ戴キタイト思ヒマス

次ニ物品稅、消費稅ト云ツタ方面ノ課稅範圍ヲ擴張シ或ハ從前ヨリモ重課シテ居ルノデアリマスガ、其ノ結果轉嫁ガ行ハレル

ダラウト思ヒマス、故ニ増稅サレルト同時ニ増稅サレマシタモノノ公定價格ヲ決定スル必要ガアルト思ヒマスガ、此ノ點如何ニ御取扱ナサル御積リデアリマスカ

○大矢政府委員 此ノ物品稅等ハ結局消費

者ニ於テ負擔スルト云フコトガ目標ニセラレテ居リマス、隨テ此ノ増稅部分ダケハ其ノ物品ノ値段ガ上ルト云フノハ當然ダト存ジマス、唯サウシテ實施前ニ増稅見越デ物ノ値段ヲ引上ゲルト云フコトハ絕對ニ致サセクタイト存ジマシテ、其ノ處置ハ現ニ執ツテ居ル次第デゴザイマス、増稅實施後ニ於キマシテ、増稅分ノ値上リハ當然カト存ジマス、物品稅ノ課稅範圍ニ取入レタ物品ニ付テ總テ公定價格ヲ付スルヤ否ヤト云フコトハ必ずシモ其ノ全部ニ互ツテ致ス必要モアルマイ、物品ニ依ツテ其ノ必要アル物ニ付テ考慮シテ宜カラウデハナイカ、併シ荷モ其ノ物品稅ノ増稅ニ當リマシテ増稅以上ノ値上ラ爲ス、或ハ免稅點以下ノ物ニ付テモ値上ラ爲スト云フコトハ絕對ニ致サセナイヤウニ留意シタイ、是ハ昨年支那事變特別稅法實施ニ當リマシテモ、十分ニ商工省及ビ内務省方面ト連絡ヲ取ツテ其ノ取締モ致シ其ノ結果モ良好デゴザイマシタガ、今年モ是ガ實施ノ時ニ當リマシテ十分ニ留

意シテ遺憾ナキヲ期シタイト存ジテ居リマス

○藤本委員 間接稅ノ轉嫁ヲ頭カラ是認サ

レテ居ルト云フコトハ一ツノ問題ダト思ヒマス、ソレカラ更ニ後半ノ御答辯ニ於キマシテ増稅以上ノ轉嫁ガアリ得ル、私ハ寧ロソコガ非常ニ重大ダト思ヒマス、増稅ヲ奇貨トシテ増稅サレタ額以上ノ轉嫁ヲヤル場合ガアリ得ル、此ノ點ニ付テ御答辯ガアリマシタガ、其ノ點ニ付テ大イニ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、時間モアリマセヌ關係上是レ以上申上ゲマセヌ

次ニ砂糖ノ消費稅ニ付デアリマスガ、砂糖ノ如キ生活必需品、而モ是ハ一ツノ獨占的製品デアリマシテ、益、以テ只今ノ御話ニナツタ轉嫁ガ行ハレ易イノデアリマス、ソレデ轉嫁サレテモ消費者ガ購買能力ヲ持ツ、或ハ生活ノ壓迫ヲ受ケヌト云フナラバ宜イノデアリマスガ、茲ニ問題ハアノ琉球ノ方面デ作ツテ居リマスル黑砂糖ノ増稅デアリマス、黑砂糖ヲ買フ連中ハドウ云フ階級カ具體的ニ全部ハ知リマセヌケレドモ、黑砂糖ニ付キマシテハ、從來百斤一圓二十錢ガ今度一圓七十錢ニナツテ居ルヤウニ記憶シテ居リマス、其ノ他ノモノハ從來三圓三十錢ダツタノガ四圓ニ課稅サレテ居ルト思フノデアリマス、即

チ黒砂糖ニ於キマシテハ百斤ニ五十錢ノ増
加デアリ、其ノ他ニ於キマシテハ百斤ニ付キ
七十錢ノ増加デアリマス、五十錢ノ増稅デ
アルヤウデアリマスガ、併シ「パーセンテ
」ヲ申シマスルナラバ黒砂糖ノ方ハ一
圓二十錢ニ五十錢デアリマスカラ正ニ四二
%ノ増稅ニナリ其ノ他ノ砂糖ニ於キマシテ
ハ三圓三十錢ニ七十錢デアリマスカラ二一
%位ナ割合ニシカナラヌノデアリマス、黒
砂糖ニ對スル増稅ト其ノ他ノ砂糖ニ對スル
増稅トニ於キマシテ左様ナ差異ヲ御認ニナ
ツタ御理由ヲ承リタイノデアリマス

○大矢政府委員 樽入黒糖ニ對スル増稅率
ノ點デ御尋ガゴザイマシタガ、實ハ樽入黒
糖ハ第二種糖中双ト大體價格ガ或ル一定ノ
比例ヲ以テ動イテ來テ居ルノデゴザイマシテ、
過去十數年ノ實績ニ徵シマシテモ大體中双
ニ對シマシテ七割内外ノ價格デズツト動イ
テ來テ居リマス、隨ヒマシテ此ノ爲ニ中双
ニ對シマシテ百斤七十錢ノ増稅ヲ致シマシ
タ、サウストソレダケノ價格ガ騰貴スル
ト致シマスト黒糖ハ七十錢ノ七割程度四十
九錢、大體五十錢程度自然値上リシテ來ル
譯デアリマシテ、隨テ此ノ値上リノ分ダケ
ハ増稅ヲ取ツテモ手許ニ殘ル所ハ増稅前ト
同ジデアル、仍テ中双ニ對シテ七十錢ノ増

徵ヲスルナラバ、黒糖ニ對シテ五十錢ノ増
徵ヲスルノハ適當ダラウト斯ウ存ジタ次第
デゴザイマス

○藤本委員 聞ク所ニ依リマストアノ琉球、
熊本縣ノ南部、斯ウ云ツタ方面ニ黒糖ヲ製
造スル者ガ多イノデアリマスガ、アチラノ
地方的事情ニ依リマシテ、轉嫁ガ行ハレニ
クイヤウデアリマス、轉嫁ガ行ハレニクイ
トスレバ、製造者ノ負擔ニナリマスガ、其
ノ製造者タルヤ非常ニ小資本家デアリマシ
テ、臺灣製糖業者ノ如ク大資本家デアリマ
ス、ソレデ此ノ際何トカ御考ヲ願ヘヌカト
云フヤウナ考モ致シマスガ如何デゴザイマ
スカ

○大矢政府委員 黒糖ニ付テハ轉嫁ガ行ハ
レニクイト云フ御話デゴザイマスケレドモ、
一昨年ノ臨時租稅増徵法、昨年ノ支那事變
特別稅法實施ノ際ノ砂糖ノ増徵ニ於キマシ
テ、増徵ノ程度ハ中双ニ對シテ輕微デアリ
マシタ結果、寧ロ増稅額ヨリモ以上ニ黒糖
ハ騰貴シテ居ルト云フ狀況デアリマシテ、
完全ニ轉嫁ガ行ハレテ居ルト思ヒマス、ソレ
デ沖繩縣ニ於キマシテハ、御承知ノ通り沖
繩製糖ト云フ會社ガアリマシテ分蜜糖ヲ生
産シテ居リマスガ、是ハ黒糖ノ原料ト同一

ノ原料ヲ買ツテ製造ヲシテ居ル、ソレデ黒
糖ノ値段ガ騰貴致スト云フト其ノ經營ガヤ
リニクイヤウニナリマス、中双ガ増稅ノ分
ダケシカ上ラナイノニ黒糖ノ値段ガ増稅以
上ニ上ツタガ爲ニ沖繩製糖ガ非常ニ經營ガ
苦シクナツタ、隨テ或ル程度補助金ト申シ
マスカ助成金マデモ餘計ヤラナケレバナラ
ヌト云フヤウナ工合ニナツテ參ツタノデア
リマシテ、是モ黒糖ガ臨時租稅増徵法ソレ
カラ昨年ノ増稅ノ際ノ増徵以上ニ價格ガ上
ツテ居ルト云フ一ツノ證左ニナルカト存ジ
マス、是等ヲ考慮致シマシテ此ノ度ハ大體
過去十數年ノ實績ニ基キマシテ、中双ニ對
スル増徵額ノ七割程度ヲ黒糖ニ對シテ増徵
スルノハ適當デハナカラウカト斯ウ存ジタ
次第デゴザイマス

○藤本委員 次ニ文房具ノコトヲ御尋致シ
タイト思ヒマス、申スマデモナク我國ノ教
育ハ知育偏重デアリマシテ、隨テ抽象的デ
アリ詰込的デアリマス、之ニ對スル非難ノ聲ハ
朝野ヲ擧ゲテ喧シイモノデアリマシテ、隨テ
之ヲ救済スル方策トシテ、或ハ勞作教育或ハ
作業教育ト云フコトガ唱ヘラレテ居ルノデア
リマス、此ノ勞作教育或ハ作業教育ハ、要ス
ルニ詰込ミマシタ知識ヲ子供ノ體験ニ依ツ
テ或ハ自分ノモノニスル、或ハ發表サス、

或ハ創作ニ便ニスルト云フコトガ目的デア
リマスガ、此ノ際ニ當リマシテ、文房具ト云
フモノハ不可缺ノ要具デアリマス、即チ或
ハ書キ或ハ細工シ、サウシテ自分ノモノニ
スル、又發表スル、更ニソレヲ「グルンド」ト致
シマシテ創作モヤルト云フコトガ甚ダ重要
ナノデアリマス、隨テ文房具ト云フモノハ
教育上ナクテハナラヌ所ノ要具デアリマス、
之ニ課稅ヲシマスレバ、我國現在ノ教育ノ
弊ヲ矯正致シマスル勞作教育ニ付キシマテ
非常ニ支障ヲ與ヘルト云フコトハ見逃セヌ
事實デアリマス、斯様ナ意味カラシマシテ、
文房具ニ課稅サレルト云フコトハ、私共ハ
其ノ聲ヲ聞キマシテ以來非常ニ痛心致シテ
居リマシタガ、幸ニ免稅點ノ點ニ於キマシ
テ相當御考慮下サイマシタカラ、一先ツ安
心致シマシタケレドモ、何トシテモ長期戰
或ハ將來ノ日本ノ立場トシテ、教育殊ニ基
礎教育ト云フコトガ最モ重大デアラウト思
ヒマスノデ、サウ云ツタ意味カラシテ百尺
竿頭一步ヲ進ヌラレマシテ、文房具ナンカ
ニ課稅セヌ方宜カラウ、是位ナモノニ課
稅シテ僅カバカリノ稅額ヲ狙フノデナシ
ニ、モット視野ヲ廣ク持タレマシタナラバ、
稅收ノ多イモノガ幾ラデモアルト思フノデ
ス、デスカラ教育尊重ノ上カラ、殊ニ畏イ

テ相當御考慮下サイマシタカラ、一先ツ安
心致シマシタケレドモ、何トシテモ長期戰
或ハ將來ノ日本ノ立場トシテ、教育殊ニ基
礎教育ト云フコトガ最モ重大デアラウト思
ヒマスノデ、サウ云ツタ意味カラシテ百尺
竿頭一步ヲ進ヌラレマシテ、文房具ナンカ
ニ課稅セヌ方宜カラウ、是位ナモノニ課
稅シテ僅カバカリノ稅額ヲ狙フノデナシ
ニ、モット視野ヲ廣ク持タレマシタナラバ、
稅收ノ多イモノガ幾ラデモアルト思フノデ
ス、デスカラ教育尊重ノ上カラ、殊ニ畏イ

コトデアリマスガ、日露戦争ノ時ニ「軍國多事ノ際ト雖モ、教育ノ事ハ忽ニスヘカラス」ト云フ御沙汰書サヘアルノデアリマス、斯様ナ御趣旨ヲ體シマシテモ、僅カバカリノ稅收ヲ擧ゲル爲ニ、文房具ナンカニ、課ケヌ方ガ宜カラウト私ハ確信致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○大矢政府委員 文房具ニ對スル御意見ガゴザイマシタガ、大體文房具ノ中金「ペン」ノ如キハ價格ニ於テ半分位課稅ニナルト思フノデアリマスガ、其ノ他ノモノハ五%乃至一〇%程度ノ課稅デアリマシテ、一般ニ使用セラレテ居ル狀況カラ見マスルト、相當免稅點ガ此ノ文房具ノ特殊性ニ鑑ミマシテ考慮セラレテ居ル積リデゴザイマシテ、此ノ程度ノ課稅ハ他種ノ物品ニ對スル課稅トノ權衡上已ムラ得ナイコトカト存ジテ居リマス

○藤本委員 免稅點ノコトカラ申シマスレバ、文房具中ノ先ヅ贅澤品トデモ云ヒマスカ、サウ云フモノヲ狙ツテ居ラレコトハ私共モ認メマス、尙又我國ノ文房具ニ於キマシテハ私共ノ子供時代ト違ヒマシテ、大分贅澤ニナツテ居ルト思ヒマス、例ヘバ習字ニ白紙ヲ使フドカ、或ハ是ハ文部省ノ指定標

準デアリマスガ「クレヨン」ノ如キ相當ノ價格デアリマスケレドモ、一年ニ八色、三四年ニ十三色ノ「クレヨン」ヲ使ハシテ居ル、或ハ尋常五年位ニナリマスレバ、相當價格ノ繪具ヲ使ハスト云フコトハ、獨逸ガ今石板ヲ使ツテヤツテ居ル様ナ事實カラ考ヘマスレバ、相當贅澤ナヤウニ思ヒマスケレドモ、併シ「クレヨン」或ハ繪具ト云フモノハ不代替品デアリマシテ、使ハザルヲ得ナイノデアリマス、故ニ使ツテ居ルノデアリマセウガ、此ノ際事變下ニ於キマシテ、課稅ニヨリ成ベク節約シ成ベク安イモノヲ使ハスト云フコトハ必要デアリマスガ、私ハ此ノ際モウ一邊斯ウ云ツタ文房具ニ課稅シテ僅カ位ナ稅收ヲ狙ハナイデモ、他ニ稅源ガアルノダカラ、止メタラ宜カラウト云フコトヲ御伺致シタイ、他ト人權衡上止メラレヌノナラバ致方ナイトシマシテモ、此ノ教育ノ事ナドハ直接生産的デアリマセヌカラ、生活ガ逼迫シテ來タラ、子供ノ文房具ナンカハ買ウテヤラナイデ他ノ方面ノ生活資料ニ廻スト云フコトモアリマスノデ、今後更ニ此ノ課稅範圍ヲ廣メルヤウナ御考ガアリハセヌカ、ドウモ今マデノ傾向ヲ見マスト、次

○藤本委員 ソレナラバ、結構デアリマスガ、アレハ専門家ニ聽イテ見マスルト、一番

率ヲ高メテ行ツテ居ル傾向ガアリマスノデ、

御伺致シマスガ、將來是以上課稅範圍ヲ廣メモシナケレバ免稅點ヲ下ゲモシナイト云フヤウナコトニ付キマシテノ御意見ヲ承リタイノデアリマス

○大矢政府委員 大體文房具ニ付キマシテハ今ノ所此ノ程度ニ致シテ置カウ、直グニ是以上課稅範圍ヲ廣メル、或ハ免稅點ヲ引下ゲヤウト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ

○藤本委員 其ノ前段ニ付キマシテモウ一度御考ヲ聽キタイト思ヒマス

○大矢政府委員 文房具全部ニ對シマシテ物品稅ノ課稅ヲ廢メタラドウカト云フ御尋デゴザイマスルガ、ヤハリ相當贅澤ナ物ガアリマスルカラシテ課稅シタ方ガ宜イ、斯ウ存ジテ居リマス

○藤本委員 御心境ニ變化ノナイコトヲ遺憾ニ存ジマスガ、次ニ運動具ニモ種々種類ガアリマシテ、贅澤ナ「ゴルフ」「ゴルフ」ガ贅澤デアアルカドウカ、私ハヤラスカラ存ジマセヌガ、普通子供ノ弄ブ護謨毬、アレハ一番能率的ニ運動量ノ大ナモノデアリマスガ、アレハ今回ハドウナツテ居リマスカ

運動量ガ多イト云フコトデアリマスカラ、將來モ體位向上ノ見地カラアレハ狙ハヌヤウニ願ヒマス、最後ニ當局ハ統一ノ奢侈稅ヲ創設サレル意思アリヤ否ヤト云フコトヲ御尋シテ置キタイト思ヒマス、此ノ間カラ物品稅或ハ消費稅ニ付テ隨分御議論ヲ伺ヒマシタガ、結局奢侈ト思ハレルヤウナモノニ對シテハ、其ノ押ヘル點ガ低ク、奢侈ト思ハレヌモノモヤハリ奢侈的ナ意味ニ於テ課稅サレテ居ルト云フ點カラ來タ御議論デナイカト私想像致スノデアリマス、若シ茲ニ統一ノ奢侈稅ト云フモノガ出來マスレバ、或ハ果進課稅ノ點ニ於テモ、或ハ免稅點ノ點ニ於テモ、思ヒ切ツテヤレルト思フノデ

ス、隨テ稅額ニ於テモ大イニ期待シ得ルノデスガ、今ソレガナイ故ニ、社會的通念ニ於テ奢侈デナイ、例ヘバ商人ガ旅館ニ泊ルノハ奢侈デナイト思ヒマスガ、斯ウ云フヤウナモノモ奢侈的扱ヲ受ケテ居ル、而モ明瞭ニ奢侈ダト思ハレルコトガ低率ニ取扱ハレテ居ルノデアリマス、隨テ斯ウ云ツタコトヲ救濟致ス爲ニ、統一ノ奢侈稅創設ヲ提唱スルノデアリマス、サウシマスト或ハ遊興飲食稅建築稅、又消費稅或ハ物品稅ト云フモノノ中ニ於テ奢侈的ナ行爲、奢侈的ナ物ヲ適當ニ抑ヘルコトガ出來ルト思フノ

ナ物ヲ適當ニ抑ヘルコトガ出來ルト思フノ

デアリマス、此ノ點ニ付イテ御示ヲ願ヒタ
イト思ヒマス

ノ程度デ先ヅ宜シイノデハナカラウカト存
ジテ居リマス

○大矢政府委員 奢侈税ノコトデゴザイマ

○川崎委員長 只今本會議ガ始マリマスカ

スルガ、統一ノ奢侈税ト云フ御言葉ヲ伺ヒ
マシタガ、各國ノ事例ヲ見マシテモ、結局
奢侈的ノ物品ニ對スル課税、或ハ奢侈的行
爲ニ對スル課税ト云フモノハ、其ノ品物ヲ
指定シ、行爲ヲ指定シテ課税ヲスルト云フ
風デゴザイマシテ、此ノ行キ方ヨリ外ニハ
ナイ、統一ノ仕組ムト致シマシテモ、ヤ
ハリ其ノ行キ方以外ニハナイノデハナカラ
ウカト存ジマス、非常ニ贅澤ナ奢侈的ナ物
ニ對シテ税率ヲ尙ホ強度ニシタラドウカト
云フ御尋モゴザイマシタ、是モ一ツノ考ヘ
方デゴザイマシタガ、世界大戰當時及ビ其
ノ以後ニ於テ行ハレマシタ各國ノ此ノ種ノ
課税ノ税率ヨリ致シマシテモ、今我國ニ於
テ施行シ、又今後施行セントシテ居ル税率
ガサウ安クハナイ、寧ロ幾分高目デハナカ
ラウカト存ジテ居リマス、併シテニ高價品
ニ對シテハ、尙ホ是レ以上増率ノ餘地ガナ
イカドウカト云フコトニ付キマシテハ、是
ハ相當考究ノ餘地ガアルカト存ジマス、大
體一昨年ノ北支事件特別税ニ於テ、特別ノ
品目ノ指定シ、其ノ後昨年、今年ト追加シ
タノデゴザイマシタガ、今日ト致シマシテハ此

於ケル臨時軍事費ノ豫算ノ審議ガ濟ミマシ
タラ、直ヅニ再開致シマス
午後三時三十一分休憩
午後四時十五分開議

○川崎委員長 ソレデハ休憩前ニ引續キ開
會致シマス

○遠家委員 私ハ資料ヲ要求シタイト思ヒ
マス、増税ニ依ル増收ノ見込額、其ノ總計
ト内譯ヲ成ベク細カク、種目別ニ分ケテ御
願シタイト思ヒマス

○藤本委員 先刻統一ノ奢侈税ヲ増設セラ
レル意思アリヤ否ヤト云フ點ニ付キマシテ
御尋致シマシタガ、ソレハ今度御示ニナリ
マシタアノ改正案中ノ消費税或ハ物品税ヲ
拜見シマシテモ、又コレニ御議論ガ色々ア
リマシタガ、ソレヲ拜聽シマシテモ結局奢
侈的行爲ニ思ハレヌモノ、或ハ奢侈品トハ
思ハレヌモノデアリマシテモ奢侈的ノ扱ヒ
ヲ受ケテ居ル、而シテ明瞭ニ奢侈的行爲ダ
ト思ハレ、明瞭ニ奢侈的ノ物品ダト思ハレマ
スルモノニ付キマシテモ、之ヲ捉ヘルニ高
率デハナイ、況ンヤ累進的デナイコトニ於

テヲヤト云フヤウナコトガ考ヘラレマスノ
デ、若シ茲ニ特定ノ行爲或ハ特定ノ品物ヲ是
ハ奢侈的ダト斯ウ云ウ風ニ明確ニシマスル
ナラバ、之ニ對シマシテ風教上或ハ思想的對
策上ノ見地カラシマシテモ、或ハ累進課税
ヲ行ヒ或ハ免税點ヲ設ケルノニモ非常ニ便
利ダ、或ハ税額ノ増加ヲ考ヘマス以上ニ於
キマシテモ、非常ニ便利ダト云フ意味ニ於
キマシテ私申上ゲタノデアリマス、ソレニ
對シ御答辯ヲ得タノデアリマスガ、私ノ考
ヘテ居ルコトト違フノデアリマシテ、今一
應理由ヲ申述べマシテ御當局ノ御意見ヲ承
リタイト思ヒマス

ニ稅收入ニ效果ガナイト云フヤウナモノモ
止メタ次第デゴザイマシテ、隨テ多少ノ理
論的ニ考ヘル場合ト、實際ノ課税トハ幾分
ノ食違ヒガアルト云フコトモ、ソレ等ノ點
カラ生ジテ來テ居ルコトト思ヒマス

○大矢政府委員 物品税ノ課税對象ト致シ

○藤本委員 奢侈品ニ對シマスル課税技術
ノ困難デアルコトハ私モ想像致シマス、第
一奢侈ト云フモノハ非常ニ相對的デアリマ
シテ、其ノ人ノ地位或ハ境遇ト云フヤウナ
コトカラモ考ヘナケレバナルマイカラ、非
常ニ困難デアリマスガ、後ノ御答辯ニ於テ
稅收ノ額ガ餘リ大シタモノデナイト云フコ
トニ付テハ異見ナキヲ得ナイノデアリマス
ト言ヒマスノハ奢侈ヲ斯ウ云フ時局下ニ於
テ抑ヘルト云フコトハ、寧ロ稅額ノ問題デ
ハナクシテ風教上或ハ思想對策上必要ナコ
トダ、サウ云ツタ意味ガ多分ニ含マルベキ
デアアル、斯ウ思ツテ御尋申上ゲタノデアリマ
ス、モウ一應其ノ點ヲ御伺致シテ置キマス

マシテハ奢侈的ノモノハ出來ルダケ網羅ス
ルヤウニ致シマシタ、ソレカラ奢侈的ト云
フノハ多少行過ギカモ知レマセヌガ、此ノ
時局下ニ於テ負擔力アル方面ガ消費スルモ
ノハ或ル程度課税シテモ負擔力ニサウ著シ
ク苛酷ニ向ツテ行カナイデアアラウト云フ
ヤウナ品物ヲ選ンダ次第デアリマス、廣ク
各物品ヲ見マスルト、尙ホ奢侈的ト思ハレ
ルモノデ取入レテナイモノモアリマス、併
シハ課税技術上ニ於テ之ヲ捕捉スルト云
フコトガ困難ナノガ一點デアリマス、モウ
一ツハ其ノ消費量等カラ考ヘマシテ、餘リ

○大矢政府委員 稅額ガ少クトモ思想上風
教上之ヲ課税ノ對象トシテ高率ニ課税シテ宜
イノデハナカラウカト云フ御尋デアリマス、
サウ云フモノモアルヤウデゴザイマス、實
ハ此ノ度モ増稅案ノ内容ガ新聞紙上等ニ公
表セラレルニ至リマシテ、各種ノ此ノ増稅
ニ關スル意見ト云フヤウナモノガ隨分澤山

率デハナイ、況ンヤ累進的デナイコトニ於

テヲヤト云フヤウナコトガ考ヘラレマスノ
デ、若シ茲ニ特定ノ行爲或ハ特定ノ品物ヲ是
ハ奢侈的ダト斯ウ云ウ風ニ明確ニシマスル
ナラバ、之ニ對シマシテ風教上或ハ思想的對
策上ノ見地カラシマシテモ、或ハ累進課税
ヲ行ヒ或ハ免税點ヲ設ケルノニモ非常ニ便
利ダ、或ハ税額ノ増加ヲ考ヘマス以上ニ於
キマシテモ、非常ニ便利ダト云フ意味ニ於
キマシテ私申上ゲタノデアリマス、ソレニ
對シ御答辯ヲ得タノデアリマスガ、私ノ考
ヘテ居ルコトト違フノデアリマシテ、今一
應理由ヲ申述べマシテ御當局ノ御意見ヲ承
リタイト思ヒマス

○大矢政府委員 物品税ノ課税對象ト致シ

○藤本委員 奢侈品ニ對シマスル課税技術
ノ困難デアルコトハ私モ想像致シマス、第
一奢侈ト云フモノハ非常ニ相對的デアリマ
シテ、其ノ人ノ地位或ハ境遇ト云フヤウナ
コトカラモ考ヘナケレバナルマイカラ、非
常ニ困難デアリマスガ、後ノ御答辯ニ於テ
稅收ノ額ガ餘リ大シタモノデナイト云フコ
トニ付テハ異見ナキヲ得ナイノデアリマス
ト言ヒマスノハ奢侈ヲ斯ウ云フ時局下ニ於
テ抑ヘルト云フコトハ、寧ロ稅額ノ問題デ
ハナクシテ風教上或ハ思想對策上必要ナコ
トダ、サウ云ツタ意味ガ多分ニ含マルベキ
デアアル、斯ウ思ツテ御尋申上ゲタノデアリマ
ス、モウ一應其ノ點ヲ御伺致シテ置キマス

手許ニ來テ居リマス、ソレ等ノ中ニモ今御尋ノ御趣旨ノヤウナノガ幾多ゴザイマシタ、併シ是等ニ付キマシテモ、實際課税上非常ニ困難ガ伴フト云フコトガ豫想セラレマシタノデ、見合ハセタモノガ相當ゴザイマス

○藤本委員 此ノ點ニ付キマシテハ是レ以上申述ベマセヌガ、尙ホ色々大藏大臣ニ對シマシテ御尋シタイト思ヒマスガ、只今御見エニナリマセヌカラ其ノ點ヲ保留致シマシテ是デ打切りマス

○川崎委員長 ソレデハ渡邊君、大藏大臣ノ見エマスマデ、政府委員ニ對スル御質問ヲナサイマスガ

○渡邊委員 私ヤラセテ戴キタイト思ヒマス、私ハ大藏大臣ニ今回ノ總テノ増稅ガ負擔ノ衡平ト云フ點カラ非常ニ遺憾ノ點ガアルト云フコトヲ思ツテ居リマス、例ヘバ甲既往年度、乙既往年度ト云フ利得稅ノ附ケ方——利得稅ヲ御附ケニナルコトハ別段異議ヲ持ツテ居リマセヌケレドモ、サウ云フ點ニ付テハ後ニ大藏大臣ニ御尋スルコトニ致シマシテ、資料ニ戴キマシタモノニ付テ私分ラヌノ簡單ニ御尋ヲシテ見タイト思ヒマス、初メ租稅措置法ニ付テ一二御尋致シマス、法案第二十一條關係デアリマスガ

「同條第一項ノ規定ニ依リ左ノ絲ヲ綿又ハ綿絲ト看做スコト」ト云フ條項ノハ全重量百分中五十ヲ超ユル綿又ハステープルファイバト麻トノ混紡絲ト云フノガ、是ハ綿絲ト看做ストナツテ居ルノデゴザイマスガ、撚絲等ニ於テハドウ云フ關係ニナリマスガ、御答ヲ願ヒマス

○大矢政府委員 撚絲デモ色々アルノデアリマスガ、ドウ云フ撚絲デセウカ

○渡邊委員 此ノ「パーセンテージ」ニ入ツテ居ル撚絲デス

○大矢政府委員 今ノ御尋ハ全重量百分中五十ヲ超ユル綿又ハステープルファイバト麻トノ混紡絲之ニ付テノ御尋ノヤウデアリマスガ、綿又ハステープルファイバ「ガ全重量ノ百分ノ五十ヲ超エテ居ル混紡絲デアレバ此ノ中ニ包含致サレマス

○大矢政府委員 左様デゴザイマス

○川崎委員長 藤本君、大藏大臣が見エマシタカラ……

○藤本委員 大藏大臣ニ御尋申上ゲタイト思ヒマス、政府ハ支那事變特別稅法及ビ臨時利得稅法ノ改正ヲ行ヒマシテ、若干ノ増稅ヲ行ヒ、又臨時租稅措置法ノ改正ニ依リマシテ若干ノ減稅等ヲ行フヤウデアリマス

ガ、其ノ目的ノ那邊ニアルカニ付キマシテ大臣ノ御説明ヲ綜合致シマス、大體ニ於キマシテ前者、即チ増稅ニ依リマシテ稅收ノ増加ヲ圖リ、以テ臨時軍事費ノ一部ニ充當スル、更ニ國民ノ購買力ヲ増稅ニ依リマシテ抑ヘマシテ、消費ノ不急不要ノモノヲ抑制或ハ節約セシムル、更ニ物價ノ騰貴ヲ抑ヘマシテ、惡性「インフレ」ノ昂進ヲ阻止致シ、以テ國民生活ノ安定ヲ圖ラレルト云フヤウニ拜承致シタノデアリマス、又後者、即チ減稅等ノ措置ニ依リマシテ、或ハ生産力ノ擴充、或ハ産業ノ振興ニ寄與セシムルト云フヤウナ御尋ノヤウニ拜承致サレタノデアリマスガ、本案ノ提出ノ理由ト致シマシテ、左様ニ諒承致シテ宜シウゴザイマスガ、先ヅ基礎的ニソレヲ御尋致シマス

○石渡國務大臣 大體ニ於テ左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○藤本委員 本案ハ來年度ニ於キマシテ大體一億八千七百萬圓ノ增收デアリマス、其ノ後ニ於キマシテ大體二億ノ稅收内容トナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ稅收額ヲ以テ臨時軍事費ノ一部ヲ負擔スルト致シマスナラバ、戰費ハ公債ニ依存スベシト云フ建前ニ依リマシテモ、十四年度ノ四十六億ノ戰費ヲ負擔スルニ約二億ト云フコトデアリマシテ餘

リニ少クテ、所謂九牛ノ一毛ニ過ギタイト云フ感ガ致スノデアリマス、此ノ點ハ既ニ藏相モ御認メ遊バサレテ居リマスカラ言及致シマセヌガ、唯此處デーツ御尋致シタイト思ヒマスコトハ、戰費ヲ公債デ賄フ、其ノ補完作用トシテ租稅ニ依ルト云フコトハ何人モ異論ハナイノデアリマスガ、一體戰費ニ對シテ公債、租稅ハ如何ナル割合ガ安當デアルカ、殊ニ日本ノ現下ノ經濟狀態、國民ノ所得、富ノ程度ニ於キマシテドノ程度ガ安當デアルカ、日露戰爭ハ大體一億八千餘萬圓ノ戰費ニ對シテ增稅額ハ大體一億三千六百餘萬圓程度ダツタト思ヒマス、即チ約七%ノ增稅ヲヤツテ居リマス、或ハ世界大戰ニ於キマシテ英吉利ハ大體二〇%獨逸ハ大體六%デアリマス、今回ノ我國ノ稅制上ノ御措置ヲ伺ヒマス、日露戰爭ニ較ベテモ弱イ、或ハ世界大戰ナドノ例ニ較ベマシテモ弱イヤウニ思ヒマスガ、藏相ハ一體戰費ニ對シテ增稅ヲ以テ負擔スルノハドレ位ノ程度ガ一番安當デアルト御考ニナルカ、先ヅソレヲ承リタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 今回ノ臨時軍事費ノ豫算ト致シマシテ提出致シマシタルモノハ四十六億圓デゴザイマス、此ノ四十六億圓ノ中公債ニ依ツテ支辨致シマスモノガ三十九億

圖デアリマシテ、其ノ他約七億圓程ノモノハ、實收入ニ依ツテ賄ツテ居ル譯デゴザイマス、此ノ七億圓ノ中稅收入ニ依リマスモノガ五億二千萬圓程ゴザイマス、是ハ昨年ノ三億圓ガ三億五千萬圓ニナリ、更ニ今年ノ増稅ノ一億八千萬圓、其ノ他各特別會計ニ於ケル繰入金又ハ稅ノ收入等ニ依ルモノデアリマス、四十六億圓ノ軍事豫算ノ内譯ト致シマシテハ、三十九億圓ガ公債ニ依リ、大體七億圓ガ實收入ニ依ツテ居ルト云フコトデアリマシテ、今御舉ゲニナツタ數字カラ考ヘマスト、餘程實收入ニ依ツテ居ル部分ガ多イヤウニ思フノデアリマス、サウシテ此ノ軍費ヲ如何ニ稅收入ニ依リ公債ニ依ルカ、是ハ臨時ニ多額ノ經費ガ必要ト相成リマス場合ニ於テ、其ノ財源ノ大部分ヲ公債ニ求メルト云フコトハ、藤本サンモ御異論ノナイ所ト存ズルノデアリマス、サレバ稅收入ハ幾何ヲ適當トスルヤ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、私ノ考デハ出來ルダケ實收入ノ餘計ナ方ガ宜シウゴザイマス、併シ是ハヤハリ其ノ時ノ經濟事情其ノ他諸般ノ事情ヲ考ヘテ行ハナイト、却ツテ惡結果ヲ來ス虞ガアルト思フノデアリマス、御承知ノ通り日清戰役ニ於キマシテハ全部公債ニ依ツテ支辨シタノデゴザイマス、日露戰役ノ際ニ於

キマシテ御承知ノ通り其ノ程度ノモノヲ増稅ニ依ツタ、歐洲大戰ニ於キマシテモ各國區々ノヤウデゴザイマスガ、獨逸ハ最初ノ一二年ハ殆ド全部公債ニ依ツテ居ツタモノデゴザイマシテ、ヤツト増稅ヲ始メマシタノハ千九百十六年カラデアルト存ジテ居リマス、佛蘭西ノ如キハ増稅ヲ始メマシタガ、却ツテ全體ノ稅收入トシテハ減收ヲ來シテ居ツタト云フコトハ御承知ノ通りデアルト存ズルノデアリマス、私ハ稅收入ノ餘計デアル方ガ宜シイト存ジマス、併シ其ノ稅收入ノ歩合ト云フモノハ、是ハ其ノ時ノ各般ノ事情ニ依ツテ考ヘラルベキ問題デアルト存ジマス、今回モ若シ一昨年ノ初ニ於キマスル大増稅ト云フモノ——其ノ當時ニ於テハ大増稅ト言ハレテ居ツタノデアリマスガ、其ノ三億圓餘ノ増稅ガ若シ行ハレナカツタトスルナラバ、今度ノ臨時軍費ノ爲ニモ今少シク増稅ニ依ル收入ガアツタト思フノデアリマスガ、一昨年相當多額ノ増稅ヲ行ツテ居リマスル其ノ後デアリマスルカラ、先ヅ此ノ程度ノ増稅ガ適當デハアルマイカト考ヘテ居ル次第デアリマス

加ハマスレバ、藏相ノ御示ノ通りデアリマス、又佛蘭西ガ世界大戰ニ於テ戰費ヲ全部公債支辨デ賄ツタト云フコトモ御示ニナリマシタガ、ソレハ事情ガ違フノデアリマシテ、佛蘭西ハ最モ重要ナ産業地帯ヲ獨逸ノ爲ニ開戰直後占領サレテシマツテ、稅收ヲ上ゲルニモ上ゲヤウガナカツタノデアリマスカラ、是ハ今ノ例トシテハ如何カト思ヒマス、兎ニ角私ハ今御話ニゴザイマシタヤウニ、租稅ヲ幾ラ徵收スルカト云フコトハ、國民ノ經濟狀態ト云フモノガ最モ重要ナ觀點ニナラナケレバナラヌト思ヒマス、其ノ點カラ私ハモウ少シ課稅シテ稅收ヲ増加シテモ日本ノ現在ノ經濟狀態デハ差支ナイト思フノデアリマス、茲デ其ノ理論ノ根據トシマシテ國民所得ニ對スル租稅及ビ社界負擔ノ比率ヲ一二申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、材料ガ少シ古イノデアリマスガ、私ノ手許ニ不幸ニシテ新シイモノガゴザイマセヌカラ、昭和五年ノ例ヲ引キマ、昭和五年ニ於キマシテ、獨逸ハ國民所得ニ對スル租稅負擔及ビ社會負擔ノ比率ガ二七・四%デアリマス、佛蘭西ハ二二・七%デアリマス、英國ハ二三・五%デアリマス、米國ハ一一・三%デアリマシテ、日本ハ一五・四%デアリマス、ソレカラ昭和十三年即チ昨年

ノ戰時下ニ於ケル我國ノ租稅負擔及ビ社會負擔ノ國民所得ニ對スル比率ハ一六%デアルト思フノデアリマス、歐洲ハ非常ニ危機ガ迫ツテ、準戰時體制下ニアリマスケレドモ、戰爭ハヤツテ居リマセヌ、然ルニ國民ノ租稅竝ニ社會負擔ノ國民所得ニ對スル比率ハ今申上ゲタヤウニ二〇%以上デアリマスガ、日本ハ戰爭ヲヤツテ居ツテ、尙且ツ其ノ比率ハ國民所得ノ一六%デアアル、果シテ是デ宜イノカ、斯ウ云ツタ意味カラ申シマシテ、モウ少シ稅收ノ増加ヲ圖ツテモ、ソレハ、徵稅技術上大ニ考ヘナケレバナリマセヌガ、國民ノ生活ヲ壓迫スルモノデハナイ、故ニ戰費ガ主トシテ公債ニ依存スルノハ、宜シイトシテモ、併シ公債ハ將來ニ義務ヲ貽スモノデアリマスカラ、出來ルコトナラバ研究致シマシテ稅收ノ増加ヲ圖リ、將來ニ國民ノ負擔ヲ貽サスト云フコトガ非常ニ必要ナコトデハナイカト思フノデアリマス、此ノ點、モウ一應御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 藤本サンノ御說デゴザイマスガ、昭和五年當時ニ於キマスル國民所得、是ハ發表シテゴザイマス、其ノ當時ノ國民所得ト、ソレカラ國稅、地方稅ヲ通ジテノ國民ノ負擔ハ斯ウ云フモノモ私ハ研究

致シタコトゴザイマス、今ハツキリ覺エテハ居リマセヌガ、私ノ記憶スル所デハ、佛蘭西ノ負擔ガ一番高イヤウニ覺エテ居ルノデゴザイマス、二三%ニ及ンデ居ツタカト思ヒマス、英吉利ノ負擔ハ一九%、亞米利加ガ一三%、亞米利加ガ一番低クテ、我國ハ一六%位デアツタカト思フノデアリマス、是ハ負擔ノ點モ、專賣益金デアリマス、是ハ負擔ノ納付金デアリマス、各各種實質上ノ租稅負擔ニ相成ルヤウナモノヲ加ヘテ計算シタト覺エテ居ルノデゴザイマス、其ノ當時カラ考ヘマシレバ、昭和五年當時ト今日トニ於テハソレハ國民所得モ増加致シテ居リマセウ、國民所得モ増加シテ居リマスガ、同時ニ此ノ負擔ト云フモノハ、租稅バカリ取リマシテモ昭和七年ト昭和十三年トニ於テハ三倍ニ相成ツテ居ル、國稅ノ課目ノモノモ集計致シマシテモ三倍程ニ相成ツテ居リマス、ソレデ其ノ増加致シマシタ十四億圓ノ中、半分ハ増稅額デゴザイマシテ、其ノ半分ハ自然增收デアルト考ヘテ居ルノデゴザイマス、ソレデゴザイマスノデ、其ノ後ノ増稅率ヲ考慮ニ入レテ考ヘマシレバ、私ハ今日ノ場合歐羅巴戰爭ヲ經由シマシテ相當多額ノ負擔ヲ致シテ居リマスル歐羅巴各國ト我國トノ租稅負

擔ヲ比較致シマシテ、決シテサウ低イ譯合デハナイト思ツテ居ル次第デゴザイマス、併シ私ハ今日ノ場合は以上増稅ヲスル能力ガ乏シイト云フコトヲ申ス譯デハゴザイマセヌ、先ツ今日ノ場合ニ於テ經濟全體カラ考ヘマシテ、此ノ程度ノ増稅ガ適當デハアルマイカ、斯ウ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○藤本委員 現下ノ稅制ニ依リマシレバ、或ハ是以上ノ能力ガ出ヌカモ知レマセヌ、百馬力ノ「エンジン」ニハ百馬力以上ハ出ヌノデアリマセウガ、其ノ事ハ後デ申上ゲマシテ、次ニ増稅ハ「デフレ」的ノ性質ヲ持ツテ居リマス、即チ購買力ヲ奪ヒマスカラ、通貨ノ減少等モ見マセウガ、併シ一面ニ於キマシテハ却テ物價ノ騰貴ヲ招來スルト云フコトハ、看逃セヌ所デアリマス、隨テソレダケ國民大衆ヲ壓迫致シマス、更ニ事變下ニ於キマシテハ特ニ國家ハ非常ナ消費者デアリマスルガ故ニ、莫大ナル物資ヲ要求スル、其ノ生産ヲ急ギマスル爲ニ、又巨大ナル額ヲ急ニ要求致シマス爲ニ、生産ヲ主トシテ大資本家、大企業家ニ委託シテ居リ、又政府モ之ヲ助長シテ居リマス、隨テ富ノ偏在ト云フヤウナコトガ非常ニ多イノデアリマシテ、其ノ結果貧富ノ階級ノ對立或ハ思想ノ惡化ト云フコトガ起リマス、茲ニ増

稅ヲ行ヒマスルナラバ、是ト併行致シマシテ、或ハ之ニ「タイアップ」致シマシテ、戰時經濟政策、或ハ戰時社會政策ヲ行ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、戰時經濟政策ニ付キマシテハ色々御努力下サツテ居ラレコトニ對シマシテ敬意ヲ表シテ居リマスガ、尙ホ益、此ノ點ニ付キマシテ御考慮ヲ煩ハシタイト思フノデアリマス、先ツ御所見ヲ承リマス

○石渡國務大臣 増稅ガ「デフレ」的ノ傾向ヲ持チマスコトハ仰セノ通りデアルト思フノデアリマス、又一面ニ於テ之ニ依ツテ課稅ヲ受ケル物品等ニ付テソレダケ値段段ガ騰貴ヲスル、隨テ一般ノ生活ニ壓迫ヲ感ズル人ガアルノデアリマシテ、此ノ點ハ努メテ大衆生活ノ壓迫ニ向ハナイヤウナ稅目ヲ選ブベキ必要ガアルト思ヒマス、富ノ偏在、思想ノ惡化、斯ウ云フ御所論デゴザイマスルガ、サウ云フコトガ起リ得ルノデゴザイマスルノデ、臨時利得稅、歐羅巴ノ戰爭中ニ考ヘラレマシタ此ノ戰時利得稅ト云フモノモ主トシテサウ云フ方面カラ考ヘラレタト思フノデゴザイマスルガ、一面ニ於キマシテ臨時利得稅、一面ニ於テ物品稅、是ハサウ云フ方面ノコトヲ考ヘマシレバ、此ノ戰時ニ於キマスル

最モ増稅スルニ相應シキ稅金デアアル、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○藤本委員 私ハ先刻モ申シタヤウニ、戰費ノ負擔ヲ租稅ヲ以テモウ少シナルベキデアルト云フコトト、更ニ其ノ方法トシマシテ、課稅ト云フコトガ考ヘラレマスガ、只今藏相ハ其ノ課稅トシマシテ戰時利得稅ト云フ話ガアツタノデアリマス、又富ノ跛行ノ偏在ト云フコトニ付テノ御意見モ承リマシタ、左様ナ御言葉ヲ拜聽致シ、又私ノ考ヲ以テシマシテモ、モウ少シ取レルダラウト存シ、且又刻下ノ長期戰ノ途上ニ於テハ戰時經濟政策、戰時社會政策ヲ徹底ニ行フベキデアルト云フヤウナ見地カラ、モウ少シ此ノ本改正法案ニ付キマシテ御尋シテ見タイト思ヒマス

今ヤ長期戰ニナリマシテ、物資ハ不足ヲ告ゲ、或ハ公債ノ増發ニ依リマシテ非常ニ通貨ノ膨脹ヲ來シテ居ル、隨テ幸ニ全面的デハアリマセヌケレドモ、既ニ或ル方面ニ付キマシテハ非常ナ惡性ノ「インフレ」ガ見舞ウテ居リマス、而モ其ノ情勢ハ次第ニ激化ノ一途ヲ辿ツテ居ルノデアリマス、此ノ際ニ於キマシテ色々意味ノ増稅ヲナサレマシテ購買力ヲ奪フト云フコトハ、時宜ニ適シテ居ルト思ヒマス、併シ政府ガ時局ニ

對處スル必要アツテ増稅ヲナサレト云フナラバ、私ハ事變下ニ於テ購買力ヲ生ジタ其ノ源泉ニ於テ何故御奪ヒナサラヌカ、詰リ言ヒ換ヘマシタナラバ、事變下ニ於テ國民中誰ガ購買力ヲ得タノカト云フコトデアリマスガ、私ノ私見ヲ以テシマスルナラバ、購買力ヲ得タノハ股賑商工業ニ於テ惠マレタモノデアツテ、ソレ以外ノ何人デモナイノデアリマス、ソレ以外ノモノハ其ノ俸給トカ或ハ賃銀トカ或ハ其ノ他ノ收入ノ増加ニ先行シテ、物價ガ騰貴シテ居リマスノデ、却テ購買力ヲ失ウテ居ルノデアリマス、故ニ増稅ノ方法ニ依ツテ購買力ヲ奪フト云フノデアリマスルナラバ、此ノ事變ニ依ツテ購買力ヲ得タ者デナケレバナラス、受益シタ者デナケレバナラス、時局ノ重壓ニ依ツテ購買力ヲ減退セザルヲ得ナカツタモノデアツテハナラヌト思フノデアリマス、然ルニ政府ハ今度ノ物品稅、或ハ消費稅等ノ課稅ノ範圍ヲ擴張シ、或ハ從來ヨリ重課致スコトニ依リマシテ、事變ノ好影響ニ依ツテ購買力ヲ得タモノト、時變ノ重壓ニ依ツテ購買力ヲ失ウタ者トフ同様ニ一律的ニ扱ツテイヤツシヤルト云フコトハ、甚ダ不公平ダト私ハ考ヘルノデアリマス、故ニ先刻申シマシヤウニ購買力ヲ奪

フナラバ、購買力ヲ生ジタ源泉即チ時局産業ニ惠マレテ購買力ヲ得タ法人及ビ個人ニ重課致シ、サウシテ臨時所得ニ依ツテ生ズル所ノ購買力ヲ奪フ、ソレガ必要デアラウト思フノデアリマス、時局下ニ於テ今振ハヌ平和産業或ハ其ノ他中小業者或ハ農村等ニ於キマシテハ非常ニ疲弊困憊致シ其ノ生活ハ飢餓線上ヲ彷徨致シテ居リマス、此ノ窮狀ヲ餘所ニ見テ、非常ニ浪費シテ居ル者ハ時局産業ニ依ツテ惠マレタ者デアリマス、又彼等ヲサウセシメルノハ時局ノ好影響ニ依リマシテ購買力ヲ増シタ者デアリマス、然ルニ之ヲ政府ハ捉ヘルノニ、僅ニ法人ニ於テハ百分ノ四十、個人ニ於テハ百分ノ二十五デアリマス、故ニ其ノ多クノ他ノ部分ハ股賑商工業者ノ所得ヲ増シ購買力ヲ増シテ、遂ニ浪費トナリ、物價ヲ高メ、或ハ惡性「インフレ」ニ拍車ヲ掛ケテ居ルノデアリマス、今ヤ國民中不平等ノ聲ガアルトスレバ、或ハ怨嗟ノ聲ガアルト云フナラバ、斯ウ云フ者ニ對シテデアリマス、故ニ政府ハ國民ノ購買力ヲ奪フナラバ斯ウ云フモノニ對シテ重課スルコトガ必要デアラウト思フ、或ハ又時局産業ニ依ツテ惠マレタ者、惠マレザル者トフ同様ニ一律的ニ扱フト云フコトハ以テノ外ダト考ヘマス、併シ私ト雖モ此

ノ事變下ニ於キマシテ生産力ノ擴充或ハ産業ノ振興ニ對シマシテ、産業人ガ非常ニ貢獻シテ居ルコトハ認め、之ニ對シテ敬意ヲ表シマス、且又如何ニ戰時體制下ニアリマシテモ、凡ソ企業ニハ相當ノ利潤ヲ保障シナケレバナラスコトヲ認メル點ニ於テモ吝デハナク、人後ニモ亦落チル者デアリマセヌ、併ノ事變ノ好影響ニ依ツテ、惠マレタ者ノ臨時所得ニ對スル課稅ガ百分ノ四十デアツテ宜イカドウカ、私ハ疑ナキヲ得ナイ、世間ニハ課稅ヲスレバ企業心ガ萎靡シテ結局戰時體制下ノ焦眉ノ急アル生産力ノ擴充ヲ妨ゲルト云フ御議論ガアリ、或ハ角ヲ矯メテ牛ヲ殺ストナ云フ御議論モアリマスガ、世界大戰ノ際ニ於キマシテ、獨逸ガ千九百十六年ト記憶致シマスガ、所謂超過所得稅ヲ設ケテ、戰爭ニ依ル所得ノ五割ヲ抑ヘテ居リマス、或ハ英吉利ニ於キマシテモ千九百十五年ニ此ノ稅ヲ設ケテ、千九百十五年ニ五〇%、十六年ニ六〇%、十七年ニ八〇%ニナツテ居リマス、先般藏相ハ之ヲ御引例ニナリマシタガ、御引例ノ如ク又四〇%ニ減ジマシタガ、千九百二十年ニハ六〇%ニ復活致シテ居リマス、此ノ間藏相ハ都合ガ惡クテ四〇%ニ減ラシタト仰セラレマシタガ、其ノ都合ガ惡イト云フコトハ、

企業者ノ利潤ガ其ノ爲ニ減ツタト云フコトガ其ノ都合デアツテハナラヌ、換言スレバ其ノ都合ハト生産力擴充或ハ産業ノ振興ニ支障ヲ來スカドウカト云フコトニ依ツテ考ヘナケレバナリマセヌガ、當時ノ英吉利ニ於テハ八〇%、六〇%ノ課稅ヲ致シテモ産業ノ振興ヲ妨ゲテ居ラスノデアリマス、御存ジノ通り、軍需民需ヲ大體自給自足ヲ致シ、更ニ聯合國ノ佛蘭西、伊太利、白耳義、或ハ露西亞ニ於テサヘモヤツテ居ル、此ノ事ハ臨時利得稅ト所得稅ノ合計ガ英吉利ノ全收入ノ五七%ニ當ツタト云フ事實、或ハ所得ニシマシテモ千九百十八年ノ如キハ千九百十三年ノ六倍ニナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ事實ヲ以テシテモ、課稅ニ依ツテ産業ガ萎靡致シ、或ハ生産力ノ擴充ニ支障ヲ來シタトハ思ヘヌ、獨逸ニ於テモ亦サウデアリマス、故ニ日本ノ如キ國民性ヲ持チ、即チ減私奉公ノ精神ヲ持ツタ國民ガ今ヤ乾坤一擲、振古未會有ノ國難ニ際會シテ居ルノデアリマスカラ、モウ少シ課稅ヲ致シテモ、殊ニ股賑商工業ニ依ツテ惠レタ者ノ臨時所得ニ對シテモウ少シ抑ヘテモ、決シテ産業ノ不振トカ、生産力ノ擴充ニ支障ヲ及ボスヤウナコトハナイト確信致スノデアリマス、而モ尙ホ藏相ハ百分ノ四十ト言ハレルガ、之

ニ付キマシテ御尋ヲ致サザルヲ得ナイノデアリマス、即チ是レ以上課税スレバ現下ニ於テ最モ焦眉ノ急デアル生産力ノ擴充ニ支障ヲ來スノデアルカドウカト云フコトニ對シテ御伺ヒ致シマス

○石渡國務大臣 臨時利得稅ヲ今日ノ殷賑

産業等ノ狀態カラ考ヘテ、百分ノ四十ノ稅率デハ低過ギルノデアアルマイカ、斯ウ云フ御尋デアルト思フノデアリマス、是ハ各國ニ於ケル稅ノ各種ノ負擔ヲ考ヘザルヲ得ナイト思フノデアリマス、ソレデ亞米利加ノ戰時利得稅ハ今日我國ノ超過所得稅ト臨時利得稅トノ合體致シタヤウナモノデアリマシテ、本體ハ超過所得稅デアリマス、本來我國ノ普段カラ施行シテ居リマシタ超過所得稅ハ、是ハ一種ノ戰時利得稅トモ見ラルベキ稅デゴザイマス、是ハ普段平時ニ於テ斯ウ云フヤウナ稅金ヲ施行スル必要ガアルカナイカト云フコトニハ、相當議論ガゴザイマシテ、是ハ廢メタ方ガ宜カラウ、普段ノ場合ニハ廢メタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フヤウナ說ノアル位ノ稅金デゴザイマス、ソレデ少クトモ此ノ臨時利得稅ヲ考ヘマス場合ニハ、超過所得稅ト併セテ考ヘル必要ガアルト思フノデアリマス、是ハ増稅ヲ其ノ後行ツテ居リマスノデ、最低稅率百分

ノ四・四、最高稅率百分ノ二十二、其ノ他此ノ分ニハ附加稅モ掛ツテ居リマスノデ、三割以上儲ケノアル會社ハ其ノ三割以上ノ部分ニ付テ六〇%以上七〇%近イ課稅ヲ受ケルコトニ相成ルト思フノデアリマス、是等ノ點モ餘程此ノ臨時利得稅ノ賦課ニ付テハ考ヘザルヲ得ナイト思フノデアリマス、又今日多少儲ケノ率ノ多イ會社ニ付テ其ノ稅負擔ヲ計算致シテ見マスト、其ノ實績ニ於テ百分ノ四十五位ノ負擔ヲ致シテ居ル會社ガ相當ゴザイマス、是等ニ對シテ臨時利得稅ノ方デモウ百分ノ十負擔ガ殖エルト、ソレハ百分ノ五十五乃至六十ニモ上ラウト云フ負擔ニ相成ツテ來ルト思フデアリマス、殊ニ法人ノ稅率ガ餘リ高過ギルト云フコトノ一例ト致シマシテハ、十五萬圓ノ儲ケノアツタ會社ガ十三萬五千圓稅金ヲ拂ツタト云フ實例モアルノデアリマシテ、是等ニ付テハ今日却ツテソレ相當ナ救済ノ途ヲ法律ヲ以テ講ジテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、斯ウ云フヤウナコトカラ考ヘマシテ、私ハ我國ノ法人ノ稅率ハ既ニ相當高度ニ行ツテ居ルト考ヘマスノデ、今日ノ仕組ノ下ニ是以上ノ増稅ヲ致スコトハ如何カ、斯ウ考ヘ

○藤本委員 色々御說明ヲ戴キマシタガ、

問題ハ是以上課稅スレバ生産力擴充ニ支障ヲ來スカ、或ハ來サザルカニアルト思フノデアリマスガ、世間ニハ是以上ノ課稅ハ支障ヲ來ス、詰リ企業心ノ萎靡ヲ生ジテ生産擴充ニ協力シナイ、所謂消極的態度ヲ執ル様ニナルグラウト云フ御說モアリマス、併シソレハ一種ノ杞憂カモ知レマセヌガ、假ニサウ云フ場合ガ萬一ニモアルトスレバ、又茲ニ自ラ方法ガアラウト思フノデス、所謂暴

致シテ居ル部分ニ課稅スルニ付テハ、是ハ相當思切ツタ課稅ヲシテモ宜シト存ズルノデアリマス、是ガ又餘リニ度ガ過ギマスルト、餘程是ハ考究ヲ要スル點ガアルノデアリナイカト存ジマス、英吉利ノ生産擴充トノ問題デゴザイマス、生産擴充ガ其ノ爲ニ多少妨ゲラレマシテモ、或ル程度ノ負擔ト云フモノハシテ行カケレバナラヌト思フノデアリマスガ、「デモクヲチツク」ナ「ソシアリスチック」ナ考ヘ方カラ、今日普段ノ産業ガ衰亡ノ域ニ向ヒツツアルノハ、負擔ガ餘リ重過ギル、一ツハサウ云フヤウナ稅制ノ爲ダ、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ル者モアルノデアリマシテ、是等ノ點モ他山ノ石トシテ將來モ餘程考ヘル必要ガアルト存ジテ居リマス

○石渡國務大臣 稅ガ高過ギテ、サウシテ

生産力ニ協力シナイ者ノアツタ場合ニハ、暴利取締法其ノ他類似ノ法律ニ依ツテ強制ヲスル途ガアルデハナイカト云フ御尋ノヤウニ思ヒマスガ、私ハ稅ガ高過ギテ協力シナイ者ガアルトハ申シマセヌ、唯ソレガ餘リニ高過ギルト云フコトデアレバ、勢ヒ産業ノ成長ヲ妨ゲル虞ガアル、斯ウ申スノデアリマシテ、其ノ爲ニヤラナイ人ガアル、其ノ者ヲドウシテヤラセルカ、斯ウ云フコ

利取締法デアリマスガ、暴利ヲ得ル目的デ賣惜ミヲスルトカ或ハ買占ヲスルト云フ場合ニハ處罰サレマス、體刑ヲ以テ臨マレテ居ルノデアリマス、併シ多クノ利潤ヲ得ナイカラ、此ノ國家ノ急務トスル生産力擴充ニ協力シナイト云フヤウニナルナラバ、ソコニ、一方ハ暴利ヲ得ル目的デ賣ラナイ、一方ハ暴利ヲ得ナイカラヤラヌト云フ積極、消極ノ區別ハアルカモ知レマセヌガ、反社會的情狀ニ於テハ紙一重ノ差モナイノデアリマス、暴利ヲ得ル目的ヲ以テ賣惜ミヲスルナラ處罰サレル、多數ノ利潤ヲ得ラレナイカラ、産業ノ振興或ハ生産力ノ擴充ニ協力シナイト云フモノハナイデアアラウト思ヒマスガ、若シアルナラソレハ自ラ適切ナ方法ガアラウト思ヒマスガ、如何デスカ

○藤本委員 色々御說明ヲ戴キマシタガ、

問題ハ是以上課稅スレバ生産力擴充ニ支障ヲ來スカ、或ハ來サザルカニアルト思フノデアリマスガ、世間ニハ是以上ノ課稅ハ支障ヲ來ス、詰リ企業心ノ萎靡ヲ生ジテ生産擴充ニ協力シナイ、所謂消極的態度ヲ執ル様ニナルグラウト云フ御說モアリマス、併シソレハ一種ノ杞憂カモ知レマセヌガ、假ニサウ云フ場合ガ萬一ニモアルトスレバ、又茲ニ自ラ方法ガアラウト思フノデス、所謂暴

トニ付テノ研究ヲ申上ゲテ居ル譯デハナイ
ノデアリマス、併シココハ餘程ムヅカシイ
所デアリマシテ、斯ウ云フ非常時局ニ於テ、
總テノモノカラ營利ノ觀念ヲ去レト云フコ
トハ、今日ノ人類ニハ逆テモ企テ及ビ難イ
コトデアルト思フノデアリマシテ、結局國
家ノ利益ヲ先ニシテ個人ノ利益ヲ後ニスル、
斯ウ云フ觀念カラ總テ今日ノヤウナ時節ニ
於テハ考ヘルコトヲ至當ト認メ、此ノ問
題デアルト思フノデアリマス、此ノ觀點カ
ラ致シマシテ税金ヲ納メテ仕事ヲ進メテ行
ク、ソレガ餘リ税金ガ重過ギテ幾ラカソレ
ノ妨ゲニナツテ行クデアラウ、斯ウ云フコ
トハヤハリ心理狀況トシマシテモ相當考ヘ
テ行ク必要ノアル問題デハナイカト思ツテ
居リマス、何モヤラナイカラト云ツテ、之
ニ對シテ罰則ヲ以テ産業ニ從事セシメルト
云フコトハ、實際問題トシテモ餘程困難ナ
問題デアルト存ジマス

テ、此ノ臨時利得ニハモウ少シ課ケル餘地
ガアルノデハナイカト云フダケノ問題デア
リマス、ト云フノハ戰時ニ於テハ故ラ軍需
民需ノ物價騰貴ガ、其ノ賃銀トカ俸給ノ騰
貴ニ先行シテ行ハレマスカラ、ソコニ利潤
ガ溜マル可能性ガアリマス、更ニ此ノ戰時
利得ハ企業家ノ手腕力量ダケノ賜モノデハ
ナイ、固ヨリ企業家ノ力量手腕ト云フコト
ハ大イニ與ツテ關係ガアリマスケレドモ、
ソレダケデハナイ、時局ノ影響タル多數ノ
犠牲者ノ賜モノデモアルノデアリマスカラ、
其ノ所得ヲ出來ルダケ國家ノ爲ニ有用ニ使
ツテ戴クト云フヤウナ考ヘ方ヲ致スノガ宜
イノデハナイカト思フカラデアリマス、決
シテ企業家ノ利潤ヲ全部奪ハウ、或ハ協力
シナケレバ罰スルト云フノデハ斷ジテアリ
マセヌ、モウ一度御考ヲ承リタイト存ジマ
ス

セント「ラ越エルト存ジマス、モウ十「パー
セント」増セバ百「パーセント」ヲ越エテ
シマヒマス、斯ウ云フヤウナ各種ノ税金ノ
コトヲ考ヘテ見マスト、今日ノ場合はレ以
上ノ臨時利得稅ニ増率ヲ加ヘルコトハ實行
問題トシテハ困難デハナイカト存ジテ居リ
マス

○藤本委員 只今ノ御示シハ私モ存ジテ居
リマスガ、然ラバ東京邊リヲ中心ト致シマ
シテ、非常ナ國民ノ指彈ニ値スル浪費ガア
リマサガ、其ノ浪費ヲスル金ハ何處カラ出
ルカ、恐ラク此ノ殷賑商工業ニ依ツテ購買
力ヲ生ジタ爲メデハナカラウカ、ソレガ浪
費ノ原因ニナツテ居ルノデハナカラウカ、
斯ウ私ハ考ヘルノデアリマス、ソコデ御尋
シタイノデアリマサガ、若シ此ノ際ニサウ
云ツク方面ヲ出來ルダケ抑ヘナカツタナラ
バ、他ニ色々ノ憂慮スベキコトガ生ズルノ
デハナイカ、先ズ第一ニ社會思想問題デア
リマス、此ノ浪費ニ對シマシテハ、其ノ具
體的事實ヲ擧ゲマセヌデモ甚ダハツキリシ
テ居リマス、今ヤ大多數ノ國民ハソレニ對
シ非常ニ怨嗟モアレバ不平モアルノデアリ
マス、更ニ又今後ノ我國ノ立場ヲ考ヘマス
ナラバ、長期戰克服ニハ尙相當資金ヲ要シ
マス、或ハ長期建設ニハ尙更デアリマス、

或ハ東西相迫ル國防競争ニ付キマシテモ、
日本ガ安全感ヲ得ル爲ニハ相當巨額ナル國
防費ヲ考ヘナケレバナリマセヌ、斯ウ云フ
コトヲ考ヘマスト、臨時軍事費、或ハ今ノ
財政狀態、是ハ臨時的デナク恒久的ニナリ
マセウ、故ニ益、以テ公債ノ發行モ累増シマ
セウ、隨テ將來ノ負擔ヲ益、増加セシメル
ノデアリマセウ、左様ナ意味カラシマシテ、
少シデモ將來ノ負擔ヲ輕クスル爲ニ、増稅
スル必要ガアルノダト云フ意味ヲ申上ゲタ
ノデアリマス、更ニ又十四年度ノ公債費ハ
七億六千萬圓ニナツテ居リマス、今年ノ公
債ガ假ニ六十億トシマシテモ、約二億ノ公
債費カ要リマス、或ハ恩給年金二億二千萬
圓デアリマシテ、ザツト我國ノ經常收入ノ
約半分位ハ斯ウ云ツク義務費デ終ツテシマ
フノデアリマス、斯ウ云フコトヲ考ヘマス
レバ、洵ニ寒心ニ堪ヘナイノデアリマスカ
ラ、此ノ際ハ現行ノ稅制其ノモノノ持ツ缺
陥カラ無理カモ知レマセヌケレドモ、出來
ルダケ廣ク稅源ヲ押ヘル、或ハ社會的ニ考
慮シナケレバナラヌ稅源ガアルナラバ、
目ヲ瞑ツテソレニ重課シテ稅ノ増額ヲ圖ル
コトガ必要デハナイカト考ヘルノデアリ
マス、更ニ又公債ニ戰費ヲ依存シマスタラ
バ、ドツチ途「インフレ」ハ已ムヲ得ナイノ

○石渡國務大臣 實際問題ト致シマシテ最
高稅率等ノコトヲ考ヘマスト、今日ノ此ノ
臨時所得稅ヲ是レ以上引上ゲマスコトハ中
中困難デアルト存ジマス、ト申シマスノハ
今日ノ稅法ニ於キマシテ既ニ最高稅率ノ適
用ヲ受ケルモノニ付テハ八十「パーセント」
ヲ越エテ居リマス、今回ソレニ對シテ十「パ
ーセント」増スノデアリマスカラ、九十「パ

○藤本委員 只今ノ御示シハ私モ存ジテ居
リマスガ、然ラバ東京邊リヲ中心ト致シマ
シテ、非常ナ國民ノ指彈ニ値スル浪費ガア
リマサガ、其ノ浪費ヲスル金ハ何處カラ出
ルカ、恐ラク此ノ殷賑商工業ニ依ツテ購買
力ヲ生ジタ爲メデハナカラウカ、ソレガ浪
費ノ原因ニナツテ居ルノデハナカラウカ、
斯ウ私ハ考ヘルノデアリマス、ソコデ御尋
シタイノデアリマサガ、若シ此ノ際ニサウ
云ツク方面ヲ出來ルダケ抑ヘナカツタナラ
バ、他ニ色々ノ憂慮スベキコトガ生ズルノ
デハナイカ、先ズ第一ニ社會思想問題デア
リマス、此ノ浪費ニ對シマシテハ、其ノ具
體的事實ヲ擧ゲマセヌデモ甚ダハツキリシ
テ居リマス、今ヤ大多數ノ國民ハソレニ對
シ非常ニ怨嗟モアレバ不平モアルノデアリ
マス、更ニ又今後ノ我國ノ立場ヲ考ヘマス
ナラバ、長期戰克服ニハ尙相當資金ヲ要シ
マス、或ハ長期建設ニハ尙更デアリマス、

○藤本委員 只今ノ御示シハ私モ存ジテ居
リマスガ、然ラバ東京邊リヲ中心ト致シマ
シテ、非常ナ國民ノ指彈ニ値スル浪費ガア
リマサガ、其ノ浪費ヲスル金ハ何處カラ出
ルカ、恐ラク此ノ殷賑商工業ニ依ツテ購買
力ヲ生ジタ爲メデハナカラウカ、ソレガ浪
費ノ原因ニナツテ居ルノデハナカラウカ、
斯ウ私ハ考ヘルノデアリマス、ソコデ御尋
シタイノデアリマサガ、若シ此ノ際ニサウ
云ツク方面ヲ出來ルダケ抑ヘナカツタナラ
バ、他ニ色々ノ憂慮スベキコトガ生ズルノ
デハナイカ、先ズ第一ニ社會思想問題デア
リマス、此ノ浪費ニ對シマシテハ、其ノ具
體的事實ヲ擧ゲマセヌデモ甚ダハツキリシ
テ居リマス、今ヤ大多數ノ國民ハソレニ對
シ非常ニ怨嗟モアレバ不平モアルノデアリ
マス、更ニ又今後ノ我國ノ立場ヲ考ヘマス
ナラバ、長期戰克服ニハ尙相當資金ヲ要シ
マス、或ハ長期建設ニハ尙更デアリマス、

デアリマス、ソコデ貨幣價值ノ下落シタダケ、ソレダケ私ハ最モ必要ナ公債ノ實質上ノ破棄ニナルコトヲ憂フルノデアリマス、私ハ露西亞ノ如キ道義ノ没シタ國ノ公債ノ名實共ニ破棄、ソレハ宜イカモ知レマセヌ、敗戰國獨逸ノ實質的破棄モ亦已ムヲ得ナイカモ知レマセヌガ、道義日本ノ國家ニ於テ、公債ガソノ事實上ノ破棄ニナルヤウナコトニデモ相成ツタナラバ大變ダト思フ、固ヨリ私ハ日本ニ於テハ獨逸ニ於ケル「インフレ」ミタイナコトハ斷ジテ考ヘマセヌ、政治ガ經濟ヲ指導シテ居リマス關係上、或ハ國民ノ生活必需品ハ造レバ出來ルト云ツタヤウナ關係上、サウ云ツタヤウナ筈棒ナ「インフレ」ハ考ヘマセヌケレドモ、或ル程度ノ「インフレ」ハ免レヌノデアリマス、其ノ程度ニ通貨ノ價值ノ下落、其ノ程度ニ公債ノ事實上ノ破棄ニナル、又公債ガ非常ニ多額ニナリマシタナラバ、國民ハ不安ヲ生ジマス、事實上ノ破棄ニナレバ尙更デアリマス、斯ウ云フ意味カラシテ出來ルダケ公債ヲ少クスル、爲メニ出來ルダケ租稅デ以テ補充シテ行クト云フコトガ必要デアラウト云フコトヲ考ヘマシテ、御尋致シタ譯デアリマス、モウ一度御答辯ヲ願ヒタウゴザイマス

○石渡國務大臣 戰費ヲ出來ルダケ租稅ヲ以テ負擔シ、サウシテ出來ルダケ公債ヲ少クシテ行ク、斯ウ云フコトニ付キマシテハ全ク御同感デゴザイマス、出來ルダケサウ云フコトニ骨ヲ折ル必要ガアルト存ジテ居ルノデゴザイマス、唯先般モ此ノ委員會ニ於キマシテ、サウ云フ御意見ガゴザイマシタガ、詰リ國家ハ増收ヲ圖ルノデアツテ、増率ヲ圖ルノデハナイ、ソレハ其ノ通りデアルト私モ御答辯致シタノデゴザイマスガ、率ヲ増スコトニ依ツテ増收ヲ圖ルト云フコトモ一ツノ行キ方デアリマスガ、同時ニ一般ノ經濟ヲ養ツテ之ヲ大キクシテ、サウシテ率ハ上ラナイガ收入ハ増加シテ來ル、之ヲ圖ル必要ガ更ニヨリ以上アルト存ズルノデアリマス、是ハ一面ニ於テハ人口ノ増加、一面ニ於テハ産業資源ノ開發、此ノ二ツノコトガヤハリ大キナ原因デアルト思フノデアリマス、一千万人ノ人ガ五十圓ノ負擔ヲシテ居ツタ、其ノ人口ガ一億人ニ相成ルノデアレバ、結局一人當リ五十圓ノ負擔ガ五圓ノ負擔ニ相成ツテシマフ、斯ウ云フ譯デゴザイマスノデ、一面ニ於テハ人口ガ増加ヲスル、一面ニ於テハ資源ガ開發サレテ行ク、此ノ兩方面カラ致シマシテ、自然知ラズ識ラズノ間ニ國民負擔ト云フモノガサウ増加ヲ

シナイデアリナガラ、多額ノ國費ノ負擔ヲシテ行クコトガ出來ル、斯ウ云フコトニ相成ルト云フコトガ、最モ希望スル所デアルト思フノデアリマス、又明治ノ初メ以來、日清日露ノ戰役ヲ經過致シマシテ、今日マデ來テ居リマスル所ノ狀況ヲ考ヘマシレバ、今日ノ稅收入ト云フモノハ、是ハ租稅ノ増率ニ依ルヨリモ増收、資源ノ發展、人口ノ増加、其ノ他各般ノ理由カラ致シマシテ、國ガ大キクナツテ來マスコトニ依ツテ賄ツタ金ノ方ガ餘程多額デアルノデゴザイマシテ、私ハ今御説ノ通り、稅收入ヲ増加スルコトニハ全ク御同感デゴザイマスガ、此ノ道ノ求メ方ハ一面ニ於テハ増率、一面ニ於テハ自然増收ニ求メタイト思フテ居ルノデゴザイマス、事ヲ急グニ急ニシテ増率ヲシマシテ、却テ資源ノ開發、經濟ノ發達ヲ妨ゲルト云フコトハ致シタクナイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○藤本委員 稅率ノ増加ヲ致サズニ稅收ヲ擧ゲル、ソレハ洵ニ御同感デアリマスガ、併シ負擔ノ公平ト云フコトハ、稅率ノ問題ニ歸著スルト思フノデアリマシテ、其ノ點モ御配慮ヲ願ヘレバ結構デアリマス、其ノ點ニ付テ「アカデミック」ナコトヲ申シテ失禮デスガ、課稅ハ徵收サレル貨物限界效用ガ等シクナツタラ公平ダト思フノデアリマスガ、私ハ今此ノ増稅案ヲ見マス、サウ云ツタ境地ニナイト思フノデアリマス、或ル者ハモウ限界效用ナンカ通り越シテ浪費シ、或ル者ハ限界效用ニ達セナクテ、足りヌモノヲ出シテ居ルト云フコトガ今日ノ狀況デナイカト思ヒマス、デスカラ稅ヲ増收ヲ圖ルト云フコトハ非常ニ結構デアリマスガ、又負擔ノ公正或ハ限界效用ニ等シク達スルマデト云フヤウナコトモ、考ヘラレルノデアリマス、サウ云ツタ點カラ御配慮下サレバ結構デアリマス、此ノコトニ對シテハ是レ以上申シマセヌ

第二ニ財政ガ國民經濟生活ニ依存スルト云フコトハ申上ゲルマデモアリマセヌ、故ニ財ノ強制獲得ヲ骨子トシマスル財政行爲ガ、國民ノ經濟生活ノ所産デアアル國民ノ富及ビ所得ヲ狙フコトモ固ヨリデアリマス、併シソレダケデハ足ラヌ、現實ノ富、所得ダケナラ、蝸ガ足ヲ喰ツテ食慾ヲ満足スルヤウナ結果ニナリマスカラ、財政殊ニ戰時財政ニ於キマシテハ、現實ノ國民ノ富及ビ所得ヲ合理的ニ、效果的ニ活用シマシテ、明日ニ於ケル富及ビ所得ノ増加ヲ致シ、而シテ此ノ増加ニ依存シナケレバナラヌト思フノデアリマス、其ノ意味カラ申シマシテ、

茲ニ國稅自體ノ改革、中央地方ニ通ズル稅制ノ改革、或ハ行政機構ノ改革、或ハ經濟動員ガ必要デアラウト思ヒマス、即チ産業ノ平時經濟機構ヲ、戰時經濟機構ニ再編成スルト云フコトガ必要デアリマス、ト申シマスノハ、卵ヲ得ル爲ニハ雞ヲ大切ニシナケレバナラヌ、或ハ國民ノ生活ノ安定ニシマシテモ、或ハ貯蓄ニシマシテモ、公債ノ消化ニシマシテモ、總テ此ノ國民ノ經濟機構ガ妥當ナリヤ否ヤト云フコトニ依存シマスノデ、此ノ點ガ必要デアラウト思フノデアリマス、先ヅ稅制ノ、殊ニ國稅自體ノ改革、中央地方ニ通ズル稅制ノ改革、是ハ色々御意見ガアリマシタシ、又適切ナル御質疑、御答辯ガアリマシタカラ、私ハ餘リ申シタクハアリマセヌ、又詳細ナコトハ今ヨリモ、來ルベキ議會ノ方ガ適當ダト思ヒマスノデ差控ヘマセガ、併シ此ノ稅革ハ國民ニ對シマシテ、非常ニ重大ナ關係ヲ持チマスカラ、豫メ國民ニ心構ヘラサス、サウシテ新ニ出來マシタラ、ソレニ協力サスト云フ意味ニ於キマシテ、少々「イデオロギッシュ」ニナルカモ知レマセヌガ、一三御尋シテ見タイト思フノデアリマス

先ヅ第一ニ何時稅革ヲ行フカト云フコトハ、既ニ御答ニナツテ居リマスカラ宜イトシテ、次ニ原則ヲ御示シニナツテ

居リマス、其ノ原則ニ付キ御尋ネ致ス前ニ、今マデノ稅法ノ一ツノ原理トシマシテ、入ルヲ量ツテ出ルヲ制スト云フコトガ重要視サレテ居リマシタガ、今ノ時代ニ於テハサウデナイト思フノデス、出ルヲ量ツテ入ルモ量ルト云フヤウナ時期デアラウト思フノデアリマシテ、決シテ支出、經費ト云フコトヲ澁ツテハナラヌト云フ風ナ必要ガアルト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ意味カラ今後ノ日本ノ財政ハドレ位出ルノカ、我國ノ現在ノ立場トシマシテ、將來ドレ位出シタラ宜イノカト云フ見透シガ必要デアリマス、是ハ非常ニ難カシイノデアリマスガ、此ノ見透シガ付カナケレバ財政計畫モ立タヌシ、其ノ一環デアアル年度ノ財政政策モ立タヌト思フノデアリマス、大體見透シハ難カシイコトダケレドモ、御示シテ願ヒタイノデアリマス

○石渡國務大臣 第一時ノ平時經濟カラ戰時經濟ニ移行致シツツアル、斯ウ云フ御尋デゴザイマスガ、平時ノ經濟組織カラ戰時ト云ヒマスカ、非常時ト云ヒマスカ、其ノ經濟組織ニ移行シツツアル、無言ノ間ニ相當大キナ經濟改革ガ茲ニ行ハレテ居リマサルコトハ、御承知ノ通りデアルト思フノデアリマス、此ノ經濟ノ編成替ト云ヒマスカ、

再編成ト云ヒマスカ、今日一面ニ於テハ默トシテ行ハレテ居リマス此ノ經濟ノ組織ノ移リ變リ、現實ニ行ハレテ居リマスル移リ變ツタ所ノ狀態ヲ基礎ニシテ、サウシテソコニ財政計畫又租稅計畫ヲ立テル必要ガアリハシナイカト云フ議論ハ、是ハ確ニ傾聽スベキ議論デアルト存ズルノデゴザイマスガ、此ノ移リ變リツツアル間ニ、一方ニ於テハ稅制整備ヲスル、國及ビ地方ヲ通ズル所ノ稅制ノ改正ヲ行フト云フコトハ是ハ私ハ先般來屢、申上ゲテ居リマス通り、時機トシテハ適當ナ時機デハナイ、一方ニ於テ經濟ハ移リ變リツツアル、一方ニ於テ財政ハ、ソレヲ計畫スルニハ今日ノ場合非常ニ困難デアル、サウ云フ際ニ租稅ノ改正ノ計畫ダケヲ致スト云フコトハ、ソレハ理窟カラ考ヘマスレバ好イ時機デハゴザイマセヌガ、併シナガラ租稅ノ改正ニ付キマシテハ數年來ノ懸案デアリマスノデ、之ヲ調査致シマシテ翌年ニ於テ改正スベク計畫シタイ、斯ウ申上ゲテ居ルノデゴザイマシテ、今此處デ我國ノ財政ト云フモノガ今後ニ於テ四十億見當デアルトカ、五十億見當デアルトカ、六十億見當デアルトカ云フコトハ、是ハ何トモ申上ゲ兼ネルト思フノデゴザイマス

○藤本委員 稅革ハ今時機デハナイト云フ

仰セデアリマシタガ、ソレハ戰爭中デアルカラト云フ意味デアリマセウ、併シ日本ノ所得稅體系ノ完整ハ日露戰爭ノ結果ダラウト思ヒマス、英吉利ノ所得稅ハ「ナポレオン」戰爭ノ結果デアアル、是ハ御承知ノ通りデアリマスガ、併シ是ハモウ此ノ間カラ來年ト云フ御示シガアリマシタカラ申上ゲマセヌガ、又第二ニ來年ドレ程ノ金ガ要ルカ、ソレモ中々難カシイ事デアリマスガ、是ガ分ラナケレバ先刻申シタクヤウニ財政計畫モ立タヌノデアリマス、サテ見透シハ困難デアリマスガ先ヅ大體今年ヨリモ減ルト云フコトハナイト云フコトダケハ事實デアリマセウ、其ノ莫大ナ百億近クノ豫算ヲ租稅ト公債ト官業收入、斯ウ云フモノデ賄フノデアリマセウガ、サウ云フコトカラシテ、先ヅドレ位要ルカ、詰リ先ヅ出ヅルヲ計ルト云フコトガ必要ト存ジマシテ御尋シタノデス、更ニモウ一ツ此ノ點ニ付テ申上ゲナケレバナラヌコトハ、此ノ聖戰目的ハ東亞ノ新秩序ヲ築ク、日滿支ノ協同體ヲ建設スルノダト云フコトニナルノデアリマスガ、而シテ我が國ハ其ノ指導的勢力ト致シマシテ、今マデ隨分骨ヲ折ツテ來ク、支那事變デ百二十億近クノ金ヲ使ヒ、或ハ滿洲事變デモ隨分金ヲ使ヒマシタガ、是ハ成程三千万民衆ノ王道

樂土ヲ建設シ或ハ東亞ノ新秩序建設ノ礎石ニ役立ツノデアリマスカラ洵ニ満足デアリマスガ、併シ協同體ノ理論カラ言ヘバ、其ノ協同體ノ一ツデアアル日本ガ今後モ所要經費ヲ凡テ引被ルト云フコトハ問題デアラウト私ハ思フ、今マデハ兎角モ基礎工作デアリマシタカラ、隨分莫大ナ背負ヒ切レヌヤウナ金ヲ出シタケレドモ、今後東亞建設ノ經費ヲ總テ引受ケルト云フコトハ、協同體ノ趣旨カラ言ツテモイカヌシ、又事實困難デアラウト思フ、故ニ今後ハ日滿支ガ各、分業シテ負擔出來ルダケ分ケフト云フコトガ必要デアラウト思フ、茲ニ所謂日滿支經濟統制ガ必要デアアル如ク、日滿支統制財政ガ必要デアラウト思フ、斯ウ云ツタ意味ニ於キマシテ御意見ヲ承リタイト存ジマス

○石渡國務大臣 一寸一言申上ゲテ置キタイト思フノデスガ、是ハ戰爭中ノ稅ノ問題デゴザイマスガ、我國ノ所得稅ノ始マリマシタノハ明治二十年ダト思ツテ居ルノデゴザイマシテ、日露戰爭ヨリズツト前ニ出來テ居リマス、ソレカラ英吉利ノ所得稅デゴザイマスガ、是ハ如何ニモ「ナポレオン」戰爭ノ時分ニ始ツタノデゴザイマスガ、戰時増稅デアリマシテ、英吉利ハ稅制ノ改革トカ云フコトハ百年モ百五十年モヤツタコト

ガナイ、唯其ノ時機ニ應ジ適宜或ハ小改正ヲ行ヒ、大改正ヲ行ツテ行ク、斯ウ云フコトデアリマシテ、稅制ノ根本的ナ改正ヲヤルト云フコトハ、私ハ英吉利ハヤツテ居ラヌト思フノデアリマス、サウ云フコトニ英吉利人ト云フモノハ興味ヲ感ジテ居ナイヤウニ思フノデアリマス、其ノ點一言申上ゲテ置キタイト存ジマス

ソレカラ東亞協同體ノ問題ト財政負擔ノ問題デゴザイマスガ、是ハ御話ノ通り將來ノ問題ト致シマシテ十分考慮ニ値スル問題ダト存ジマス、既ニ今日滿洲國ニ於キマシテハ、或ル程度ノ負擔ヲ致シテ居リマスコトハ御承知ノ通りデゴザイマシテ、今年當方ニ對シマスル國防分擔金ヲ停止ハ致シマシタガ、實際問題トシテハ共同國防ノ爲ニ相當ナル財ヲ用ヒテ居リマスコトハ、是ハ御承知ノ通りデアルト存ジマス、將來支那ガ、支那ニ於キマス國防費其ノ他ニ付テ、相提携シテ負擔致スカドウカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ勿論今日ハツキリ申上ゲラレル問題デアリマセスガ、サウ云フコトハアリ得ルコトト思フノデアリマス、寧ロアリ得ルコトト言フヨリモ、一步進ンデ是等ノ調整提携ヲ圖レト、斯ウ云フ御註文デアルト存ズルノデゴザイマシテ、是ハ將來ノ

問題ト致シマシテ十分考慮スルコトニ致シタイト存ジマス

○藤本委員 今後ノ公債消化力ニ付キマシテ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 公債ノ消化力デゴザイマスルガ、今後ニ於キマスル公債ノ發行高、是ハ當面ノ問題、即チ昭和十四年度ノ問題ヲ如何致スカト云フ問題ガ一ツアルト思フノデゴザイマス、昭和十四年度ニ公債ノ發行ヲ豫定致シテ居リマスル額ハ、一般會計、臨時軍事費會計、特別會計、一般會計ノ陸海軍ノ追加豫算ヲ合シマシテ五十七億三千万圓デゴザイマシテ、前年ノ五十六億六千万圓ニ較ベマシテ九千万圓程ノ増額ニ相成ツテ居ルノデゴザイマス、之ニ普通ノ陸海軍費以外ノ追加豫算ガ一兩日中ニ是亦御審議ヲ願フコトニ相成ルト思フ

ノデゴザイマスルガ、ソレニ致シマシテモ前年ノ發行豫定額ニ相成ツテ居リマシタ額ト大差ハナイト思フノデゴザイマス、前年ニ於キマシテハ貯蓄ノ獎勵ヲ主流ニ致シマシテ各般ノコトヲ考ヘマシテ、之ニ依ツテ消化致サレテ居ツタノデゴザイマス、是ハ屢、先般來日本銀行ノ手持公債ガ増加シテ居ルト云フコトニ付テ御警告ヲ受ケテ居ルノデゴザイマスガ、日本銀行ノ手持公債ノ

増加致シマスノハ、是ハ好イ現象デハゴザイマセヌ、是ハ出來ルダケ少ク致シタイト思ツテ居ルノデゴザイマス、昨年ノ年末ニ於キマスル手持公債、御指摘ノ如ク十六億ニ達シテ居ルノデゴザイマスルガ、其ノ後今日マデ七億ノ公債ヲ發行致シマシタガ、日本銀行ノ手持公債ハ一億以上減ツテ居リマス、即チ今年ニ入りマシテ七億ノ公債ヲ發行シテ八億一千万圓公債ガ賣レテ居ルコトニナツテ居ルノデゴザイマス、公債ノ消化ニ付テ色々御警告モ受ケ、又御心配ニナツテ居ルノデゴザイマスガ、私モ決シテ此ノ事ヲ樂觀シテ居ル次第デハゴザイマセヌガ、併シナガラ最近ノ狀況ニ於キマシテハ公債ノ消化ハ極メテ順調デゴザイマス、ソレデゴザイマスノデ、私ハ國債ノ消化ニ付キマシテハ、サウ大シテ心配ハ致シテ居ラヌノデアリマシテ、一方ニ於テ物價ヲ抑ヘ、一方ニ於テ貯蓄ヲ獎勵シテ行クト云フコトデアルナラバ、昭和十四年度ニ於テ豫定シテ居ルガ如キ公債ノ消化ハ、十分行ケルト思ツテ居リマス、將來公債ガ累増シテ行ツタ場合、サウシテソレ等ノ公債ヲ消化シテ行クニハドウスルカ、ソレ等ノ負擔ニ付テハ、如何ナルコトヲ以テ將來負擔シテ行クノカ、斯ウ云フ御尋ニ付キマシテハ、何ト

云ツテモ今日八十億トカ九十億ト云フヤウナ、斯ウ云フヤウナ豫算ヲ組ンデ居ツテ、公債ヲ六十億モ七十億モ發行シテ居リマスルコトハ、是ハ私共常時ノ財政デアルトハ考ヘマセヌ、是ハ、斯ウ云フ風ニ致シマシテ公債方此ノ勢ヲ以テ進シテ行クモノトハ考ヘナイノデゴザイマシテ、是ハ自ラ戦火ノ收マツタ場合ニ於キマシテハ、ソレ相當ニ減少スルモノモアルト存ジテ居リマスガ、將來此ノ負擔致シマシタ公債ヲドウシテ償還シテ行クカ、其ノ利子ヲドウシテ行クカト云フ問題ハ、是ハ要スルニ今後ニ於キマスル我國ノ經濟力ノ發展、之ヲ主トシタル此ノ國債ノ消化力、利子ノ負擔力ト云フコトヲ認メテ行クヨリ外ニ、仕方ガナイノデアアルマイカ、新ウ考ヘテ居ル次第デアリマス。

○藤本委員 今後ニ於ケル官業收入、サウ云ツタ收入ニ付テノ御見込ハ如何デスカ、獨逸アタリデハ戰爭中減ツテ居リマス、亞米利加デモ實ハ減ツタ年ガアリマシタガ、ソレハ物價ノ騰貴、隨テ賃銀ノ増加、或ハ勞力ノ不足ト云フヤウナコトモ考ヘラレマヌガ、官業收入ハ將來ドウ云フ御見込デアリマスカ

○石渡國務大臣 官業收入ト致シマシテ、今日ノ狀況ニ於キマシテハ、總テノ業態ヲ

通ジマシテ大體ニ於テ良好デゴザイマシテ、收入ハ増加ヲ續ケテ居リマス、收入ノ減少致シテ居リマスル官業ハ殆ドゴザイマセヌガ、茲ニ一二特別ナ原因カラ減ツテ居リマスルモノガ鹽ト「アルコール」デゴザイマシテ、鹽ハ、賠償價格ヲ引上ゲマシテ販賣價格ヲ引上ゲテ居リマセヌノデ、四五百万圓ノ減少ヲ示シテ居リマス、ソレカラ「アルコール」モ、芋ヲ買ヒマシテ「アルコール」ニ致シマシテ、之ヲ「ガソリン」ト同値デ賣ツテ居リマスカラ、隨テ一石ニ付テ相當多額ノ損失ヲ致シテ居リマスルノデ、今年芋ノ値上ヲ要求サレテ居リマスガ、芋ヲ値上シナイモノト假定シマシテモ、七百万圓程ノ損失ダト思ツテ居リマス、是ガ將來斯ウ云フヤウナ損失ヲシテ行クト云フコトデアリマスルナラバ、「アルコール」ノ増加ニ連レマシテ、將來二千万圓モ三千万圓モ損失ニナツテ行クノデアアルマイカト思ツテ居リマスノデ、此ノ燃料用「アルコール」ノ始末處分ニ付キマシテハ、是ハ適當ナル途ヲ將來考ヘマシテ、其ノ損失ヲ政府ニ於テ背負ヒ込ムト云フコトヲ、或ル程度止メル必要ガアルト存ジテ居リマス、其ノ他ノ官業收入ニ於キマシテハ、相當順調デゴザイマス

○藤本委員 今ノ御話ハ豫算面デ大體承知

シテ居リマスガ、今後ノ問題デ御尋シタノデスガ、公債ハ昨年ハ大體八七%、約九割弱デアリマスガ、私ハ杞憂カモ存ジマセヌガ、公債發行ノ累増、サウシマスレバ將來公債ノ消化力ハ減ルノデハナイカト云フヤウナコトモ考ヘラレルノデアリマス、又官業收入モ、外國ノ例ヲ持出スコトハドウカト思ヒマスケレドモ、現在ハ減ツテ居ラヌトシテモ併シ將來ハ其ノ點モ考ヘラレマス、若シ私ノ杞憂ノ如ク減リデモシマスレバ、茲ニ租稅負擔ガ多クナリマス、外債デモ爲シ得ル可能性ガアレバイザ知ラズデアリマスガ、外債ノ可能性モアリマセヌシ、又借ル意思モアリマスマイガ、サウナツテ來レバ租稅デ以テヨリ多ク負擔シナケレバナリマセヌ、ソコデ租稅ノ原則ニ付テ御尋致シマス、藏相ハ大體增收、負擔ノ公正、或ハ弾力性ト云フコトヲ御示ニナツテ居ラレマスガ、其ノ増加ヲ圖ルト云フコトニ付キマシテ、少シ御尋致シテ見タイト思ヒマス、間接稅ノ賣上稅デアリマスガ、アレハ生活必需品ヲ除キマシテ捉ヘマスナラベ、色々見方モアリマセウケレドモ、五億位ノ稅收ハ可能デアルト云フコトモ考ヘラレマスガ、將來此ノ稅收ヲ増加スル意味ニ於テ「セールス・タックス」ヲ新設スル御考ハ

アリマセヌカ

○石渡國務大臣 賣上稅ノ問題ハ、是ハ稅收入ヲ得ル上カラ行キマス、或ハ相當多額ニ得ラルベキモノデアルカト思フノデアリマスガ、併シ此ノ稅ヲ施行致シマスルコトハ、物價ノ問題、又貿易ノ問題、各般ノ上カラ餘程注意ヲ要シ、慎重ナル考慮ヲ致ス必要ガアルト思フノデゴザイマス、此ノ賣上稅ノ實行ト云フコトニ付キマシテハ、殊ニ戰時事變ノ際ニ於テハ、我國ノヤウナ狀況ニ於キマシテハ、是ハ中々ヤリニクイ稅金デアルト思ツテ居リマス

○藤本委員 餘リ時間ガアリマセヌシ、先程ノ御約束ヲ嚴重ニ守リタイト思ヒマスカラ、極メテ簡單ニ御伺申上ゲマス、相續稅ノ増徴ニ對シテ御考ガアルカドウカ、其ノ次ニ享樂財產ニ課稅スル意思アリヤ否ヤ、ソレカラ戰時財產増價稅、此ノ事ニ付テ御考アリヤ否ヤト云フヤウナコトニ付テ、纏メテ極メテ簡單ニ御伺申上ゲマス

○石渡國務大臣 相續稅ニ付キマシテハ、私ハ尙ホ増徴ノ餘地ガアルト存ジマス、殊ニ我國ノ相續稅ニ付テハ、各國ノ例ト比較致シテ見マス、眞中ハ相當膨ンデ居ルノデアリマスガ、下ト上ノ方ガ安イ、殊ニ下ノ方ガ著シク安ク、上ノ方ハ多少安イ、中

間ガ膨ランデ居ル、斯ウ云フヤウナ結果ニ相成ツテ居ルト思フデアリマス、尤モ此ノ相續稅ニ付キマシテハ、色々ナ課稅ノ仕方ガアルノデゴザイマシテ、是等ノ點ニ付テモ、一ツ十分ニ考究致シテ見タイト存ジテ居リマス

ソレカラ享樂財產デアリマスガ、享樂財產ト云フヤウナモノハ、是ハ中々課稅ニハ難カシイ問題デアリマシテ、之ニ對シテドウスルカト云フコトハ、私トシマシテモ今日格別ノ考ハゴザイマセヌ、享樂ト申シマスト如何ニモ遊ンデ居ルヤウニ見エルノデアリマス、無論アナタノ御示ニナツテ居ルコトモ書畫骨董類ノコトデアルト思フノデゴザイマスガ、其ノ骨董類ニ付テ之ノ評價ヲ致シテ課稅ヲ致スト云フコトハ、此ノ稅ノ執行上最モ困難ヲ感ズル點デアルノデアリマス

戰時財產増價稅ヲ施行スル意思ガアルカドウカト云フ御尋デゴザイマス、理窟トシテハ此ノ稅金ハ極メテ面白イ所ノアル稅デアリマスルガ、戰時財產増價稅ハ其ノ施行ノ跡カラ見レバ何レモ失敗デアルト存ジテ居リマス、斯ウ云フ稅ヲ施行致シマスルトハ、財産稅ニ馴レテ居リマス國ニ於キマシテモ成功ヲ致サナカツタノデアリマシ

テ、況ヤ財産稅ニ親ミヲ持チマセヌ我國ニ於キマシテ、斯ウ云フ稅ヲ施行致スノハ如何カト斯ウ思ツテ居リマス

○藤本委員 享樂財產ハ今御示ニナリマシタヤウニ、書畫骨董ヲ意味スルノデアリマスガ、マダ他ニモアリマセウ、是ハ相續稅アタリデモ申告セヌデ宜イ品物ガアリマシテ、隨テ課稅カラ免レテ居リマス、我國ニハ過去ニ於テ某侯爵ガタツタ一人申告シテ課稅セラレタト云フ例ガアルサウデアリマス、兎モ角モコノ際非常ニ御考願ヒタイノハ近頃物ニ換ヘル、所謂換物ト言ヒマス

カ、サウ云ツタコトガ行ハレテ居ルノデアリマシテ、例ヘバ某畫伯ノ一萬圓スル畫ガ五萬圓デ飛ブヤウニ賣レテ居ルト云フコトモ事實デアリマス、甚ダ不都合ナモノガアルノデアリマス、詰リ不動産ヲ賣却シテ金ニ換ヘテ、ソレデ書畫骨董ヲ買ウテ二重ノ合法的脫稅ヲヤルト云フ者モアルヤウデアリマスカラ、兎モ角モ御注意願ヒタイト思ツテ居リマス

次ニ特別會計ガ三十九程アルト思フノデアリマスガ、之ヲ少シ整理スル御意思アリヤ否ヤ、兎モ角モ我國ノ特別會計ガ多過ぎルト云フコトガ一點、ソレカラ特別會計ノ中ニハ外地特別會計或ハ企業特別會計ガア

リマスガ、企業特別會計ノ方ハ先刻御尋シマシタガ、外地特別會計ニ於キマシテ外地ハ國防力ヲ負擔シテ居リマセヌカラ、我が國ハ今戰時下ニアルノデアリマスルノデ、モウ少シ外地カラ一般會計ニ繰入レル額ヲ増シテハドウカト私ハ思フノデアリマスガ、御考ヲ承リタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 私申上ゲ損ツタカト思フノデスガ、享樂財產ノ問題ハ、財産稅ノ客體トシテノ御尋カト思ツテ御答致シタノデゴザイマスガ、今日書畫骨董等ノ賣立其ノ他ニ付キマシテハ是ハ課稅致シテ居リマス、賣立等ニ付キマシテハ是ハ其處デ賣ラレル値段ガハツキ致シテ居リマスノデ、サウ云フ分ニハ課稅致シテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ特別會計ガ多過ぎルカラ整理シタラドウカ、斯ウ云フ御話デゴザイマス、是ハ一時整理致シタコトガゴザイマス、又整理ヲ必要トスルモノガゴザイマスレバ、十分研究致シマシテ今後トモ整理ヲ致シマス、唯近來色々複雑ニ相成ツテ來ル關係上、寧ロ毎年特別會計ガ二ツ三ツ増加致シマシテ、御審議ヲ願ツテ居ルヤウナ狀況ニナツテ居リマスノデ、是ガドノ程度ニ整理シ得ラレルカト云フコトハドウモハツキリ申上

ゲ兼ネルト思フノデゴザイマス

ソレカラ外地特別會計ノ問題デゴザイマスガ、是ハ今年ニ於キマシテセ相當額繰入レテ貰ツテ居リマス、モウト繰入レル必要ナキヤト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハドウモ中々旨ク折合ノ付カヌ點モアリマス、結局外地カラ金ヲ繰入レルト云フコトニハ相當摩擦ガアリマシテ、寧ロドツチカト云フト外地ニ於ケル所ノ軍事施設其ノ他ヲ外地ニ於テ負擔スルノヲ喜ブ、實際上ノ問題トシテ其ノ方ガ行ヒ易イノデアリマス、ソレデアリマスカラ結局其ノ問題ハコツチデ金ヲ受入レテ其ノ金ヲコチラデ拂フト云フノモ一方法デアリマスガ、外地ニ於テ或ル程度ノ國防ノ施設ヲ自分デ施行シテ、負擔シテ行クト云フコトモ考ヘテ居リマスノデ、實際上今日一般會計ニ寄與致シテ居リマス金以外ニ、今日ニ於キマシテハ臺灣、朝鮮等ノ特別會計ニ於テハ、相當我國ノ國防費ニ該當致シマスモノヲ、或ル程度負擔致シテ居ルト思ツテ居リマス

○川崎委員長 藤本君、ドウデセウカ、アナタニハ大變豫定ノ時間以上ヲ御許シシテアルノデスガ……

○藤本委員 ソレヲ存ジテ急イデ居リマシタノデスガ、理事會ノ申合ハ……
○川島委員長 是ハ皆サン御聞キノヤウニ、

アナタノ時間ハ餘程超過シテ居リマスカラ
ドウゾ……

○藤本委員 ソレデハ極ク簡單ニヤリマ
ス——地租ハ負擔ノ公正ト云フ點カラ考ヘマ
スレバ非常ニ不衡平デハナカラウカト思ヒ
マス、都市アタリハ非常ニ權衡ガ執レテ居
リマセヌノデ、之ヲ廢止スル意思ハアリマ
セヌカ

○川崎委員長 ソレハモウ聽イテ居リマス

○藤本委員 ソレデハ次ニ移リマシテ、産
業ノ振興デアリマスガ、只今生産力擴充ニ
付テハ吾々ノ處置ヲ執ラレテ居リマスガ、
其ノ處置ノ外ニ産業ノ振興トカ、或ハ生産
力ノ擴充ト云フコトニ付キマシテ、之ヲ妨
ゲル方面ヲ阻止スルト云フコトガ必要デア
ラウト思フ、詰リソレハ時局ニ不可避ナ特
異性トデモ云ヒマスカ、時局産業ノ將來性
ニ對スル不安デアリマス、長期戦モ片付キ、或
ハ長期建設モ一段落ヲ告ゲマスレバ、今ノ産
業機構ニドウ云フ變動ヲ生ズルカト云フ不
安デアリマス、此ノ不安ガアル限り私ハ増税ヲ
ナサレマシテモ、逓税モ脱税モ行ハレマセ
ウシ、或ハ財界ト財政トニ緊密ニ協調ヲ取
ラレナイト思ヒマス、或ハ銀行アタリノ方
面カラ増税ニ反對スルカモ知レナイ、擔保
トシテノ株ノ價格ガ下ルカラデアリマス、

斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、増税ト云フヤ
ウナコト或ハ生産力擴充ノ問題ニツイテモ
同様デアリマスガ、之ニ緊密ニ國民ヲ協力
セシメルト云フ爲ニハ、將來ノ不安ヲ除ル
ト云フコトガ必要ダラウト思ヒマス、斯ウ
云フ意味ニ於キマシテ先ヅ第一ニ今ハ平時
産業機構ヲ戰時經濟機構ニ再編成シテ居ル
ガ、長期戦ガ相當ノ段階ニ達シ、或ハ又長
期建設ガ一段落著キマシタナラバ之ヲ後ニ
戻サナケレバナラヌノデアリマスガ、其ノ事
ヲ國家ハドウ云フ風ニ保證スルカト云フコ
トガハツキリシマセヌト、今ノ場合將來ノ
危険マデモ今ノ利潤デ「カバー」シテ置カ
ケレバナラヌト云フヤウナ意味ヨリシテ、
増税ニ對シマシテ協力シナイト云フコトガ
アルカモ知レマセヌ、サウ云ツタコトカラ
考ヘマシテ將來ノ不安ヲ——戰時産業ノ特
異性デアリマス所ノ泡沲性、サウ云ツタコ
トカラ、此ノ將來ノ不安ヲ除去スルト云フ
コトガ税ノ上ニ或ハ税額ノ上ニ非常ニ必要
ト思フノデス、斯ウ云ツタ意味ニ於テハ簡
單ニ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 増税ニ付テ將來ノ不安ヲ
除去スル必要ガアルデハナイカ、斯ウ云フ
御尋デアルト思フノデアリマスガ、併シナ
ガラ増税ハ如何ナル案ヲ起スニ致シマシテ

モ、産業ヲ萎微セシメ、又將來ノ産業ニ妨
ゲガアルヤウナ増税ヲ起ス譯ニハ到底イカ
ヌト思フノデゴザイマシテ、是等ノ點ニ付
キマシテハ、政府トシマシテモ將來産業
界ニ不安ヲ與ヘナイヤウニ努メテ行キタイ
ト思ツテ居リマス次第デゴザイマス

○藤本委員 モウ一ツダケ御尋致シタイト
思ヒマス、國家ハ常ニ於テモ非常ナ消費者
デアリマスガ、戰時ニ於テハ殊更ニ壓倒的
ナ消費者デアリマス、其ノ消費ヲ注意スル
カセヌカハ非常ナル結果ニ於テ重大ナ問題
トナルノデアリマスガ、昨年モ實行豫算ヲ
立テラレ、二億數千萬圓程度ノ節約ヲナサ
ツテ居ラレマスガ、十四年度ノ財政計畫ニ於
キマシテモ、私ハサウ云ツタ意味ニ於テ天
下ニ範ヲ示ス、或ハ又出來ルダケ國家ノ財
源ヲ豊富ニスルト云フヤウナ意味ニ於キマ
シテ、二割程度ノ節約ヲナサル意思ガアル
カドウカト云フコトト、モウ一ツハ結局實
行豫算ノ問題ニナリマスガ、餘リ遅ク編成
ニ著手シテハ其ノ實益ヲ妨ゲルノデアリマ
スガ、サウ云ツタコトニ付キマシテノ御考
モ併セテ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 今日ノ所實行豫算ヲ編成
致ス考ハ持ツテ居リマセヌガ、御趣旨ノ點、
即チ出來ルダケ節約シテ豫算ヲ執行シテ行

ケト云フコトニ付キマシテハ、努メテサウ
シタイト考ヘテ居リマス

○藤本委員 私ハマダ外ニ澤山質疑ガアリ
マスガ、申合セノ趣旨ヲ體シマシテ、是デ
止メマス

○川崎委員長 高橋君、關聯質問ガアリマ
スナラ簡單ニ此ノ際御質問ヲ願ヒマス

○高橋委員 先程大藏大臣ニ對スル質問ヲ
他ノ通告者ニ譲リマシタ爲ニ、一ツノ事項
ダケ殘ツテ居リマスカラ、ソレヲ簡潔ニ此
ノ場合伺ヒマス、ソレハ農村ノ副産物視サ
レテ居リマス穀物以外ノ農産物ヲ原料ト
スル即チ新式ノ清酒デアルトカ、或ハ葡萄
酒、果汁酒、ヤウナモノニ對シテ、他ニ比
較致シテハ新シク課税ヲ受ケルト云フヤ
ウナコトガアルノデアリマス、是マデ農村
ニ於テ是等ノ物ヲ原料トシテ醸造ヲ致スト
云フコトハ、生産過剩ノ場合ノ拔道トシテ、
又平素ノ栽培ノ方面カラ見マシテ、其ノ需
給關係ヲ調節スル上ノ安全瓣ト致シテ、斯ウ
云フコトヲ獎勵シテ居ルノデアリマス、然ルニ
其ノ方面ノ發達ヲ阻害スルヤウナコトハ面
白カラザルコトト考ヘルノデアリマス、此ノ
税法デ非常ニ目立チマスルノハ清酒トノ釣
合デアリマス、只今申上ゲタ新式ノ清酒ト言
ヒマスカ、理研等ニ於テ研究サレテ居ルモ

ノト略、同種ノモノト思ヒマスルガ、甘藷ヲ主ナル土產トシテ「アルコール」ヲ造リ、其ノ「アルコール」ニ種々ナ香味其ノ他藥品ニ類スルモノヲ混合致シマシテ、清酒ニ似寄ツタ酒ヲ造ルノデアリマス、是ハ御承知ノ通りデアリマス、ソレデ是ハ割ガ餘計利クト云フヤウナコトデ、清酒ヨリモ重ク扱ハレテ居リマス、清酒以上ノ「アルコール」ノ度ノ強イモノハ何レモ其ノ度合ニ依ツテ課税ヲ受ケテ居ルノデアリマス、此ノ新清酒ハ多少弱イト見ラレルヤウデアリマスケレドモ、併シ「アルコール」ノ度合ニ依ツテ課税ヲシテ居ル、斯ウ云フノガ建前デアルコトハ申スマデモナイノデアリマス、併シナガラ價格ト云フモノヲ此ノ種類ニ於テハ見ナケレバナラナイノデアリマシテ、物品税ヲ新シク課税スルト云フ場合ニ於テモ從來ノ造石税ハ面白クナイ、從價税ニセネバナラナイト云フ議論ガ相當ニ多イ、今度初メテデハナク、長年ノ間從價税ニシナケレバナラナスト云フ議論ガ多クツタ、ソレデナケレバ公平デヤナイ、同シ清酒ノ間ニモ一升五圓ニ賣レルモノモアレバ、一圓内外ニシカ販賣ノ出來ヌモノモアル、之ヲ一律一體ニ造石ヲ以テ課税スルト云フコトハ宜シカラナスト云フ議論ノアツタコトハ御承知

ノ通りデアリマス、ソレデアリマスルカラ、他ノ種類ニ致シマシテモ清酒ト比較致シマシテ、價格ニ於テ及ビモ付カナイノデアリマス、ソレデ「アルコール」ノ含量ニ依ツテ其ノ強弱ヲ標準トシテノミ之ニ課税スルト云フコトハ餘リ公平ナ取扱デヤナイ、斯ウ云フコトニモ考ヘラレテ居リマス、併シナガラ從來ハ米以外ノ農産物ハ比較的ニ價格ガ安カツタノデアリマスカラ、醸造者モ其ノ點ニ於テ多少有利デアツタカラ我慢モ致シタコトト思フノデス、然ルニ此ノ事變以來ト云フモノハ、甘藷方國策ノ線ニ沿ウテ無水「アルコール」ノ原料トナツテ居ルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、其ノ他食糧ノ關係等ニ於テ甘藷ハ近頃非常ニ暴騰ヲ致シテ居リマス、殊ニ臺灣ノ干藷ノ如キモノハ五割以上ニモ暴騰致シテ居リマス、之ヲ主タル原料ト致シテ造ル、「アルコール」ハ隨テ原價採算ガ有利デナイト云フコトニ相成ルノデアリマス、米ハ是亦騰貴ハ致シテ居リマスケレドモ、主タル食糧政策ノ上カラ、物價調節ノ上カラ、米穀統制法等ノ發動ニ俟チマシテ、是ハ或ル程度頭ヲ抑ヘテ居ルト云フヤウナ形デアアルガ此ノ甘藷ナドト云フモノ、又葡萄糖其ノ他ノモノモ頭ヲ抑ヘルト云フコトハナイノデアリマスカ

ラ、相當ノ騰貴率ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フ實情デアリマス、ソコデ今回清酒ニ對シテハ、舊ニ四十圓ノ基本稅率ガ臨時租稅増徴法ニ依リマシテ、十二年度ニ於テ四十五圓トナリ、ソレカラ昨年ノ支那事變特別稅法ニ依ツテ五圓ノ物品稅ガ課セラレテ、合計五十圓ニナツテ居ル、今回物品稅ガ十圓ノ課稅ニ改マリマシテ、五十五圓ニナルノデアリマス、之ニ對シテ只今申上ゲタ酒精含有飲料稅法ニ依ツテ課稅サレテ居リマシタル新清酒ト云フモノハ四十二圓ノ基本稅率デアツタモノガ、十二年度ニ於テハ造石稅ガ五十圓ニナリ、昨年度ニ於テハ七圓ノ物品稅ヲ課セラレテ、五十七圓ニナツテ居ツタモノガ、今回十四圓ノ課稅ニ改マリマシテ、六十四圓ニナツテ、清酒トノ間ニ九圓ノ隔リガアルコトニナリ、初メハ基本稅率ガ四十圓ト四十二圓デスカラ、二圓ノ隔リガ、今回ハ九圓ノ隔リニナル、酒精分ノ含有量ノ度數カラ計算致シマスト、少シ強イ位デ濟ムカモ知レマセスケレドモ、價格ノ點ニ於テ、此ノ新清酒ト舊來ノ清酒トハ、販賣價格ノ上カラ行ケバ雲泥ノ差ガアルト云フコトニナツテ、此ノ新清酒ノ販賣ガ將來シニククナルト思フノデアリマス、而シテ是等ガドノ位ノ釀造力ガアリマスカ、十萬石内

外ニ達シテ居ルダラウカト思フノデアリマスケレドモ、是ハ農村ノ副產物デ、而シテ是ハ將來容易ニ耕作反別モ増加スルコトガ出來、又増産モ容易ニ出來得ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、斯ウ云フモノハ一般「アルコール」ノミナラズ、斯ウ云フ清酒ノ代用品ニナルモノハ、將來大陸進出政策等ヲモ考慮スル上ニ於テ、重要ナル酒類ノ釀造技術デアルト考ヘルノデアリマス、然ルニ其ノ發展ヲ阻止スルト云フコトハ、非常ニ面白クナイコトダト思フノデアリマス、原料ガ暴騰シテ居ルト云フコト、ソレカラ含有酒精分ノ度數ニ依ツテノ課稅標準ヲ定ムルト云フコトハ、價格ト云フコトヲ考慮スル時ニ於テ課稅額ガ非常ニ高率ニナツタ場合ニ於テ、其ノ差ト云フモノハ非常ニ販賣價格ニ影響ヲシテ、營業ガシニククナル、ソレカラ從來ハ是ハ四季ニ何時デモ釀造ガ出來ルノデ、清酒ノヤウニ釀造時期ガ一年一度シカナイト云フモノデハナイ、四季何時デモ都合ノ好イ時分ニ釀造ガ出來ルノデアアルカラ、資金ノ運轉ノ上ニ都合ガ好イト云フヤウナコトガ言ハレテ居ルヤウデアリマスケレドモ、營業者カラ言ハセマスト、サウ云フコトハナイノデアリマス、普通ノ清酒ノ方ハ、年四季ニ分ツテ分割納稅スルコトガ

出來ルカラ、其ノ間稅金ヲ利用スルヤウナ形ニナリ、無稅ノモノガ販賣サレルヤウナコトニナツテ、資金ノ運轉上餘裕ガ生レテ來ル、併シナガラ此ノ新清酒ノ方ハ出來高ニ依ツテ、一時ニ其ノ査定ヲ受ケテ、査定濟ノモノデナケレバ販賣ガ出來ナイ、査定ヲ受ケタモノハ直チニ翌月中ニ是ガ納稅ヲ致サナケレバナラスト云フコトニナツテ居ルカラ、資金運轉ノ繰廻シハ却テ苦シクナルモノデアル、斯ウ云フヤウナコトヲ申シテ居リマス、サウスルトドウシテモ今回ノ稅率ノ改正ニ依ツテ稅額ガ清酒ト比ベテ「ギャップ」ガ甚シク多クナツタコトガ非常ニ苦痛デアルト云フコトハ、直グ吾々モ諒承ガ出來得ルノデアリマス、時間ガアリマセスカラ他ノ質問ヲ一度ニ申上ゲマスガ、葡萄酒其ノ他ノ果實酒ニ向ツテ今度ハ増徴又ハ新シク課稅サレル、葡萄酒ハ昨年ハ十五圓ト云フ提案ヲ十圓ニ委員會ハ修正ヲ致シテ政府ノ同意ヲ得テ通ツタノデアリマスガ、今回ソレガ十五圓ニ復活シ、新シク葡萄酒以外ノ果實ヲ原料トシテ拵ヘタ果實酒ト云フモノガ之ニ加ハツタノデアリマス、斯ウ云フモノハ衛生的飲料デモアリマスシ、且ツ前段ニ申上ゲタ農村ニ於ケル副産物トシテ、又ハ果樹ノ栽培ノ安全辦トシテ、需

給調節ノ一ツノ手段ト致シテ、斯ウ云フモノヲ盛ニ獎勵致シテ、今獎勵時期ナノデアリマシテ、マダ完成ハ致シマセヌ、技術ハ餘程進歩致シマシタケレドモマダ十分トハ參リマセヌ、外國等ニ比較シテ遜色ノアルコトハ夥シイ有様デアリマス、ソレデ斯ウ云フモノハ更ニ十分技術ヲ鍊磨セシメテ進歩發達セシメナケレバナリマセヌ、是ハ大陸進出政策等ニ對シマシテモ是亦大ナル關聯ヲ有スル外國酒ノ唯一ノ競争品トナルモノデアリマスカラ、此ノ邊ニ思ヒヲ致ス時ニ於テ、是等ノ無稅ノモノヲ有稅ニ致シタリ、或ハ増徴率ヲ急激ニ增加致シマシタリ、又前段申上ゲタ清酒ト新清酒トノ間ノ課稅率ガ非常ニ大キナ隔リヲ招來スルト云フコトハ、其ノ販賣上ニ於テ非常ナ蹉跌ヲ來シ、隨テ原料高ト共ニ此ノ種ノ醸造業ガ衰頹ヲスルノデハナイカ、經營難ニ陥ルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナコトガ、是等農村ノ副産物ノ消化ニ重大ナル影響ノアリマスガ爲ニ、憂慮ニ堪ヘヌコトト考ヘルノデアリマシテ、是等ニ付テノ御所見ヲ一應承リタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 新式ノ清酒ノ問題デアリマスガ、是ハ今高橋サンノ仰セノ通り甘諸原料トシテ「アルコール」ヲ拵ヘテ、其ノ「アルコール」ニ色々加工ヲ致シテ酒ニシテ賣ツテ居ルノデアリマス、ソレデ之ニ對シテ課稅率ヲ強クシテ居ルノハドウ云フ譯カ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、是ハ最近其ノ發達ノ極メテ目覺シイモノデアリマシテ、毎年著シク其ノ造石高ヲ増加シツツアルノデアリマス、一般ノ酒造家ニ於キマシテハ、甘諸カラ「アルコール」ガ出來、其ノ「アルコール」ガ酒ニナツテソレガ需要サレルノデアルナラバ、今日米カラ酒ヲ造ツテ居ル所ノ全國ノ酒造業者ト云フモノハ立チ行カヌ、是ハ一面ニ於キマシテハ「アルコール」デアリマスノデ、相當ニ割リ水ガ利ク、サウ云フヤウナ關係カラシマシテ、非常ニ餘計ニ水ガ割レルノデアリマス、ソコデ造石高モ稅務署デモウ少シ加減シテ吳レンカト言ツテモ、中々聽キマセヌ、増ス一方デアリマス、ソレデ一般ノ酒ハ何ウカト云フト減少シテ行キ、全國ノ酒屋ハ著シク不安ノ念ヲ懷イテ居ル次第デアリマス、一方ニ於テハ之ヲ始メマシタ時分ニハ相當貧弱ナ會社デアリマシタガ、何レモ今日ニ於キマシテハ相當ナ配當ヲ致シ、又相當ナ設備ヲ以テ行ツテ居ル會社デアアルノデアリマシテ、此ノモノニ對シマシテ普通ノ酒精含有飲料同様ニ課稅ヲ致ス、特ニ之ヲ引下ゲ

テ課稅致スト云フコトハ行ヒマセヌ、普通ノ酒精含有飲料同様ノ課稅ヲ行フ、斯ウ云フコトハ已ムヲ得ナイノデアアルマイカト思ツテ居ルノデアリマシテ、之ニ依ツテ業者ガ新式清酒ノ醸造業者、即チ「アルコール」カラ酒ヲ造ツテ居リマス業者ガ衰亡致スモノトハ考ヘナイノデアリマス、一方ニ於キマシテ既ニ相當ノ設備ヲ整ヘ、又非常ニ販路ヲ擴張致シテ居ルノデアリマスノデ、如何ニ其ノ販路ノ擴張ヲ抑ヘンカニ苦心シテ居ル、寧ロ何レカト云フト普通ノ酒屋ヲ潰シハセヌカトマデ心配致シテ居ルヤウナ狀況デアアルノデアリマスノデ、此ノ位ノ負擔ヲ致サセマシタ所デ、此ノ新式清酒醸造會社ニハ一向應ヘナイ問題デアアルト信ジテ居ルノデゴザイマス、葡萄酒ニ付キマシテハ、昨年ハ御趣旨ニ依リマシテ五圓引下ゲタ儘實行致シテ居ルノデゴザイマスガ、今年ハ麥酒ニ致シマシテモ、酒ニシマシテモ相當ノ増稅ヲ致シマスノデ、葡萄酒ニ付キマシテモ今年ハ或ハ御認メヲ戴ケルカト思ヒマシテ、昨年通り五圓引上ゲテ持ツテ參ツタ譯デゴザイマス、果實酒ニ付キマシテハ、是ハ酒精含有飲料稅法ニ於キマシテ免稅ヲ致シテ居リマスルノデゴザイマスガ、現在ニ於キマシテハ多少ノ林檎酒等ガアル

カト思ツテ居リマス、課税ノ實體トシテハ比較的少イモノデアルクト存ジマスガ、併シナガラ是ハ一面ニ於キマシテ葡萄酒ニ課税致シマス權衡上、果實酒モ此ノ際課税スルノガ宜カラウト思ツテ茲ニ課税スルコトニ致シマシタ、課税スルト致セバ、是ハ葡萄酒ト似テ居ル品物デアリマスカラ、葡萄酒ト同様ニ課税致スト、斯ウ云フ考方ヲ致シタ次第ゴザイマス

○高橋委員 モウ一言ダケ……只今御話ノ新清酒ガ非常ナ勢ヒデ發展シテ來タト云フノハ、原料ノ「アルコール」ノ其ノ又原料タル甘藷等ガ非常ニ安値デアツタト云フコトト、甘藷ノ如キハ御承知置キノ通り、南洋ノ澱粉等ニ押サレテ以來ト云フモノハ其ノ捌ケ口ニモ困ツタ時代モ蓬著シテ近頃マデ居ツタノデアリマスガ、ソレヲ原料トシタ「アルコール」ヲ基礎トシテ新清酒ノ醸造ガ始マリマシテ——國策ニ副ウ無水「アルコール」ノ醸造ガ始マラナイ前ノ甘藷ノ需要ト云フモノハ、實ニ悲惨ナ狀況デアツタ、其ノ時代ニ生レタ工業デアリマスカラ、私ハサウ云フ徑路ヲ辿ツタノモ自然ノコトドラウト思フノデスガ、一時榮エタカラト言ウテ、今日反動ガ來ルト云フ時代ニハ相當ノ考慮ヲシナケレバナラナイ

ト共ニ、動モスルト食糧トシテノ米ノ不足ヲ懸ヘル今日、米ノ増産ヲヤラナケレバナラヌト云フヤウナ秋ニ方ツテ、ソレノ幾分ナリ消費減ニ役立ツト云フヤウナコトハ、國家トシテ深く考ヘナケレバナラヌ、酒屋ヲ倒サナイト云フコトニハ別ニ方策ガアルドラウト思フノデアリマス、酒屋カラ相當大キナ税金ヲ取ツテ居ルノデアリマスカラ、國家トシテ之ヲ潰サナイ方策ハ幾ラデモアルドラウ、斯ウ云フコトヲ考ヘルノデアリマス、デアリマスカラ、獨リ大キナ酒屋ノミヲ榮エサセナクテ、中小酒屋ヲ何トカ保護スル工夫ヲスレバ差支ナイノヂヤナイカト云フコトヲ考ヘテ居リマス、葡萄酒ニ對スル増税、殊ニ林檎酒ヲ對象トスル果實酒ヘノ新課税ノ如キハ、私ハ沙汰ノ限リヂヤナイカト思フ、農林省ハ何故コンナコトニボンヤリシテ居ルノカト思フノデス、殊ニ林檎酒ノ如キハ昨年ノ颶風ノ爲ニ林檎ガ過半地上ニ落サレタ、其ノ林檎ノ處置ニ付テ——一昨年デシタカ、如何ニ之ヲ處置スルカト云フノデ林檎酒、「ボンパン」ナドト云フ名前ヲ付ケテ世ノ中ニ現ハレテ居ルヤウナモノノ原料ニナツタカノ如ク吾々ハ記憶シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ農村ト致シテハ是ノ種ノ醸造業ノ盛衰ト云フモノハ、

非常ナ影響ガアルモノデアリマスルカラ、此ノ點十分ニ思ヒヲ致サレルヤウニ私共ハ希望ヲ申上ゲテ置クノデアリマス、時間ガ經ツタヤウデアリマスカラ私ハ是ダケデ質問ヲ打切りマス

○川崎委員長 ソレデハ本日ハ是デ散會致シマス、明日ハ政府ノ都合モアリマスノデ尙ホ打合セヲ致シマスガ、公報ヲ御覽願フコトニ致シマス

午後六時十四分散會

昭和十四年三月十日印刷

昭和十四年三月十一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局